

関西労災病院
臨床・学術業績集

2011年

目 次

臨床業績集	ページ
内 科	1
消化器内科	5
循環器科	7
環境医学研究センター （シックハウス診療科）	13
心療内科・精神科	14
小 児 科	15
外 科	16
整形外科・スポーツ整形外科	26
形成外科	34
脳神経外科	36
心臓血管外科・呼吸器外科	38
皮 膚 科	40
泌尿器科	41
産婦人科	46
眼 科	49
耳鼻咽喉科	51
リハビリテーション科	56
放射線科	59
麻酔科・中央手術部	63
救急部・重症治療部	64
病 理 科	66
歯科口腔外科	67
薬剤部	70
栄養管理室	71

学術業績集	ページ
内 科	73
消化器内科	75
循環器内科	78
環境医学研究センター （シックハウス診療科）	84
心療内科・精神科	84
小 児 科	86
外 科	87
整形外科・スポーツ整形外科	92
形成外科	97
脳神経外科	97
心臓血管外科・呼吸器外科	98
皮 膚 科	100
泌尿器科	100
産婦人科	102
眼 科	104
耳鼻咽喉科	106
リハビリテーション科	106
放射線科	107
麻酔科・中央手術部	108
病 理 科	109
歯科口腔外科	110
薬剤部	111
看護部	112
検査科	113
栄養管理室	114
勤労者予防医療センター	115
産業中毒センター	116
教育・研修センター	117

《 凡 例 》

〔1〕 臨床業績集

下記した4つの臨床指標に基づき、各科（グループ）ごとにまとめた。

- (1) 人材と設備に関する指標
- (2) プロセスに関する指標
- (3) 経験値に関する指標
- (4) アウトカム指標

〔2〕 学術業績集

1. 収載範囲

この学術業績集は平成23年1月より12月までに発表された学会、研究会発表、論文、テレビ・ラジオ講演、新聞等公にされた記事で、著者が関西労災病院に所属し、関西労災病院の所属名で発表・掲載された学術業績を集録した。学会・研究会等の座長、および院内職員のみ対象の講演・発表はこの業績集には含まない。

また、学会・研究会での発表ならびに掲載論文・著書については、医学・医療に関するものに限って掲載した。

2. 各科毎に下記のように構成した

- (1) 論文・著書
 - a 論文発表
表題
著者名
掲載誌名、巻（または号）、始頁－終頁、発行西暦年
 - b 著書
表題
書名、始頁－終頁、発行所、発行西暦年
- (2) 学会報告（国際学会→国内学会）
演題
発表者名
発表学会名、発表年月日、地名
- (3) 講演会やテレビ出演
表題
発表者名
講演会名（番組名）、発表年月日（収録年月日）、地名
- (4) 主催研究会
主催者名
研究会名、開催年月日、地名

3. 配 列

- (1) 論文発表・著書
誌名（著書名）の欧文（アルファベット順）、和文（50音順）、ページ順。
- (2) 学会報告、講演会やテレビ出演、主催研究会
開催日順に配列

序

関西労災病院「臨床・学術業績集 2011」刊行にあたって

関西労災病院の2011年（平成23年）版「臨床・学術業績集」が発刊のはこびとなりましたので、関係各位にお届け致します。

関西労災病院におきましては社会構造の変遷と医療技術の飛躍的な進歩に伴い、取り扱う対象疾患も、診療内容も年々変化しています。勤労者医療、地域医療そして南阪神医療圏の急性期高度医療に対応する基幹病院としての位置付けがより明確になりつつあります。そしてがん診療連携拠点病院、地域医療支援病院として、地域医療圏のみならず関西一円、さらに広範囲の方々からも信頼される病院に躍進しようとしています。「ガイドラインに沿った標準治療・高度医療の推進」、「チーム医療の拡大」を診療基本方針として掲げて職員一同奮闘しています。また診療機能の3本柱として「がん診療」「脳・循環器診療」「勤労者の運動機能回復」を掲げています。最近では取り扱う臨床症例数の増加のみならず、より高度で良質な医療の提供が求められています。「豊富な取り扱い症例数」と「高度かつ良質な医療」の両立という課題を実現するためには、臨床実績と学術業績という医療機関のいわば両輪となるものを毎年再点検し、新たな医療技術の発展に繋げていくプロセスを継続することが重要です。良質な医療をより多くの人々へ、そして医療の結果は臨床研究として学会発表や論文発表を通じて世に問うことで新たなエビデンスの確立、新たな医療技術の発展へと繋がるのです。

本業績集では例年通り各診療科ごとに臨床実績と学術業績について掲載しています。臨床実績については臨床指標として、1) 人材と設備 2) プロセス 3) 経験値 4) アウトカムの4項目に沿ってまとめているので、より具体的な診療内容や臨床成績、合併症頻度などをご理解いただけるかと思います。また学術業績については論文、学会報告や講演などに分類してタイトル、著者を掲載しています。国内のみならず海外での学会活動・論文発表も活発なところをご覧頂きたいと思います。

医療を取り巻く環境は厳しさを増していますが「安全で良質な医療を提供する」という基本理念を追求しつづければ、結果としてその厳しい状況を乗り越えることができると考えます。本業績集はその「安全で良質な医療を公開する」役割を果たしています。林紀夫院長体制3年目を迎え、今後も当院の使命を忘れることなく全職員が医療の向上のため職務に専念し、なおかつ学術活動推進にも精力的に取り組んでまいり所存です。

関係各位におかれましては本業績集に対し忌憚の無いご意見ご指導を賜れば幸甚です。

平成24年6月吉日

独立行政法人 労働者健康福祉機構 関西労災病院

副院長 大 園 健 二

臨床業績集

内 科

〔糖尿病・内分泌内科〕

1. 人材と設備

スタッフ 2人

日本糖尿病学会 指導医 山本 恒彦

日本糖尿病学会 専門医 林 功

レジデント 2人

日本糖尿病学会 学会員 山本 裕一

日本糖尿病学会 学会員 光井 絵理

2. プロセス

クリティカルパス1つ（糖尿病教育入院・インスリン導入・腎症管理に対応）

治療方針は日本糖尿病学会の指針に基づく。

3. 経 験 値

外来部門

平成23年12月31日時点で、外来予約患者数;1,518人

外来患者うちわけ;

糖尿病1,170例

2型糖尿病1,065例

食事療法のみ63例、経口血糖降下薬439例、GLP-1療法27例

インスリン単独療法378例、経口血糖降下薬とインスリン併用158例

1型糖尿病85例（含SPIDDM10例）;インスリンポンプ療法（CSII）26例

妊娠糖尿病20例

高血圧症・代謝疾患;63例

内分泌疾患;285例

外来患者を対象とした

「糖尿病スクール」12回/年

入院部門

入院患者数のべ252例/年

糖尿病161例（2型糖尿病150例、1型糖尿病11例）

内分泌疾患46例（副腎腺腫の精査、下垂体腺腫など）

その他45例（肺炎などの感染症・脳梗塞など）

入院患者を対象とした
「糖尿病教室」129回／年

〔腎臓内科〕

1. 人材と設備

常勤医：3人

後期研修医：3人

日本内科学会認定医 3人、日本内科学会総合内科専門医 1人

日本腎臓学会専門医 3人、日本腎臓学会指導医 1人

日本透析医学会専門医 3人、日本透析医学会指導医 1人

血液透析用ベッド：20床（透析センター）

血液透析個人用コンソール：15台

個人用透析装置：6台

個人用逆浸透精製水作成装置：2台

持続血液濾過透析（CHDF）装置：3台

多目的用血漿交換装置：1台

LDL吸着用装置：1台

腹膜透析外来専用診察室：1室

2. プロセス

クリティカルパス：

腎生検入院パス

腹膜透析導入パス

血液透析導入パス

治療方針：検尿異常の精査から、院内各科と協力しての長期透析患者の合併症治療まで、腎臓病のほぼ全領域（腎移植を除く）をカバーする診療を行っている。

腹膜透析療法・腎性貧血・透析患者の二次性副甲状腺機能亢進症に関する治療など学会作成のガイドラインが存在する疾患に関してはガイドラインに基づく診療を行っている。

3. 経験値

腎臓病教室：医師・看護師・薬剤師・医療ソーシャルワーカーなど多職種で協力してさまざまな方面からの医療情報を提供することを目的として開催している。

腎不全教室：年2回（2011年は合計58人参加）

腹膜透析教室：年1回（2011年は6人参加）

腎不全保存期指導：腎機能低下が進行し、食事指導や生活指導をよりきめ細かく行わなければならない症例や、透析療法の選択（血液透析・腹膜透析）を行わなければならない症例に対しては、透析センター看護師による個別の保存期指導を随時行っている。

2010年：67回

2011年：106回

腎生検：慢性腎炎症候群やネフローゼ症候群・急速進行性糸球体腎炎症候群などで、組織型が不明の場合には積極的に腎生検を行い、組織型によって治療方針を立てている。腎生検はエコーガイド下で、大きな合併症なく安全に施行できている。

IgA腎症と診断した場合には近年注目されている扁桃腺摘出+ステロイドパルス療法を積極的に行っている。

（腎生検施行数）

2007年：36例

2008年：32例

2009年：37例

2010年：33例

2011年：25例

慢性維持透析療法導入：保存期慢性腎不全症の治療にも力を入れているが、不幸にして腎機能が著明に低下した場合には、血液透析にするか腹膜透析にするかを、十分な説明を行い、本人の意思も尊重して選択を行っている。

血液透析導入患者：

2007年：46例

2008年：49例

2009年：60例

2010年：81例

2011年：69例

腹膜透析導入患者：

2007年：10例

2008年：3例

2009年：1例

2010年：1例

2011年：0例

血液浄化療法：検査・治療目的で他科に転入となる透析患者数が増加している。また急性腎不全や敗血症・多臓器不全などで急性血液浄化を依頼される症例数も増加している。

当院透析センターでの血液透析患者受け入れ数（繰り返し入院症例も含む）

2007年：496例

2008年：492例

2009年：629例

2010年：529例

2011年：540例

当院透析センターでの血液透析施行総数

2011年：5,126回

当院透析センターでの腹膜透析外来施行回数

2011年：188回

血液透析・腹膜透析以外の特殊血液浄化療法として

- 循環動態の不安定な症例に対する持続血液濾過透析(CHDF)
- 術後肝不全・劇症肝炎に対する全血漿交換(PE)
- 全身性エリテマトーデスやクリオグロブリン血症に対する二重膜濾過血漿交換(DFPP)
- 敗血症性ショックに対するエンドトキシン吸着(PMX)
- 家族性高コレステロール血症や巣状糸球体硬化症に対するLDLアフェレーシス
- 潰瘍性大腸炎・関節リウマチに対する白血球除去療法も施行している。

〔血液内科〕

1. 人材と設備

人員：スタッフ 1人（血液学会専門医）

設備：ヘパフィルター装備治療室 2床

2. プロセス

クリティカルパス：悪性リンパ腫に対する標準的治療（R-CHOP）

リツキサン、ベルケイド、チロシンキナーゼ阻害薬など分子標的治療

治療方針は、EBM、ガイドラインに準じて行う。

3. 経験値

1）2011年度の疾患別入院患者

悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、白血病などの造血器腫瘍 90人

その他 5人

2）検 査

骨髄検査、遺伝子検査、染色体分析、表面マーカー、PET検査など

3）治 療

化学療法、抗体療法：約90例

外来化学療法：約100例

慢性骨髄性白血病の分子標的治療：5例

4. アウトカム

悪性リンパ腫：5年生存率60%

急性白血病：初回寛解率60%

消化器内科

1. 人材と設備

(1) 人 材

消化器内科は2011年4月以降、萩原秀紀部長以下9人の常勤医、3人のレジデントで肝臓、消化管疾患を中心とする消化器疾患全般に対応しており、消化器外科、放射線科などとも連携をとりながら診療を行っている。日本消化器病学会専門医9人(指導医3人)、日本肝臓学会専門医6人(指導医3人)、日本消化器内視鏡学会専門医8人(指導医2人)、日本内科学会認定内科医10人が在籍し、日本消化器病学会、日本肝臓学会、日本消化器内視鏡学会の認定指導施設となっている。萩原は兵庫県肝炎対策協議会委員および大阪府肝炎がん対策委員会委員に任命されており、当院は肝疾患専門医療機関に指定されている。

(2) 設 備

内視鏡関連では、2005年からダブルバルーン小腸内視鏡、2008年からカプセル内視鏡、2011年からコンベックス型超音波内視鏡を導入している。2012年2月に内視鏡室が1階に移設、拡充され、内視鏡センターとしてリニューアルしたことに伴い、先進的な治療、処置が効率よく行える環境が整った。2012年3月からはVPP (Value Per Procedure) システム導入により、常時最新機種を用いての検査が行えるようになった。内視鏡下処置や内視鏡的止血には高周波手術装置、アルゴンプラズマ凝固装置を使用しており、内視鏡センター稼働に合わせ、新たな装置を追加した。

肝悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法には、クールチップ型電極 (Radionics社) と展開型電極 (Boston Scientific社) を症例に応じて使い分けられるように2種のラジオ波焼灼装置を使用している。

2. プロセス

(1) 使用しているクリティカルパスと対象疾患

- ①内視鏡的粘膜切除術：消化管の腫瘍性疾患（腺腫、早期癌など）
- ②内視鏡的粘膜下層剥離術：消化管の腫瘍性疾患（主として胃の早期癌）
- ③大腸内視鏡検査：大腸疾患
- ④エコーガイド下肝生検：肝炎などの肝機能障害、肝腫瘍
- ⑤経皮的ラジオ波焼灼療法：肝悪性腫瘍
- ⑥経皮的エタノール注入療法：肝悪性腫瘍
- ⑦経カテーテル的動脈塞栓術、動注療法：肝細胞癌
- ⑧慢性肝炎に対するインターフェロン療法：C型慢性肝炎

C型慢性肝炎については地域連携パスを作成している。

(2) 治療方針の決定

食道癌、胃癌、大腸癌、肝癌については消化器外科、放射線科などと定期的にカンサーボードを開催し、ガイドラインや治療指針を基本に最新の情報も採り入れ、各症例に最

適と考えられる治療方針を決定している。その他の疾患についても、週1回の消化器内科カンファレンスおよび内視鏡カンファレンスで治療方針の決定、確認を行っている。

3. 経験値に関する指標

(1) 入院患者数

2011年の年間入院患者数は1,800人で、平均在院日数は11.0日。

(2) 疾患の内訳（のべ症例）

- ①肝疾患：C型慢性肝炎78例、肝細胞癌264例、肝硬変・肝不全26例など
- ②胆道疾患：胆道癌26例、胆嚢・胆管炎33例、胆管結石91例など
- ③膵疾患：膵癌59例、急性膵炎13例など
- ④消化管疾患：食道癌44例、食道胃静脈瘤38例、胃癌94例、胃腺腫・ポリープ29例、胃・十二指腸潰瘍53例、大腸腺腫・ポリープ295例、大腸癌80例、大腸憩室炎・腸炎・下部消化管出血152例、炎症性腸疾患27例、イレウス20例など

(3) 検査・治療件数

①内視鏡関連検査・治療

1) 上部消化管内視鏡	4,895件
2) 大腸内視鏡	2,139件
3) 小腸内視鏡	31件
4) 内視鏡的止血術	162件
5) 内視鏡的食道・胃静脈瘤硬化・結紮術（EIS/EVL）	40件
6) 内視鏡的粘膜切除術（EMR）	349件
7) 内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）	59件
8) 内視鏡的逆行性膵胆管造影（ERCP）	223件
9) 内視鏡的胆管結石除去術・ステント留置術	71件
10) 内視鏡的消化管ステント留置術	6件

②肝臓・胆道関連検査・治療

1) 腹部超音波	4,484件
2) 超音波ガイド下肝生検	121件
3) 経皮的ラジオ波焼灼療法（RFA）	86件
4) 経皮的エタノール注入療法（PEIT）	16件
5) 経カテーテル的動脈塞栓術・動注化学療法（TAE/TAI）	137件
6) 経皮経肝胆道ドレナージ術（PTBD）	35件
7) 慢性肝炎に対するインターフェロン療法導入	64件

(4) 肝臓病教室

肝臓病と食道・胃静脈瘤に関して6回の教室を開催した。

今後も充実したスタッフを揃え、最新機器への更新を進めるとともに、専門性を追求しつつ幅広い疾患にも対応し、地域医療における中核病院の消化器内科として、高度医療が提供できる体制を堅持、さらに発展させていく。

循環器内科

1. 人材と設備

人 材

循環器科は、上松循環器部長兼院長補佐を循環器グループ長とする常勤医10人、レジデント医師5人のスタッフから構成される。また1、2年次の臨床研修医2～3人の指導を行っている。心臓血管外科と協力して循環器系独自の当直体制をとり、循環器救急疾患に24時間対応可能な体制を敷いている。

認定医、専門医等の資格に関しては、日本内科学会認定内科医7人、日本循環器学会専門医6人、日本超音波医学会指導医3人、同専門医2人、日本心臓病学会特別正会員(FJCC)3人、日本心血管インターベンション学会指導医2人、日本心血管インターベンション学会認定医1人、日本救急医学会救急科専門医1人、米国心臓病学会特別正会員(FACC)2人を擁する。

設 備

医療機器としては、心臓カテーテル検査のためのシネアンギオ装置（フィリップス社製および東芝製）を有し、緊急カテーテル検査に24時間対応可能となっている。カテラボでは血管造影に加えて血管内超音波や血管内視鏡も施行可能である。非侵襲的検査部門では冠動脈CT（東芝 320列）、超音波診断装置（東芝、GE、フィリップス社製）、ホルター（フクダ電子）、負荷心筋シンチグラフィーのためのガンマカメラ（GE社製）が稼動中である。

2. プロセス

当科で使用可能なクリティカルパスとその対象症例

- ① CAGパス：狭心症、心筋梗塞など、冠動脈造影の適応となる疾患
- ② ペースメーカー電池交換パス：体内式ペースメーカーをすでに植え込まれている症例で、電池交換が必要と判断された症例
- ③ 急性心筋梗塞パス：急性心筋梗塞と診断された症例のうち当科が定める急性心筋梗塞患者さんを対象とした包括的心臓リハビリテーションの施行が可能と判断された症例

3. 経 験 値

関西労災病院循環器科における近年の冠動脈インターベンション治療（PCI）の動向

2010年度のPCI総件数は524件であり例年通りの件数を維持している。ここ数年、当院が近隣の心疾患系重症治療の拠点病院としての役割が高まる中、緊急PCIを必要とする救急患者の受け入れが困難となる集中治療室の慢性的な満床状態が続いていた。2007年7月より心臓血管センターを開設した結果、救急患者の受け入れ体勢も整備され、急性心筋梗塞・不安定狭心症の症例は増加し、緊急PCI件数は2010年度も146件であり近隣の病院等からの紹介患者は増加している。これらの緊急症例に加え、最近ではDESの導入によりPCIの適応拡大が進んでおり、従来のバイパス手術適応患者に対するPCI依頼を目的とした紹介患者が増えている。このように複雑病変に対するPCIが増加しているにもかかわらず、PCI成功率は高

い数字を維持している。

心臓血管センター開設後、PCI件数のみならず心疾患系重症患者数も増加傾向にある。同センターにおいては、ハード面においては施設基準を満たしたCCUが併設され、ソフト面においても集中治療専門ナースも配属され、より高度な心臓集中治療が施行されている。近隣の医療施設や救急隊とこれまで以上に密な連携をとり、心疾患系重症治療の拠点病院としての役割を果たしていきたい。

冠状動脈インターベンション（PCI）治療症例数

近年5年間のPCI年次推移

	2005	2006	2007	2008	2009
総 PCI 件数	498	447	523	485	504
待機的 PCI	351	296	337	316	358
緊急の割合	29.5%	33.8%	35.6%	34.9%	28.9%

時間外緊急PCI治療の内訳

	2005	2006	2007	2008	2009
緊急 PCI 件数	147	151	186	169	146
急性心筋梗塞	126	98	133	111	104
不安定狭心症	21	53	53	58	42

下肢血動脈インターベンション（EVT: Endovascular Therapy）の動向

我が国における食生活の欧米化を含めたライフスタイルの変化と高齢者の増加は、高血圧・高脂血症・糖尿病等の生活習慣病の著しい増加をもたらし、なかでも脳・心血管疾患等の動脈硬化性疾患は増加しつつある。末梢血管の動脈硬化により生じる下肢閉塞性動脈硬化症も例外ではない。近年当科においても積極的にこの分野に対するカテーテル治療を施行している。症例は年々増加傾向であるが、その背景には開業医や中小病院との病診連携が整い始めたことにある。実際に動脈硬化性疾患であるにも関わらず、循環器内科・心臓血管外科（以下専門外来）以外からの紹介症例が増加している。今後も更なる連携を深め、この領域に対する治療を継続していくことが必要である。

昨年は末梢血管に対するインターベンション治療は年間症例数776件であり、順調に症例数が増加している。特に心臓血管外科と開始した大動脈ステントグラフト術は2009年度で前年度の2倍以上の27件であった。さらなる症例数の増加が期待できる。今後は更に心臓外科と胸部大動脈ステント術、脳外科と協力しての頸動脈ステントを施行していく予定である。

年	大動脈-腸骨動脈領域	大腿膝窩動脈領域	膝下動脈領域	その他	合計
1999	3	2	0	0	5
2000	9	14	0	0	23
2001	32	25	0	0	57
2002	45	24	0	0	69
2003	50	72	1	1	124
2004	53	99	29	4	185
2005	83	136	107	6	332
2006	138	200	134	17	489
2007	217	241	130	31	619
2008	193	237	149	44	623
2009	189	332	180	75	776

その他：鎖骨下動脈、腎動脈、透析シャント、大動脈ステントグラフト

不整脈に対する治療症例数

不整脈の分野においては、約10年前より心房細動に対するカテーテルアブレーション（心筋焼灼術）、致死性不整脈に対する植込み式除細動器、また心不全に対する両心室ペースメーカーの植込みが行われるようになり治療の対象になる患者も増加してきている。当院においても不整脈に対するデバイス治療やカテーテルアブレーション治療は年々増加しており、特にカテーテルアブレーション（心筋焼灼術）において昨年度は100症例を超え、症例数は飛躍的に増加している。これは、心房細動に対するカテーテルアブレーション治療を本格的に行い始めたことや、近隣の病院からの紹介が増えてきていることが原因と考えられる。また、現在はCARTOシステムやEnSiteシステムといった3Dマッピングシステムを併用し、心房細動だけでなく心室頻拍といった難易度の高い不整脈に対しても積極的に治療をおこなっている。今後はさらに近隣の病院との連携を深めより質の高い総合的な治療を24時間体制に行っていくつもりである。

□ペースメーカー手術症例数

● 新規ペースメーカー植込み術及び電池交換術施行数

			新規ペースメーカー 植込み術	電池交換術
	ペースメーカー 治療総数(人)	平均年齢(歳)	総 数(人)	総 数(人)
1999年	73	69.0	49	23
2000年	68	69.4	43	23
2001年	75	70.5	54	19
2002年	83	73.0	61	22
2003年	71	72.1	50	19
2004年	92	71.0	59	25
2005年	118	72.0	65	36
2006年	109	69.8	82	27
2007年	115	76.8	74	41
2008年	134	74.2	78	56
2009年	154	75.4	84	70

●埋込み型徐細動器(ICD)植込み術数

1999年：1人 2000年：2人 2001年：2人 2002年：0人 2003年：2人
 2004年：6人 2005年：6人 2006年：11人 2007年：14人
 2008年：15人（うち2人は交換） 2009年：9人

●心臓再同期療法／（植え込み型徐細動器付き）両心室」ペーシング（CRT or CRT-D）施行術

2004年：2人 2005年：11人 2006年：5人 2007年：7人
 2008年 CRTD新規：12人 CRTD交換：1人 CRT-P交換：1人
 2009年 CRTD：8人（新規+交換）

●緊急一時ペーシング施行数

1999年：14人 2000年：17人 2001年：24人 2002年：21人 2003年：29人
 2004年：23人 2005年：26人 2006年：43人 2007年：42人 2008年：38人

□心筋焼灼術（カテーテルアブレーション）治療症例数

（1999年～2009年1月まで）

1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
3	7	7	9	19	26	37	66	93	111	119

冠動脈CT

当院では、2009年3月に320列エリアディテクター CTを増設した。外来における冠動脈CT検査の準備を進め、ようやく2009年4月より本格稼働の運びとなった。稼働後、2ヶ月間で約150例の症例

を重ね、撮影～画像解析まで円滑な運用ができるようになった。CT装置の多列化が進み64列CTが普及する中、今回、当院に導入となった最新の320列CTは、16cmの幅広い検出器を持ち、心臓を1回転、わずか0.35秒で撮影することができ、造影剤量および被爆量の低減が可能である。この320列エリアディテクター CTによる冠動脈CT検査は、狭心症をはじめとした心疾患患者の診療において、迅速な診断と治療方針の決定に役立つものと考えている。

心臓リハビリテーション

急性心筋梗塞 85人

末梢動脈疾患 58人

開心術後（CABG、弁疾患） 43人

狭心症 9人 慢性心不全 32人

循環器疾患関連検査総数

年度	心エコー 図検査	下肢動脈 エコー検査	心臓核 医学検査	ホルター 心電図検査	冠動脈CT	心臓カテー テル検査
1997	2,413		1,321	659		1,458
1998	2,855		1,454	574		1,512
1999	3,241		1,430	670		1,465
2000	3,792		1,356	670		1,456
2001	4,277		1,663	712		1,575
2002	4,057		1,392	744		1,540
2003	4,308		1,295	807		1,552
2004	4,383		1,449	823		1,845
2005	4,748		1,539	870		2,020
2006	4,843	59	1,140	987		2,178
2007	5,451	836	1,190	1,040	18	2,469
2008	5,993	1,360	1,417	926	37	2,563
2009	6,143	1,606	1,344	846	97	2,636

4. アウトカム

冠動脈インターベンションの治療成績

	2005	2006	2007	2008	2009
手術成功率 (%)	97.2	98.6	99.1	97.5	98.2
不成功手技数 *	15	7	4	12	9
術合併症数 ** (%)	4 (0.7)	7 (1.4)	7 (1.4)	3 (0.6)	10 (1.9)
死亡数(待機例)	0	0	0	0	0

*：標的病変のバルーン不通過もしくは、治療後の冠血流TIMI-0/I数。

**：冠閉塞・冠穿孔、輸血を必要とした出血、感染、塞栓症及び待機症例における心不全死を含む。

割合は、手技数あたりで算出。

下肢閉塞性動脈硬化症・末梢血管疾患に対する治療（末梢血管インターベンション）成績

- 1) 調査期間：1999年9月から2009年12月迄
- 2) 手術方法：経皮的末梢血管形成術 (EVT: Endovascular Therapy)
- 3) 治療成績：総症例数：2,526病変（腸骨動脈領域：823例、大腿膝窩動脈領域：1,050例、膝窩動脈以下3分枝：例、腎動脈：15例、鎖骨下動脈：19例、シャント不全：69例、大動脈ステントグラフト：13例）

	腸骨動脈領域	大腿膝窩動脈領域	膝下動脈領域
初期成功率	97% (802/823)	96% (772/813)	93% (373/550)
狭窄病変	99% (592/593)	100% (615/615)	99% (259/260)
完全閉塞病変	92% (219/239)	89% (389/435)	87% (253/290)

ペースメーカー治療成績

植え込み成功率

1999年：100% 2000年：100% 2001年：100%
 2002年：100% 2003年：100% 2004年：100%
 2005年：100% 2006年：100% 2007年：100% 2008年：100% 2009年：100%

●合併症数

1999年：2人 2000年：2人 2001年：2人 2002年：3人 2003年：4人
 2004年：2人 2005年：4人 2006年：3人 2007年：3人 2008年：7人

術後急性期合併症：リード移動に伴う再固定施行5人

気胸1人 外科的血腫除去術 1人

術後慢性期合併症：リード断線に伴うリード再挿入施術 1人 創部感染 2人

環境医学研究センター診療科・シックハウス診療科

1. 人材と設備

スタッフ：医師、平田 衛;検査技師、吉田辰夫;看護師、三浦千香子・大下 歩・
下光輪子。

日本医師会認定産業医1人、日本産業衛生学会指導医1人、労働衛生コンサルタント（保健衛生）1人

設備

曝露負荷用クリーンルーム、瞳孔反応検査装置（イリスコーダ）、指標追跡眼球運動検査装置、肺機能検査装置

2. プロセス

該当せず

3. 経験値

症例数：総計、28人;

内訳：シックハウス症候群疑い、6人（5件）；特発性環境不耐症（所謂「化学物質過敏症」）疑い、10人;喘息疑い、1人；精神疾患疑い、4人；その他、7人

4. アウトカム

該当せず

心療内科・精神科

1. 人材と設備

スタッフ

医 師 3人

精神保健指定医 2人

日本精神神経学会専門医 2人、指導医 2人

日本老年精神医学会専門医 1人、指導医 1人

日本緩和医療学会指導医 1人

日本医師会認定産業医 1人

日本職業・災害学会評議員 1人

日本総合病院精神医学会評議員 1人

臨床心理士 3人（うち2人が勤労者メンタルヘルスセンターでカウンセリング業務に従事）

日本臨床心理士資格認定協会認定臨床心理士 3人

設備・機器

リラクゼーション機器 1台

2. プロセス

治療方針は日本精神神経学会および日本心身医学会の方針にもとづいている。

小 児 科

1. 人材と設備

スタッフは3人で、うち2人が日本小児科学会認定小児科専門医。

2. プロセス

クリティカルパスは川崎病、低身長、の精査、急性呼吸器疾患、感染性胃腸炎で準備されている。

3. 経 験 値（平成23年1月1日～12月31日）

年間外来延べ患者数	4,127（人）
年間入院数（新生児は除く）	82
（内訳）呼吸器疾患	49
感染症	12
消化器疾患	6
神経疾患	4
その他	11
年間新生児入院数	155
（内訳）新生児黄疸	80
低出生体重児	31
細菌感染症	5
その他	39

外科

1. 人材と設備

- 1) スタッフ10人（部長：3人、副部長：4人、医員：3人）
レジデント 6人
- 2) 専門医制度修練指定施設（認定施設）
日本外科学会
日本消化器外科学会
日本乳癌学会
日本気管食道科学会
日本肝胆膵外科学会高度技能専門医修練施設Bの認定施設
- 3) 有資格者

	専門医	指導医
日本外科学会	10	4
日本消化器外科学会	6	4
日本乳癌学会	2	
日本消化器内視鏡学会	4	2
日本消化器病学会	2	
日本食道学会	食道科認定医 1 食道外科専門医 1	
日本気管食道科学会	1	
日本肝胆膵外科学会		高度技能指導医 1
日本内視鏡外科学会	技術認定医 3	
日本大腸肛門病学会	1	1
日本胆道学会		1
日本緩和医療学会		1
日本がん治療認定医	8	
日本移植学会	認定医 1	

※専門医・指導医 重複あり

4) 医療機器

GE 横河 デジタルマンモグラフィ Senograph2000D

デヴィコアメディカルジャパン(株) マンモトーム

メディコン(株) バコラ

など

2. プロセス

- 1) クリティカルパス
 1. 胃切除術（胃切除術・胃全摘術）
 2. 審査腹腔鏡

3. 結腸切除術
4. 腹腔鏡下胆嚢切除術
5. 低位前方切除
6. 虫垂切除
7. 大腸ポリペクトミー
8. 肝切除術
9. 肝血管造影
10. 肝動脈塞栓術
11. 動注ポート埋め込み術
12. ソケイヘルニア
13. 乳房温存術or乳房切除術リンパ節郭清（ある・なし）
14. 乳房温存術リンパ節郭清なし
15. 乳房温存術・センチネル郭清術
16. 化学療法－タキソール・ハーセプチン療法－
17. 化学療法－タキソテール療法－
18. 化学療法－カンプト療法－
19. 化学療法－タキソール療法－
20. 化学療法－ファルモルビシン・エンドキサン療法－
21. 化学療法－アドリアシン・エンドキサン療法－

2) 治療方針

『胃癌治療ガイドライン』、『食道癌治療ガイドライン』、『大腸癌治療のガイドライン』、『乳癌診療ガイドライン1～5』、『肝癌診療ガイドライン』に準拠。

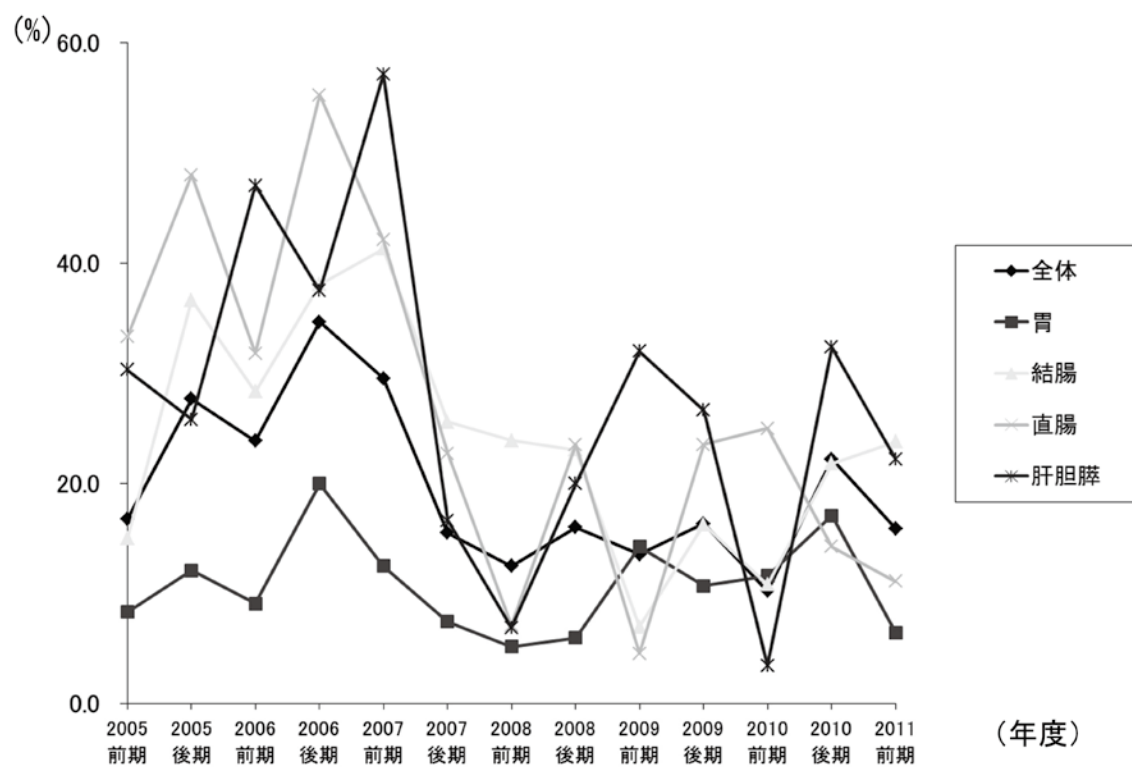
3. 経験値

主な手術症例数

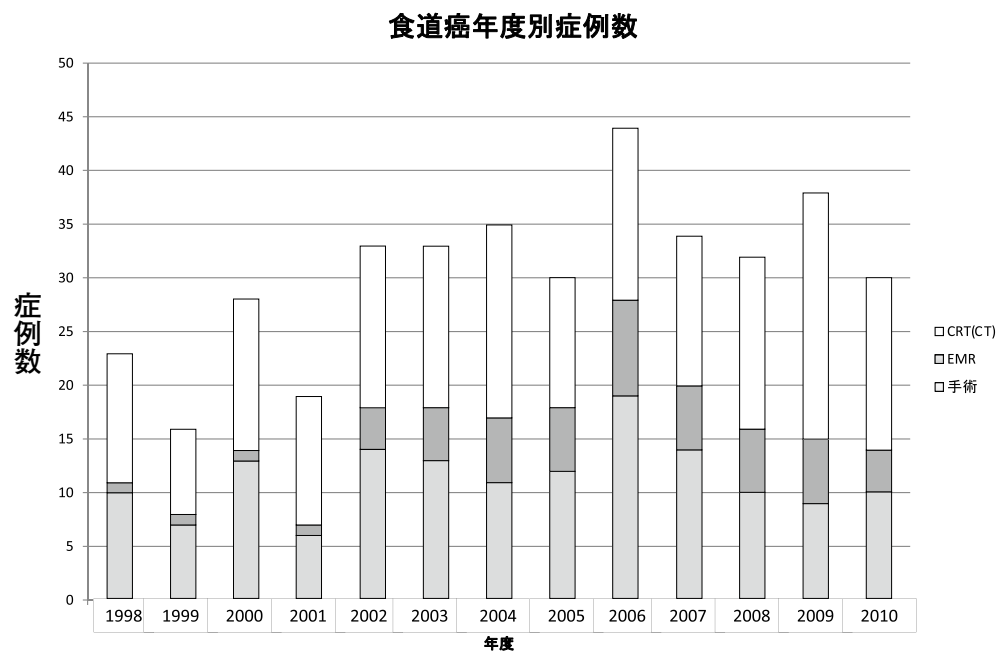
手 術 名	症例数 (例)
食道癌	14
食道アカラシア、食道裂孔ヘルニア	5
胃癌（腹腔鏡下手術を含む）	87
結腸・直腸手術（腹腔鏡下手術を含む）	151
肝・胆・膵悪性手術（転移性を含む）	101
乳癌	166
腹腔鏡下手術 胆のう摘出術	117
胃切除術	13
大腸切除術	118
虫垂切除術	30
肝切除	50
膵体尾部切除	2
その他	60

4. アウトカム

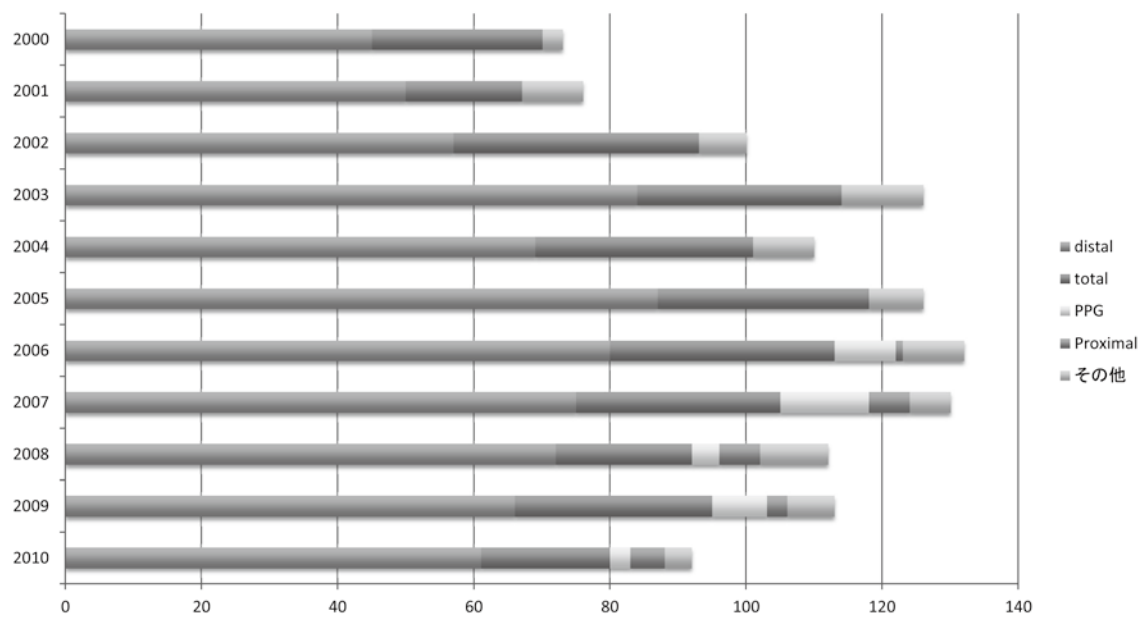
手術部位感染症発生率（2005－2011年）



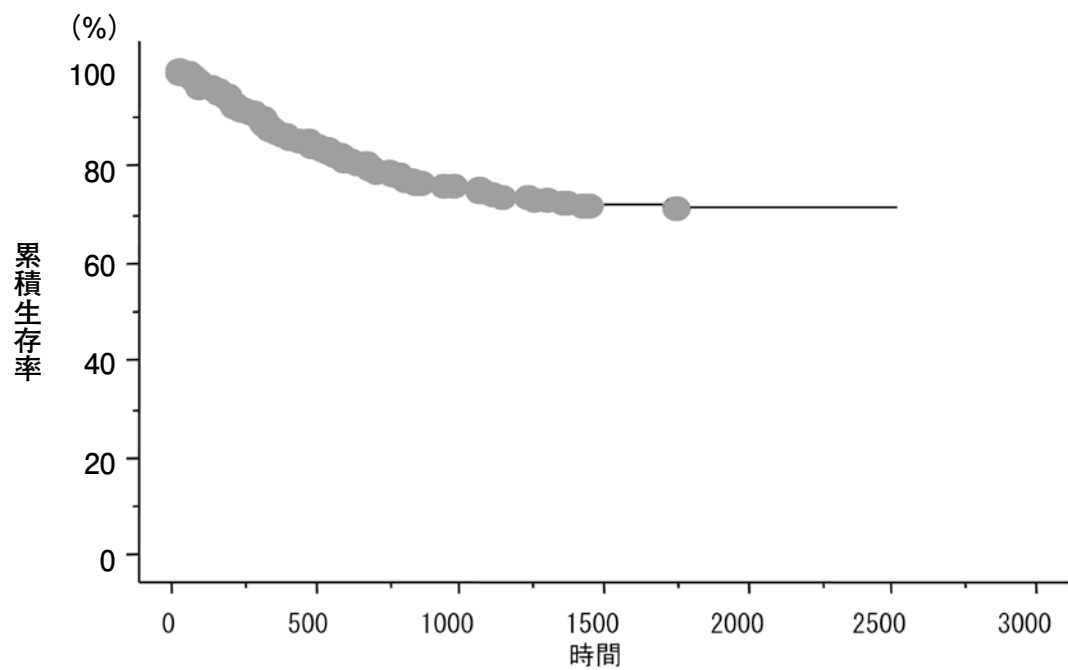
年間食道癌症例数



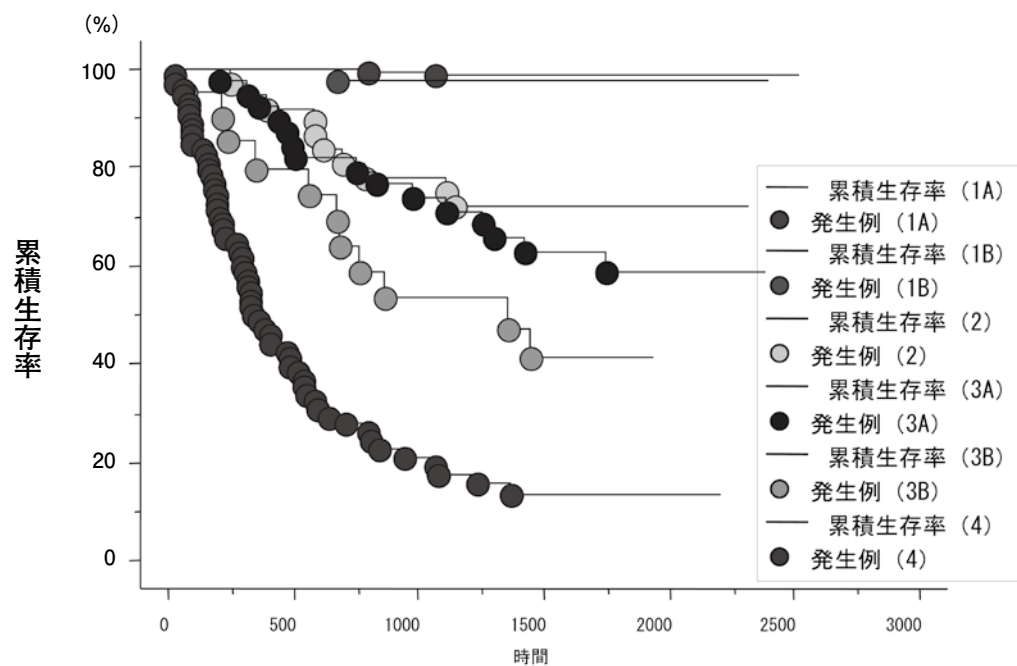
年次別胃がん手術症例



胃切徐術の術後生存率（2004－2006）



胃切徐術の術後生存率（stage別：2004－2006）



胃切徐術後の5年生存率（2004－2006）

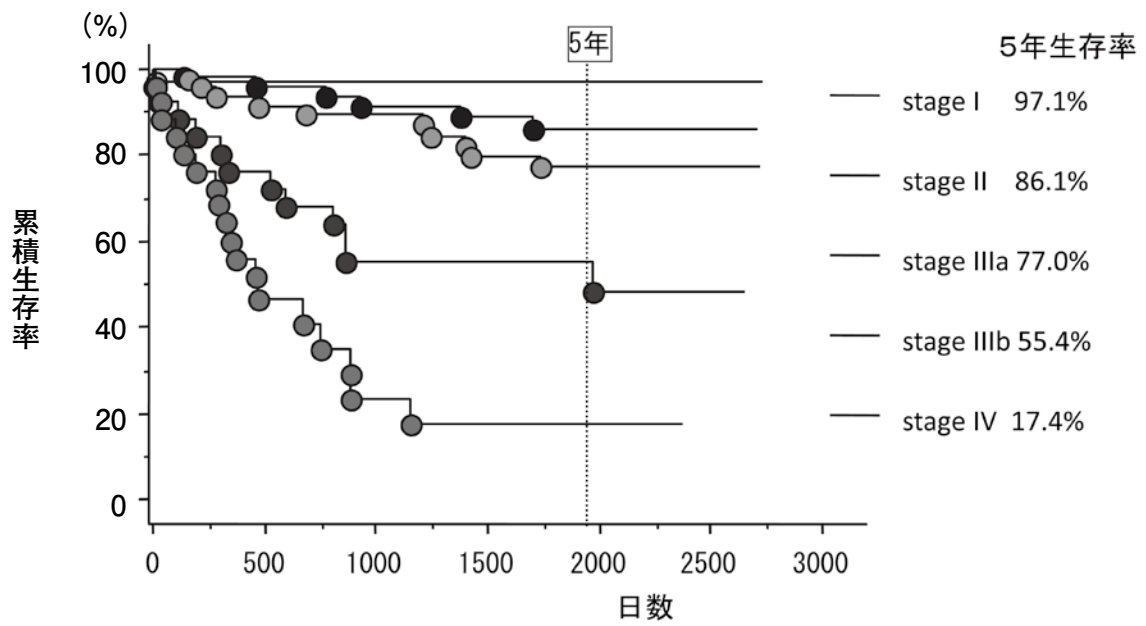
	症 例 数	5年生存率
• 全症例	365例	71.8%
• StageIA	146例	98.6%
• StageIB	44例	97.5%
• StageII	39例	72.2%
• StageIIIA	41例	59.0%
• StageIIIB	21例	41.4%
• StageIV	74例	13.5%

365例フォローアップ率94.2%

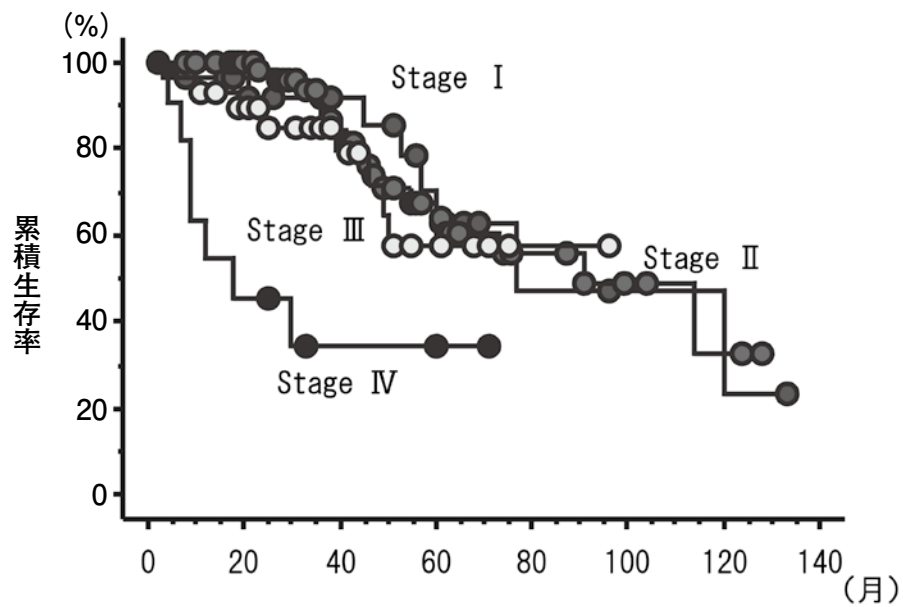
胃切除症例の手術合併症（2008－2010）

• 縫合不全	1.58%
• 瘝液瘻、腹腔内膿瘍	3.78%
• 肺炎	1.58%
• 肺塞栓症	0.00%
• 手術死亡	0.00%
• 在院死亡	0.63%
• 再手術	0.32%

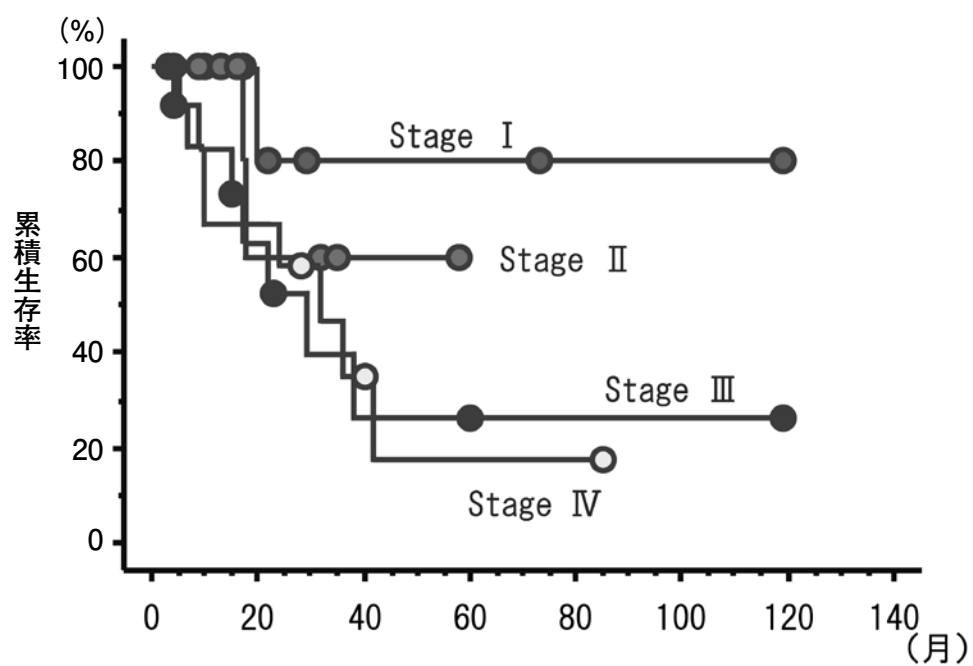
大腸癌術後生存率（2000－2001年）



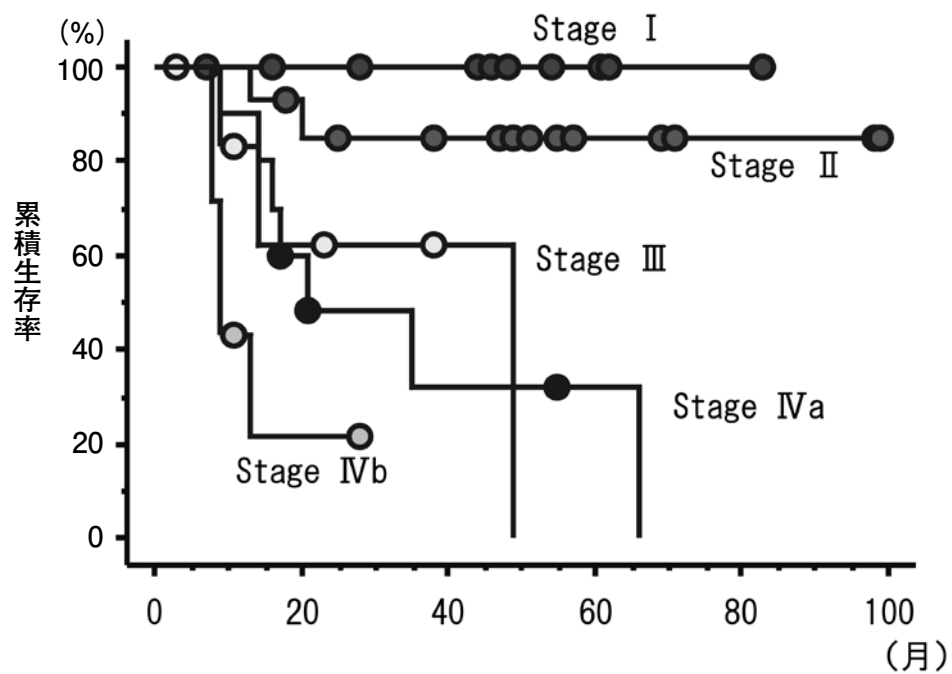
原発性肝癌術後の生存率（1999－2009）



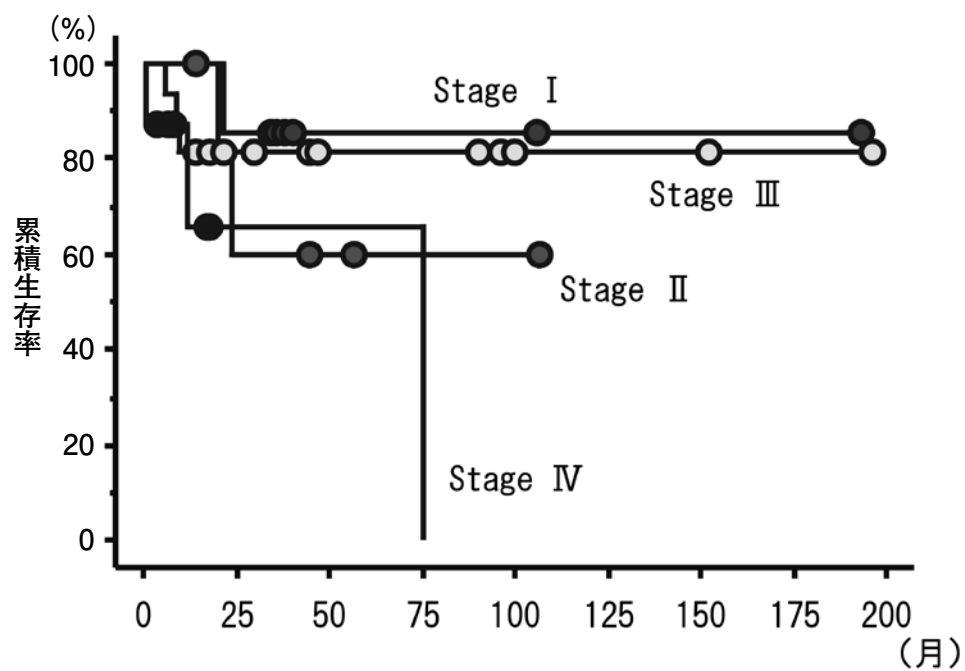
胆管癌術後の生存率（1999－2009年）



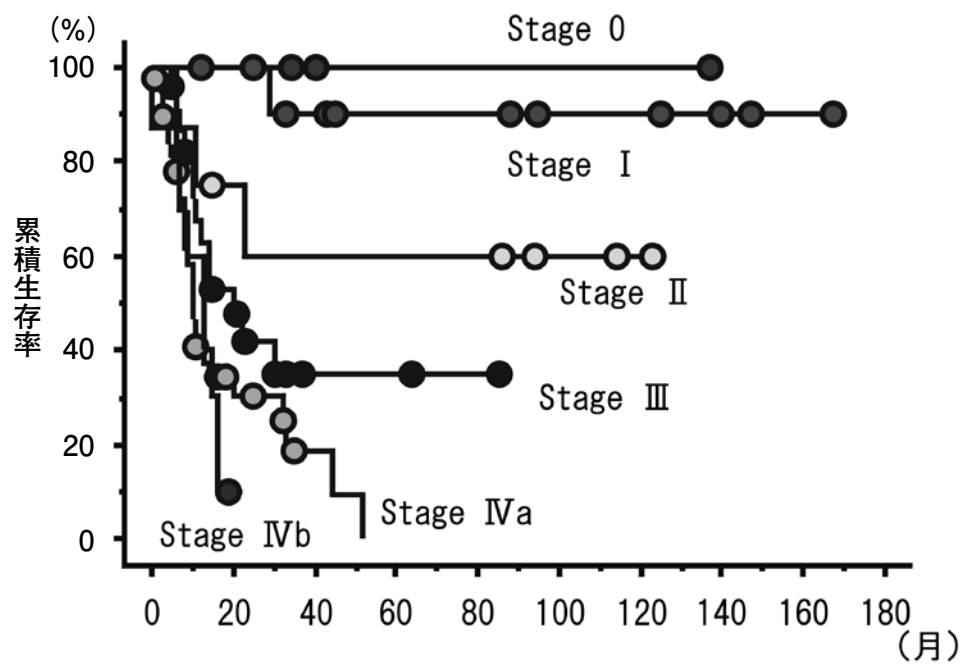
胆嚢癌術後の生存率（1999－2009年）



十二指腸乳頭部癌術後の生存率（1989－2009年）



膵癌術後の生存率（1989－2009年）



肝・胆・膵疾患 疾患別手術症例数

疾 患	2006	2007	2008	2009	2010
原発性肝癌切除	16	8	19	19	26
転移性肝癌切除	8	3	7	13	6
肝良性	1	1	1	1	0
胆嚢癌切除	7	10	2	7	2
胆管癌切除	6	5	4	5	11
胆道良性	124	96	105	132	143
乳頭部癌切除	3	2	2	4	1
膵癌切除	7	7	11	5	8
膵良性	1	3	2	2	4
摘脾	2	0	1	1	5
その他	2	3	0	5	5
	177	138	154	194	211

肝・胆・膵疾患 術式別手術症例数

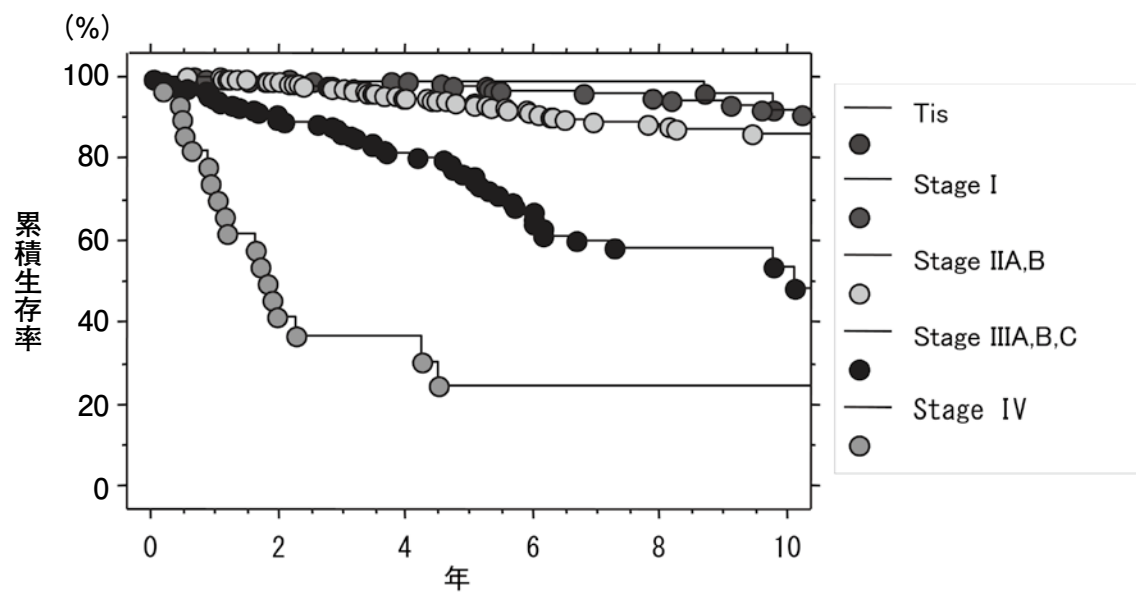
術 式	2006	2007	2008	2009	2010
肝部分切除術	17	7	21	15	23
肝区域切除術	7	5	2	17	2
肝葉切除術	5	5	6	10	13
胆嚢摘出術	106	94	93	125	127
胆管切開術	18	7	12	7	16
胆道消化管吻合術	6	7	3	8	4
膵頭十二指腸切除術	13	15	16	10	12
膵全摘術	0	0	0	0	3
膵尾側切除	2	4	5	5	4
脾摘出術	2	0	1	1	5
その他	5	3	0	5	5

肝・胆・膵疾患 術式別手術症例数（腹腔鏡下手術）

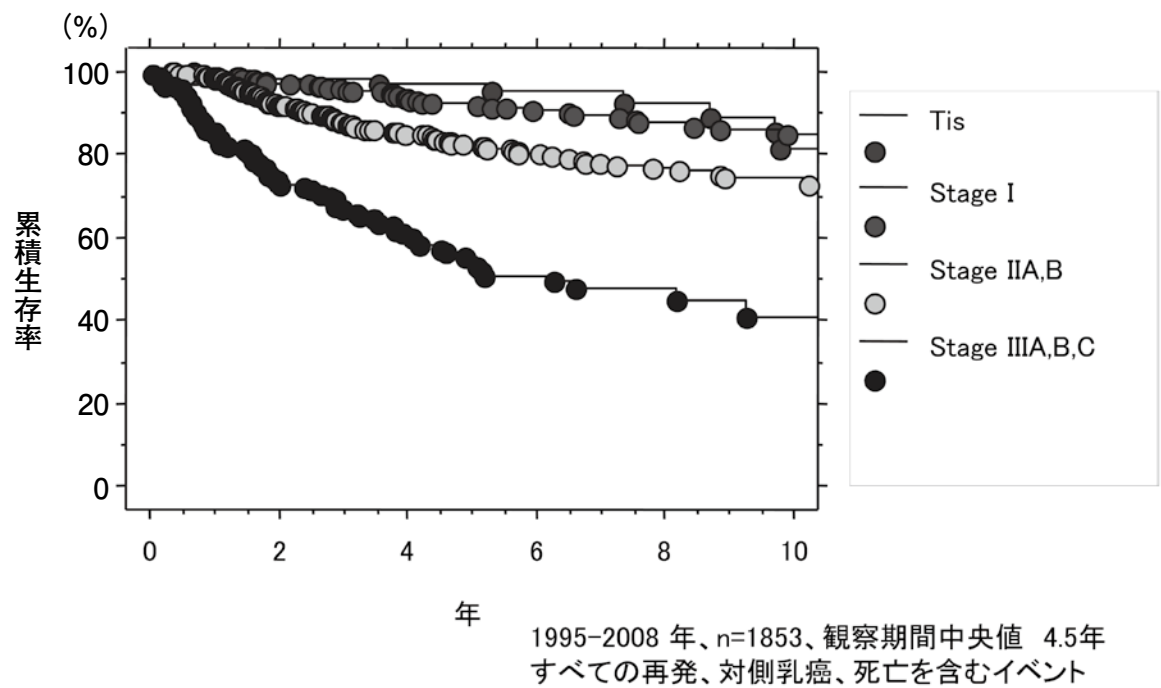
術 式	2006	2007	2008	2009	2010
腹腔鏡下胆嚢切除術	76	73	82	100	123
腹腔鏡下胆管切除術	4	0	2	3	10
腹腔鏡下肝切除（*）					34
腹腔鏡下膵体尾部切除（*）					5
腹腔鏡下脾臓摘出（*）					5

（*）2010年4月－2011年3月

乳癌術後の生存率



乳癌術後の無病生存率



整形外科・スポーツ整形外科

1. 人材と設備

- | | | |
|---------------|------------------------|-----|
| 1) 人 員 | スタッフ | 14人 |
| | (うち部長 4人、副部長 2人、医員 8人) | |
| | レジデント | 5人 |
| 2) 日本整形外科学会 | 専門医研修施設認定 | |
| 3) 資格所有者：医学博士 | | 8人 |
| | 日本整形外科学会専門医 | 14人 |
| | 日本整形外科学会リウマチ医 | 1人 |
| | 日本整形外科学会脊椎脊髄病医 | 3人 |
| | 日本整形外科学会スポーツ医 | 1人 |
| | 日医認定産業医 | 2人 |
| | 脊椎病学会指導医 | 2人 |
| | 日本リハ学会臨床認定医 | 2人 |

2. プロセス

クリティカルパス

パスの数 整形外科 55種類

1. 手の外科 (成人)
2. 手の外科 (小児)
3. 手の外科 (幼児)
4. 手の外科 (手・指関節周辺靱帯損傷・骨折)
5. 手の外科 (鎖骨骨折・上腕骨骨折)
6. 手の外科 (ひじ関節周辺靱帯損傷・骨折)
7. 手の外科 (抜釘)
8. 手の外科 (腱断裂)
9. 肘関節離断性骨軟骨炎
10. 絞扼性末梢神経障害
11. 末梢神経損傷
12. デュプイットラン拘縮
13. 肩腱板修復術
14. 脱臼肩関節形成術
15. TKA 人工膝関節全置換術
16. 人工膝関節再置換術 (Rev TKA)
17. 単顆人工膝関節置換術 (UKA)
18. THA 人工関節全置換術
19. 人工股関節再置換術

20. 短縮骨切り併用THA
21. 人工骨頭置換術
22. 大腿骨頸部骨折（C-CHS）ピンニング
23. 大腿骨頸部外側骨折（C-CHS） γ -ネイル
24. キアリ骨盤骨切り術
25. 寛骨臼回転骨切り術（RAO）
26. 腰椎後方固定（PLIF）
27. 頰椎後方手術
28. 腰椎椎間板ヘルニア髓核摘出術
29. 腰椎後方固定（開窓術）
30. ミエログラフィー
31. 後十字靱帯（PCL）再建術
32. 後十字靱帯剥離骨折観血的骨接合術
33. オスグット・骨片摘出術
34. 足関節デブリーメント
35. ACL PCL MCL修復術
36. 関節鏡
37. 半月板切除術短期用
38. 半月板切除術長期用
39. 半月板縫合術
40. 滑膜切除・デブリードマン
41. ACL再建術
42. 抜釘・関節鏡（前十字靱帯再建術）
43. 後十字靱帯（PCL）再建術
44. 後十字靱帯剥離骨折観血的骨接合術
45. 前・後十字靱帯（ACL・PCL）再建術
46. 内側膝外大腿靱帯（MPLF）再建術
47. 前十字靱帯再建術・内側副靱帯修復術
48. 前・後十字靱帯再建・内側副靱帯再建術
49. 腓骨筋腱脱臼腱鞘整復術
50. 足関節靱帯再建術
51. 下肢骨折（松葉杖使用）
52. 下肢骨折抜釘
53. 二分膝蓋骨ORIF
54. 自家骨軟骨移植術（足関節）
55. 自家骨軟骨移植術（膝）

3. 経 験 値

年間総手術例数		1,693	
骨・関節外傷観血整復術		374	
上	肢	肩周辺脱臼骨折	31
		上腕から肘脱臼骨折	18
		前腕から手脱臼骨折	52
		その他	116
下	肢	骨盤から大腿脱臼骨折	7
		膝から脛骨脱臼骨折	20
		足周辺脱臼骨折	9
抜釘		121	
軟部組織に対する組織		178	
	ばね指	61	
	手の腱手術	22	
	腱移行術	12	
	その他	83	
切断		1	
	下肢	1	
血管・神経		157	
	神経血管縫合・移植	18	
	神経剥離	96	
	その他	43	
関節外科		589	
人工骨頭		7	
人工関節	股関節	212	
	膝関節	121	
	肘関節	7	
関節固定術	上肢	7	
	下肢	2	
骨切り術	骨盤骨切り術	5	
	上肢骨切術	8	
滑膜切除		37	

靱帯・その他	肩反復性脱臼	5
	膝蓋骨反復性脱臼	8
	肩腱板断裂	19
	足関節周囲腱・靱帯損傷	8
	膝靱帯損傷	73
	半月板損傷	26
関節鏡手術（滑膜切除術・遊離体摘出含む）		44
脊 椎 外 科		315
頸 椎 手 術	頸椎前方固定術	6
	頸椎後方除圧術	60
	環軸椎固定術	4
胸 椎 手 術	胸椎後方除圧術	4
	胸椎前方除圧術	4
腰 椎 手 術	腰椎髓核摘出術	73
	腰椎後方除圧・固定術	138
	腰椎前方固定術	12
そ の 他	椎体形成術	1
	その他	13
腫 瘍 手 術		30
	良性軟部腫瘍	30
感 染 性 疾 患		18
	化膿性関節炎	18
そ の 他		31

整形外科患者数

		外来患者数				入院患者 延 数	手術件数		
		初診患者	再診患者	外来総数	内紹介患者		予定	緊	総計
平成 23 年	1月	471	2,091	2,562	178	3,223	115	4	119
	2月	490	2,081	2,571	215	3,133	119	16	135
	3月	567	2,562	3,129	214	3,758	142	16	158
	4月	490	2,382	2,872	174	3,434	122	17	139
	5月	530	2,333	2,863	203	3,595	103	19	122
	6月	597	2,435	3,032	225	3,394	124	16	140
	7月	515	2,348	2,863	188	3,811	127	22	149
	8月	556	2,467	3,023	205	3,639	144	9	153
	9月	498	2,375	2,873	223	3,588	134	9	143
	10月	511	2,284	2,795	193	3,606	126	9	135
	11月	492	2,385	2,877	195	3,583	142	12	154
	12月	430	2,220	2,650	173	3,571	133	13	146
	累計	6,147	27,963	34,110	2,386	42,335	1,531	162	1,693

4. アウトカム

脊椎 脊椎手術 全手術症例 305例

疾患別

変性	285例
外傷	9例
炎症	4例
腫瘍	3例
奇形	2例
その他	2例

部位別（重複有）

頚椎	65例
胸椎	15例
腰椎	229例

術式別（重複有）

頚椎

頚椎椎弓形成術	54例
頚椎椎間孔拡大術	3例
頚椎前方固定術	3例
頚椎後方固定術	7例
生検術	2例

胸椎

椎弓切除術	6例
後方固定術	9例
後方進入胸椎椎体間固定	1例
椎体形成術	1例

腰椎

後方進入腰椎椎体間固定	126例（内W-PLIF 17例）
経椎間孔的腰椎椎体間固定	6例
開窓術	127例（単独 67例、併用 60例）
髓核摘出術	26例（単独14例、併用12例）
腫瘍切除	1例
前方固定術	1例

周術期合併症

神経障害（筋力低下・感覚障害）	14例（4.5%）
硬膜損傷	11例（3.6%）
感染（疑いも含め）	6例（1.9%）
血腫	2例（0.6%）

人工股関節置換術

総数：215例

Primary THA：199例

再置換術：10例

表面置換術：2例

骨切り併用：4例

男性27例、女性188例、平均年齢：64歳

疾患・変形性股関節症：180例、関節リウマチ：4例、大腿骨頭壊死症：19例、その他：12例

術後感染：0例、術後神経麻痺：0例、術後脱臼：1例

骨盤骨切り術

総数：5例

キアリ骨盤骨切り術：3例

寛骨臼回転骨切り術：1例

棚形成術：1例

男性1例、女性4例、平均年齢：29歳

疾患・変形性股関節症：5例

術後感染：0例、術後神経麻痺：0例

股関節鏡

総数：2例

女性2例、平均年齢：46歳

疾患・変形性股関節症：1例、関節唇損傷：1例

術後感染：0例、術後神経麻痺：0例

人工膝関節置換術

総数：113例

Primary TKA：106例

再置換術：7例

男性18例、女性95例、平均年齢：74歳

疾患・変形性股関節症：102例、関節リウマチ：10例、その他：1例

術後感染：1例、術後神経麻痺：0例、術後膝蓋腱断裂：1例

前十字靱帯再建術

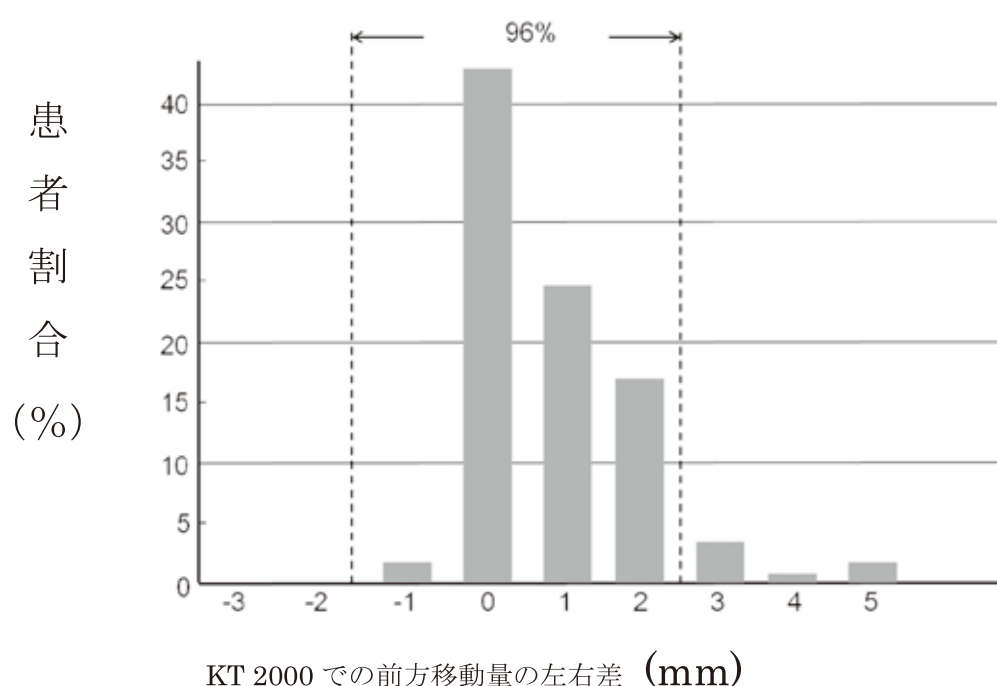
当院での2005年4月から2009年4月までの手術成績を示します。この間に275人の前十字靱帯再建術を行い、片方の膝の受傷、初回受傷などの条件に合致し、2年以上経過観察可能であった患者さんが121人で、このうち再受傷されたのは4人でした（フォローアップ率66%）。再受

傷をしなかった117人の患者さんに、『現在自分の膝の状態を評価するのようになりますか。正常、ほぼ正常、異常、きわめて異常の4段階で評価してください。』と質問したときの結果では、96%の方が正常かほぼ正常と評価しています。患者さんは概ね満足していると考えています。図1は再建した靱帯が、どの程度膝をしっかりとさせられているかを左右で比較したものです。横軸の数字が大きいほど、靱帯がしっかりしていないということになります。左右差の平均は0.9mmでした。通常-1から2ミリの左右差であれば良好な成績であると考えられています。概ね94%の方が良好という範囲に入ります。

手術成績を考える上では、経過観察期間とフォローアップ率（手術した患者さんのなかで、術後の診察を出来た患者さんの割合）が大切な数字になります。手術成績の評価は通常2年（短期）、5年（中期）、10年（長期）で評価します。術後2年未満の段階で評価は、手術の評価としては早すぎると一般的に考えられています。またフォローアップ率が低いと、状態の良い患者さんばかりを評価している可能性もあるため、信頼性が低下します。

内側膝蓋大腿靱帯再建術

当院での2003年7月から2007年6月までの手術成績を示します。この間に21人の内側膝蓋大腿靱帯再建術を行い、2年以上経過した時点で診察可能であった患者さんが15人で、電話で状態を伺った患者さんが5人でした（フォローアップ率95%）。2年間に、再脱臼したり膝蓋骨を骨折したりした患者さんはいませんでした。また、一般的に用いられているKujalaスコアで点数をつけると、100点満点中平均で96点（最低84-最高100）ときわめて良い結果でした。Crosby - Insallのgrading systemでは、『きわめて良い』6人、『良い』14人、『あまり良くない』0人、『悪い』0人でした。この評価システムでは、痛みが少しでもあれば『良い』になりますので、この結果は大変良好なものであると考えています。



手の外科

骨折

(鎖骨～上腕骨 27、肘関節脱臼骨折 18、橈骨遠位端骨折 52)

	観血的整復固定術	143
	経皮ピンニング	70
リウマチ手関節炎など	関節形成術	23
リウマチ肘関節炎	人工肘関節置換術・再置換術	7
肘離断性骨軟骨炎	肋軟骨移植術	7
	ドリリング・病巣搔破	11
軟部腫瘍、骨腫瘍	腫瘍切除術	29
腱断裂	腱縫合・腱移行術	25
神経断裂	神経縫合術	18
肘部管症候群	神経剥離・尺骨神経前方移行術	18
手根管症候群	手根管開放術	77
	対立筋再建術	3
ばね指	腱鞘切開	61
関節拘縮	拘縮解離術	7
変形性関節症		
変形性肘関節症	関節形成術	4
	遊離体切除	2
母指CM関節症	関節固定術	3
	関節形成術	4
デュプイトレン拘縮	デュプイトレン手術	6
キーンバック病	有頭骨短縮骨切り術	3
滑膜炎	滑膜切除術	10
偽関節	偽関節手術	9
骨折後変形治癒	矯正骨切り術	5
肘靱帯損傷など	靱帯修復術	12
その他	抜釘術、病巣搔破など	145
	合計	702

形 成 外 科

1. 人材と設備

部長 1人（日本形成外科学会専門医）、医員 1人（日本形成外科学会専門医）

レジデント 2人

手術顕微鏡、内視鏡など形成外科手術ほぼ全体に対応する手術器械がある

レーザーは炭酸ガスレーザー（シルクタッチ）のみ

2. プロセス

下肢静脈瘤はクリティカルパスで対応

3. 経験値

年間の患者数および手術件数（2011年1月1日～12月31日）

新患者数 1,494人

入院患者数 257人（延べ人数ではない）

手術件数

入院手術	全身麻酔	104件（合計297件）
	腰麻・伝達麻酔	57件
	局所麻酔・その他*	136件
外来手術	全身麻酔	2件（合計376件）
	腰麻・伝達麻酔	0件
	局所麻酔・その他*	374件

*その他には無麻酔や分類不明を入れる

手術内容区分

区 分	件 数					計
	入 院 手 術			外 来 手 術		
	全身麻酔	腰麻・ 伝達麻酔	局所麻酔・ その他	全身麻酔	局所麻酔・ その他	
I. 外傷	14	3	5		28	50
熱傷・凍傷・化学損傷・電撃傷の手術例	1	2			1	4
顔面軟部組織損傷					15	15
顔面骨折	11		1		5	17
頭部・頸部・体幹の外傷					1	1
上肢の外傷	2		4		4	10
下肢の外傷					2	2
外傷後の組織欠損（2次再建）		1				1
II. 先天異常	11	1			6	18
頭蓋・顎・顔面の先天異常	5				5	10
四肢の先天異常	2					2
体幹（その他）の先天異常	4	1			1	6
III. 腫瘍	51	3	21	2	288	365
良性腫瘍（レーザー治療を除く）	30	1	14	1	272	318
悪性腫瘍	7	2	6	1	15	31
腫瘍切除後の組織欠損（一次再建）	6				1	7
腫瘍切除後の組織欠損（二次再建）	8		1			9
IV. 瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	4		1		15	20
V. 難治性潰瘍	10	15	42		3	70
褥瘡	3		1			4
その他の潰瘍	7	15	41		3	66
VI. 炎症・変性疾患	5	25	26		26	82
VII. 美容（手術）	9		1		3	13
VIII. その他		10	40		5	55
大分類計	104	57	136	2	374	673

脳 神 経 外 科

1. 人材と設備

脳神経外科専門医	5人
脳卒中専門医	2人
血管内治療指導医	1人
神経内視鏡技術認定医	1人
がん治療認定医	1人
頭痛専門医	1人

MRI 3台（内1台は3Tesla）、MD-CT 3台（内1台は320列）、SPECT 1台
ガンマナイフ 1台、リニアック 1台

DSA 2台（内1台はIVRDSA）、手術用顕微鏡（Zeiss, Leica；蛍光顕微鏡）2台
神経内視鏡 2台（硬性鏡3台、ビデオスコープ1台）、マイクロCUSA 1台
ニューロナビゲーター（メドトロニック、ブレインラボ）、INVOS 2台

2. プロセス

クリティカルパス

血管吻合術（STA-MCA）、内頸動脈血栓内膜剥離術、クリッピング術（未破裂）
動脈瘤破裂クリッピング術（II-30未満）、開頭血腫除去術
脳内血腫（軽症、中等症、重症）、心原性脳梗塞（軽症、中等症、重症）、ラクナ梗塞、
アテローム血栓性脳梗塞（軽症、中等症、重症）、
PTA（経皮的脳血管形成術）、TPA静注
内頸動脈ステント留置術（CAS）、コイル塞栓術（動脈瘤未破裂、破裂）、
開頭腫瘍摘出術、髄膜腫摘出術、下垂体腺腫（ハーディー）
悪性神経膠腫化学放射線療法
L-P シャント術、慢性硬膜下血腫、ガンマナイフ、脳血管撮影
手術適応は脳神経外科学会、脳血管内治療学会、脳ドック学会の基準に準じる。

3. 経 験 値

手術経験数；手術は全例無剃髪で施行

転移性脳腫瘍；18（2003年）、15（2004年）、16（2005年）、21（2006年）、
30（2007年）、26（2008年）、25（2009年）、28（2010年）、32（2011年）

1 生率 79%

2 生率 12%

ガンマナイフ治療例における中枢神経死 1.90%（3/158）

神経膠腫；15（2002年）、16（2003年）、7（2004年）、16（2005年）、8（2006年）、

11 (2002年)、15 (2003年)、21 (2004年)、17 (2005年)、11 (2006年)、
神経膠芽腫 (集学的治療施行例)

1 生率	92%
2 生率	62%
3 生率	46%

聴神経鞘腫；6 (2002年)、10 (2003年)、7 (2004年)、5 (2005年)、6 (2006年)、
5 (2007年)、2 (2008年)、3 (2009年)、5 (2010年)、5 (2011年)

顔面神経機能温存率	97.7%
聴覚温存率 ($\phi < 3\text{cm}$)	70%
2008年有効聴力温存	100%

髄膜腫；17 (2002年)、15 (2003年)、25 (2004年)、19 (2005年)、8 (2006年)、
11 (2007年)、11 (2008年)、12 (2009年)、18 (2010年)、11 (2011年)

頭蓋底髄膜腫を除く摘出率は 100% (Simpson grade I)
新たな神経学的後遺症の出現率は 3.6%
5年後の有症再発率 0% (ただし悪性髄膜腫は除く)

下垂体腺腫；(経鼻的顕微鏡および内視鏡下摘出術) 11 (2002年)、11 (2003年)、
10 (2004年)、12 (2005年)、14 (2006年)、7 (2007年)、7 (2008年)、
9 (2009年)、13 (2010年)、6 (2011年)

視機能改善率	100%
要術後ホルモン補充療法	1.3%
重篤な周術期合併症	0.63 (1/159)

脊髄腫瘍摘出術； 4 (2007年)、11 (2008年)、12 (2009年)、5 (2010年)、7 (2011年)

血管内治療 (動脈瘤塞栓術、頸動脈ステント留置術) 3 (2007年)、14 (2008年)、
28 (2009年)、21 (2010年)、26 (2011年)

水頭症にたいする LPshunt (累計 >700例)

41 (2005年)、43 (2006年)、24 (2007年)、21 (2008年)、26 (2009年)、19 (2010年)、
13 (2011年)

内視鏡下第3脳室底開窓術 4 (2009年)、14 (2010年)、2 (2011年)、開存率100%

脳動脈瘤；1998年～2011年

永続的神経学的後遺症 (未破裂)	0.41% (1/243)
周術期死亡率 (破裂)	0.94% (3/319)
一過性顔面神経麻痺	0.71% (3/562)
慢性硬膜下出血	1.60% (9/562)

心臓血管外科・呼吸器外科

1. 人材と設備

スタッフ5人 管理部長、第二部長、副部長1人、医員2人（2011）
施設認定： 心臓血管外科専門医認定修練施設（基幹施設）
呼吸器外科専門医合同委員会認定修練施設（関連施設）
日本呼吸器内視鏡学会関連認定施設

資格所有者

評議員：近畿外科学会評議員2人 関西胸部外科学会評議員1人、
日本呼吸器外科学会評議員1人
専門医：外科専門医5人 心臓血管外科専門医2人
呼吸器外科専門医2人 気管支鏡専門医1人
がん治療専門医1人 肺癌CT検診認定医1人
循環器専門医1人
指導医：日本外科学会指導医2人 日本胸部外科学会指導医2人
日本呼吸器内視鏡学会指導医1人

医療機器整備 人工心肺による開心術設備
オフポンプバイパス設備
呼吸器外科標準術式設備
胸腔鏡下手術設備
気管支鏡検査・インターベンション設備
術後抗癌化学療法設備

2. プロセス

クリティカルパス（肺癌標準術式パス、腹部大動脈瘤手術パス、肺癌術後補助化学療法パス）
治療方針は下記学会指針および院内検討会に基づく
胸部外科学会、呼吸器外科学会、肺癌診療ガイドライン
循環器症例検討会（週1回開催、心臓血管外科・循環器科合同）
呼吸器がんボード（隔週開催）
心臓血管外科・呼吸器外科症例検討会（週1回開催）

3. 経験値

2011年手術症例数 総数 251例
開心術（心臓手術）および胸部大血管症例数 72例
虚血性 28、弁膜症 28（複合手術を含む）、
胸部大動脈瘤 13、その他 3

血管外科手術	71例
腹部大動脈瘤（手術+SG） 57、末梢血管 14	
その他心臓外科手術	8例
呼吸器外科手術	100例
肺癌 45、良性・感染性肺腫瘍 7、縦隔腫瘍 10、	
嚢胞性肺疾患 14、胸膜・胸壁疾患 4、開胸生検等 17、	
局所麻酔手術 3	
 （呼吸器外科非手術症例数（気道ステント）	4例）

4. アウトカム

2011年手術死亡率（緊急手術を含む）

開心術・胸部大血管手術死亡率 1.4% (1/72)

（心肺停止後の冠動脈バイパス手術1例のみ）

呼吸器外科手術死亡率 0%

皮膚科

1. 人材と設備

スタッフ：3人（副部長1人、常勤医2人）

資格保有者：日本皮膚科学会専門医：2人、同指導医：1人

設備：紫外線照射装置、スーパーライザー、イオン導入器、ダーモスコープ、皮膚超音波診断装置

2. プロセス

クリティカルパス：帯状疱疹

その他の疾患の治療指針は下記の各診療ガイドラインに則って実施

皮膚悪性腫瘍：日本皮膚悪性腫瘍学会・皮膚悪性腫瘍診療ガイドライン

アトピー性皮膚炎：厚生労働研究班診療ガイドライン、日本アレルギー学会診療ガイドライン、日本皮膚科学会診療ガイドラインを統合して使用。

その他の疾患についても主に日本皮膚科学会診療ガイドラインに則り実施。

3. 経験値

2011年度皮膚科年間総外来患者数：13,672人

入院患者数（延べ）：581人

総外来手術数：224件

総生検数：144件

4. アウトカム

2011年の入院患者での死亡は0

泌 尿 器 科

1. 人材と設備

スタッフ：本年4月より4人の日本泌尿器科学会の専門医・指導医および後期臨床研修医2人の計6人体制となり、非常に充実した布陣となりました。当科の特徴は、ほぼ全ての治療法に内視鏡下手術を中心とした低侵襲療法を採用していることです。泌尿器腹腔鏡技術認定医が2人在籍していることから、特に上部尿路手術の大部分（腎細胞癌、腎盂尿管癌、水腎症など）は体腔鏡下手術（腹腔鏡および後腹膜鏡下手術）で行っております。先進的な医療として、前立腺癌に対する腹腔鏡下前立腺全摘除術を2006年10月より、また2009年3月より腹腔鏡下小切開腎摘除術、腎（尿管）悪性腫瘍手術、腎部分切除術、副腎摘除術、前立腺悪性腫瘍手術の施設認定を取得しております。また、スタッフ4人全員が日本泌尿器科学会の専門医および指導医であるためあらゆる疾患に高レベルな対応が可能となっております。

部 長：川端 岳	昭和55年卒
	神戸大学医学部臨床教授
	日本泌尿器科学会指導医、専門医
	日本内視鏡外科学会評議員
	日本Endourology・ESWL学会評議員
	日本性感染症学会評議員
	泌尿器腹腔鏡技術認定医
第2部長：田口 功	平成3年卒
	日本泌尿器科学会指導医、専門医
	日本臨床腫瘍学会暫定指導医
副部長：松原 重治	平成5年卒
	神戸大学臨床講師
	日本泌尿器科学会指導医、専門医
	泌尿器腹腔鏡技術認定医
副部長：山尾 裕	平成8年卒
	日本泌尿器科学会指導医、専門医
後期臨床研修医：福原 恒	平成17年卒
奥野 優人	平成18年卒
	産業医選任資格

設備：平成17年に導入した膀胱電子スコープにより今まで非常に苦痛であった男性の膀胱鏡検査が比較的楽に行えるようになっております。また、検査中に患者さん自身や家族に画像を見ていただけるため、疾患を理解していただきやすくなりました。体腔鏡下手術の件数は平成16年には29件であったものが平成17年には56件とほぼ倍増し、平成18年は68件、平成19年は76件で、本年は64件と安定した件数を行っています。特に本年は腹腔鏡下小切開前立腺全摘除術が13件あり前立腺癌に対する腹腔鏡下前立腺全摘除術と合わせ前立腺癌の根治術

は36件行いました。また、先天性水腎症に対する腎盂形成術が他施設より多く見られ、それは近隣医療機関のみならず県内外からのご紹介が増えたためであり、今後ご期待に沿えるべく研鑽を積んでまいります。

平成6年に導入した体外衝撃波結石破碎装置（ESWL）は平成17年12月にドルニエ社製リソトリプターバージョンDに更新いたしました。硬膜外麻酔が不要、超音波およびX線による照準が可能、すべて仰臥位での治療が可能、すべての位置の尿路結石を破碎可能など従来機種にはない特徴があり、低侵襲で効率的な結石治療が可能となっています。また、泌尿器用レントゲン装置も東芝製フラットパネル形式の最新機種に更新され、非常に精密な画像が得られるようになっており、患者さんの昇降も非常に楽に出来るようになっております。さらに本年は、尿流量測定検査が通常のトイレで行える画期的なシステムを導入し、非常に快適に検査を受けていただくことが可能となりました。

2. プロセス

現在使用しているクリティカルパスは、ESWL、TUL、TUR-Bt、TUR-P、前立腺針生検術、前立腺全摘除術、体腔鏡下副腎摘除術、体腔鏡下腎（尿管）摘除術、陰嚢水腫根治術、精巣摘除術などですが、今後さらに適応を拡大する予定であります。

治療方針に関しては、国内外の学会による治療ガイドラインを基軸とし、当院および周辺地域で行いうる治療のみならず、遠方（関東など）での治療選択肢も提示した上で決定していただくようにしております。

3. 症例数など（平成23年1月～12月）

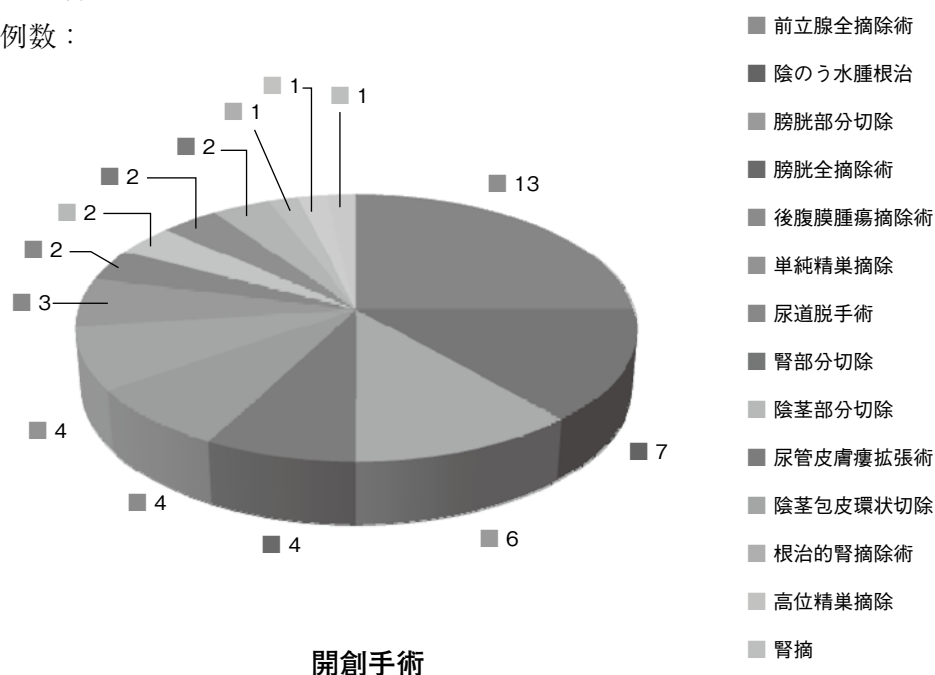
外来新患：1,506人（男性1,037人、女性469人）

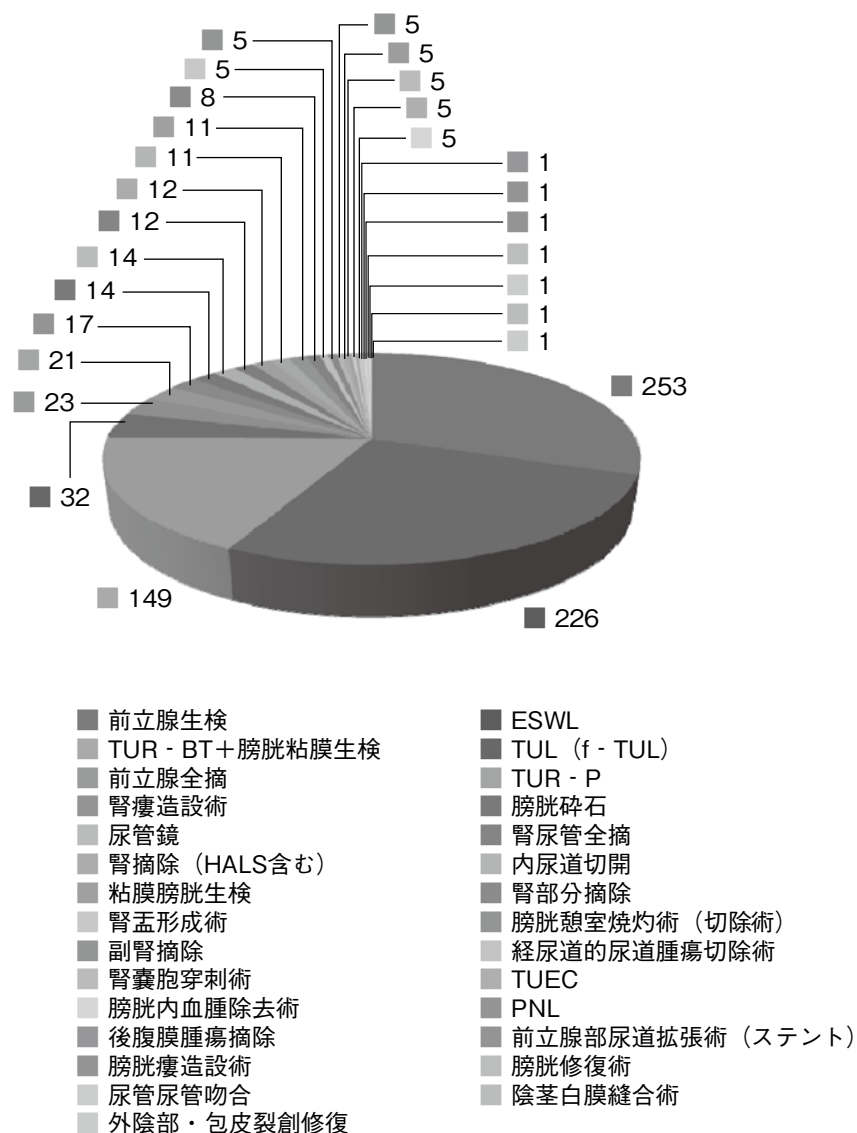
新入院：1,067人（男性880人、女性187人）

平均在院患者数：28.4人

平均在院日数：9.4日

主な手術の症例数：





内視鏡手術・その他

腹腔鏡下手術の成績（平成16年4月～平成23年12月。全508例）

副腎摘除術；51例， 平均手術時間188分， 平均出血量56ml

根治的腎摘除術；105例， 平均手術時間287分， 平均出血量86ml

腎尿管全摘除術；74例， 平均手術時間373分， 平均出血量237ml

腎盂形成術；33例， 平均手術時間272分， 平均出血量30ml

単純腎摘除術；16例， 平均手術時間282分， 平均出血量29ml

腎部分切除術；27例， 平均手術時間275分， 平均出血量108ml

前立腺全摘除術；177例， 平均手術時間292分， 平均出血量667ml（尿を含む）

その他；25例

合併症：輸血例なし。根治的腎摘除術で開腹術へ移行、前立腺全摘除術で尿道直腸瘻の各1例

4. アウトカム指標

疾患別5年生存率

泌尿器悪性腫瘍術後生存率（1998-2011.12）

膀胱悪性腫瘍症例における膀胱全摘除術後の生存率

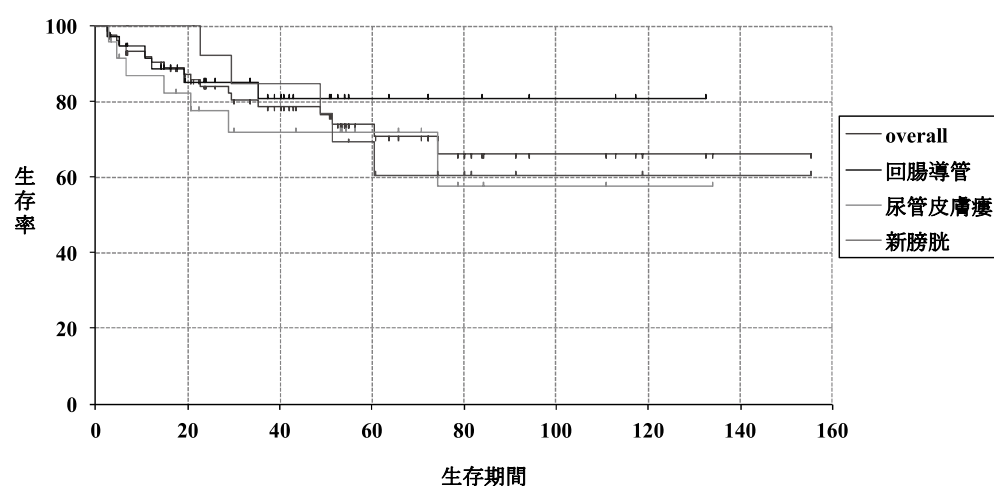
膀胱全摘除術+尿路変更術（76例）：5年生存率 77%

回腸導管造設術（37例）：5年生存率 83%

尿管皮膚瘻造設術（24例）：5年生存率 73%

新膀胱形成術（15例）：5年生存率 69%

膀胱全摘除術後の生存率でのKaplan-Meier生存曲線



腎盂尿管悪性腫瘍症例における腎尿管全摘除術後の生存率

症例数：110 例 5年生存率：77 %

T 分類による生存率

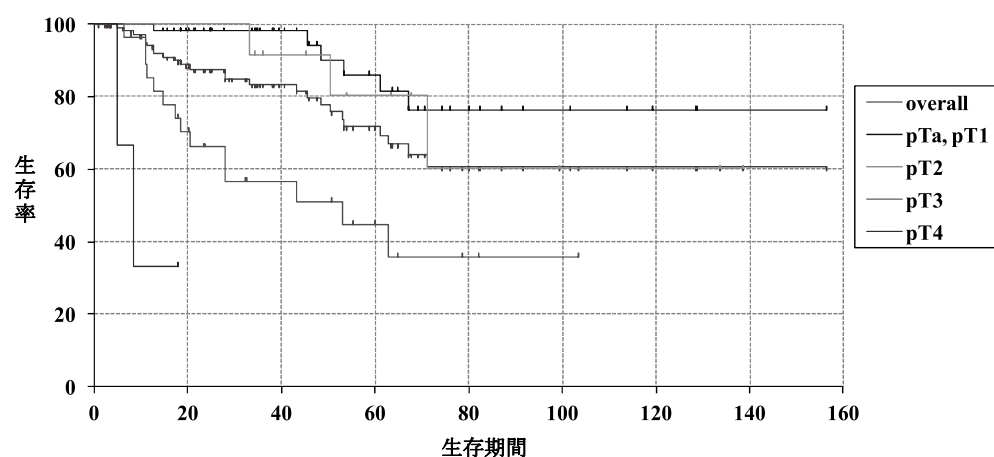
pTa, pT1：症例数 54例 5年生存率：91%

pT2：症例数 20例 5年生存率：87%

pT3：症例数 32例 5年生存率：50%

pT4：症例数 4例 5年生存率：43%

腎尿管全摘除術後の生存率でのKaplan-Meier生存曲線



腎悪性腫瘍症例での根治的腎摘除術後の生存率

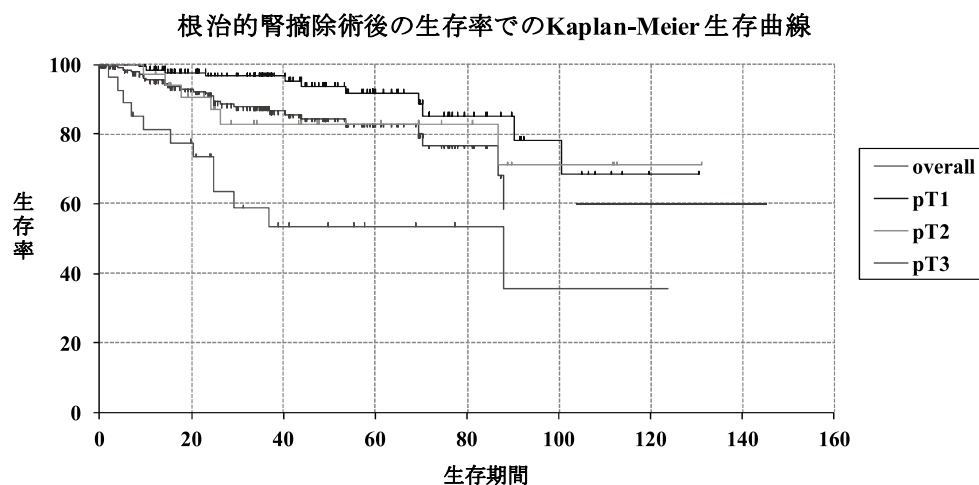
症例数：215 例 5年生存率：88 %

T 分類による生存率

pT1： 症例数 153例 5年生存率：95%

pT2： 症例数 35例 5年生存率：83%

pT3： 症例数 27例 5年生存率：57%



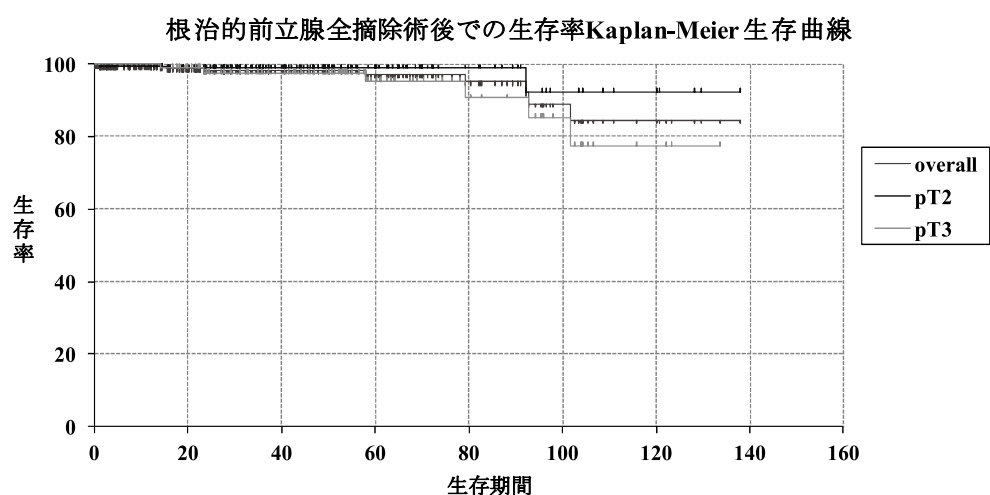
前立腺癌症例での根治的前立腺全摘除術後の生存率

症例数：339 例 5年生存率：98%

T 分類による生存率

pT2： 症例数 226例 5年生存率：99%

pT3： 症例数 106例 5年生存率：97%



産 婦 人 科

1. 人材と設備

人 材

伊藤 公彦 (S58.奈良医大卒)：日本産科婦人科学会専門医、日本癌治療学会代議員、同がん診療連携委員、同プログラム委員、日本婦人科腫瘍学会理事、同専門医、近畿産科婦人科学会学術委員会腫瘍研究部会委員、日本職業・災害医学会評議員、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、同暫定指導医、日本医師会認定産業医、日本婦人科悪性腫瘍研究機構(JGOG)理事、同子宮体がん委員、関西臨床腫瘍研究会(KCOG)会長、同婦人科代表、大阪大学医学部臨床教授、三重大学医学部非常勤講師

堀 謙輔 (H6.奈良医大卒)：日本産科婦人科学会専門医、日本婦人科腫瘍学会専門医、日本周産期・新生児医学会新生児蘇生法専門コースインストラクター、日本婦人科悪性腫瘍研究機構(JGOG)臨床試験監査委員、同AGOG委員

尾崎 公章 (H13.愛媛大卒)：日本産科婦人科学会専門医

吉岡 恵美 (H17.兵庫医大卒)：日本産科婦人科学会専門医

山本志津香 (H18.産業医大卒)：日本産科婦人科学会専門医、産業医大認定産業医

栗谷 圭子 (H19.奈良医大卒)

武居和佳子 (H19.埼玉医大卒)

安藤 亮介 (H20.大阪市大卒)

浦上 希吏 (H21.旭川医大卒)

桑鶴知一郎 (H22.旭川医大卒)

施 設

日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設
 日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設
 日本産科婦人科学会腫瘍委員会登録施設

設 備

超音波診断装置	7台
胎児集中管理システム	1式
胎児監視装置	3台
コルポスコープ	2台
ヒステロファイバースコープ	1台
腹腔鏡下手術機器	1式
子宮鏡下手術機器	1式
新生児人工呼吸器	1台
新生児光線治療ユニット	3台

2. プロセス

クリティカルパスと対象

正常分娩産褥クリティカルパス：正常分娩産褥婦

選択的帝王切開クリティカルパス：前回帝王切開、骨盤位、前置胎盤等による選択的帝王切開予定妊婦

婦人科開腹手術クリティカルパス：子宮筋腫、卵巣嚢腫等による開腹手術予定患者

婦人科重症開腹手術クリティカルパス：子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌等による開腹手術予定患者

子宮頸部円錐切除術クリティカルパス：子宮頸部上皮内癌、高度異形成等による円錐切除術予定患者

子宮内膜全面搔爬術クリティカルパス：子宮体癌、異型子宮内膜増殖症等による子宮内膜全面搔爬術予定患者

子宮内容除去術クリティカルパス：稽留流産、不全流産、人工妊娠中絶術等による子宮内容除去術予定患者

TC化学療法クリティカルパス：Paclitaxel+Carboplatin（TC）併用化学療法を施行する患者

治療方針

日本産科婦人科学会の指針、および日本婦人科腫瘍学会のガイドラインに基づく

3. 経 験 値

症例数

2011年 1日平均外来患者数59.5人（前年比+3.9人）、1日平均入院患者数34.8人（前年比+2.1人）

2011年 初回治療新規浸潤がん症例数125例（前年比+32例）

子宮頸がん30例（Ia期5例含む）、子宮体がん37例、卵巣がん56例（境界悪性群14例含む）、外陰がん1例、原発不明がん1例

2011年 手術件数463件（前年比+76件）

＜悪性腫瘍に対する婦人科開腹手術99件＞（前年比-6件）

広汎（準広汎）子宮全摘術23件、リンパ節郭清を含む悪性腫瘍手術17件、その他59件

＜悪性腫瘍に対する婦人科腔式手術71件＞（前年比+21件）

円錐切除術65件、レーザー蒸散術2件、腔式子宮全摘術3件、その他1件

＜良性疾患に対する婦人科開腹手術119件＞（前年比+22件）

単純子宮全摘術47件、付属器摘出術33件、卵巣嚢腫摘出術18件、子宮筋腫核出術12件、子宮外妊娠手術2件、その他7件

＜良性疾患に対する婦人科腔式手術30件＞（前年比+5件）

単純子宮全摘術12件、メッシュ整復術2件、腔壁閉鎖術1件、子宮筋腫摘出術1件、そ

その他14件

<腹腔鏡下手術40件> (前年比+31件)

付属器摘出術8件、卵巣嚢腫摘出術22件、子宮外妊娠手術6件、その他4件

<子宮鏡下手術8件> (前年比+3件)

<産科手術96件> (前年比±0件)

選択的帝王切開術46件、緊急帝王切開術49件 (内、双胎妊娠3件)、子宮頸管縫縮術1件

2011年 分娩数512件 (内、双胎分娩3組) (前年比+26件)

4. アウトカム

5年生存率 (2002年1月から2010年12月までに初回治療を開始した症例の、2012年4月25日調査時点)

- ・ 子宮頸がん : Ia期 (n=41) 100%、Ib期 (n=50) 90.9%、II期 (n=65) 81.6%、III期 (n=33) 54.2%、IV期 (n=22) 51.8%
- ・ 子宮体がん : I期 (n=129) 93.3%、II期 (n=23) 92.3%、III期 (n=43) 67.3%、IV期 (n=14) 27.7%
- ・ 卵 巣 が ん : I期 (n=82) 93.6%、II期 (n=19) 66.7%、III期 (n=48) 49.2%、IV期 (n=15) 35.7%

帝王切開率 18.7% (95/509) (前年比-1.1ポイント)

再開腹率 0% (0/387) (前年比-0.5ポイント)

アクシデント 7件 (全例、機能障害等を残さずに軽快) (前年比+4件)

眼 科

1. 人材と設備

スタッフ 4人

日本眼科学会認定 専門医 2人

2. プロセス

クリニカルパスについては白内障、網膜剥離、硝子体手術、角膜移植で施行

3. 経 験 値

1) 白内障

(1)対象期間：2009年4月～2012年3月（3年間）

超音波水晶体乳化吸引+眼内レンズ挿入術 2,111眼

計画的嚢外水晶体摘出+眼内レンズ挿入術 9眼

(2)入院に関して

[平均入院期間]

2009年度 片眼手術3.0日±0.72、両眼手術6.0日±0.85

2010年度 片眼手術3.0日±0.66、両眼手術6.1日±0.75

2011年度 片眼手術3.0日±0.56、両眼手術6.1日±0.72

(3)手術合併症

1. チン小帯断裂による眼内レンズ縫着率 5/2,111眼 (0.23%)

2. 術後遅発性眼内炎 0/2,111眼 (0%)

2) 角膜移植

(1)対 象 期 間：2009年4月～2012年3月（3年間）

角膜移植術 94眼

(2)性 別：男性18例23眼、女性64例71眼

(3)透明治癒率：角膜移植 93/94 (98.9%)

3) 網膜剥離

(1)治療法

硝子体手術

(2)疾患の背景

対象期間：2009年4月～2012年3月（3年間）

硝子体手術

[性 別] 男性34例44眼、女性47例70眼（計114眼）

[年齢分布] 29～81歳（平均53.6±11.6）

[分 類] 裂孔原性網膜剥離 47眼
増殖性硝子体網膜症67眼
[初回網膜復位率] 109眼/114眼 (95.6%)
[最終網膜復位率] 112眼/114眼 (98.2%)

4) 糖尿病網膜症

(1)治療法

硝子体手術

(2)疾患の背景

対象期間：2009年4月～2011年3月

[性 別] 男性38例41眼、女性53例69眼 (計110眼)

[年齢分布] 28～80歳 (平均 61.4 ± 16.6 歳)

[分 類]	1. 硝子体出血	36眼
	2. 牽引性黄斑網膜剥離	36眼
	3. 黄斑外網膜剥離	18眼
	4. 線維血管性増殖	6眼
	5. 黄斑浮腫	14眼

(3)手術成績

[再手術率] 8眼/110眼 (7.3%)

耳 鼻 咽 喉 科

1. 人材と設備

伊東 真人 部長：日本耳鼻咽喉科学会専門医、頭頸部外科学会評議員、日本耳科学会
員、日本頭頸部癌学会会員、日本口腔咽頭科学会員、騒音性難聴診断
医、補聴器適合医師

笹井 久徳 医師：日本耳鼻咽喉科学会専門医、日本喉頭科学会会員、日本頭頸部癌学会
会員、日本頭頸部外科学会員

古川 雅史 医師：日本耳鼻咽喉科学会員、日本頭頸部外科学会員、日本臨床耳鼻咽喉科
学会員

丹下佐和子 医師：日本耳鼻咽喉科学会員

岸川 敏博 医師：日本耳鼻咽喉科学会員

2. プロセス

クリティカルパスについて

作成済みパス 13件、クリティカルパス使用率：64%

対象疾病名の一覧：声帯ポリープ、声帯腫瘍

慢性中耳炎

習慣性扁桃炎

喉頭癌

舌癌

甲状腺腫瘍

耳下腺腫瘍

副鼻腔炎

アレルギー性副鼻腔炎

急性扁桃炎

突発性難聴

顔面神経麻痺

治療方針について

慢性中耳炎や伝音性難聴には、鼓膜・鼓室形成術や、伝音連鎖再建術を行っています。
慢性中耳炎にたいする鼓膜・鼓室形成術が330耳。真珠腫性中耳炎にたいする鼓室形成術が
286耳になりました。先天性耳小骨奇形や耳硬化症に対する伝音連鎖再建術も45例行い、
全症例に聴力改善を得て、成功しています。

慢性副鼻腔炎にたいしては、鼻内内視鏡手術を平成5年から導入し、以来844例の症例を
重ね、鼻閉・嗅覚障害の改善において良好な治療成績と、副損傷なしの実績を得ています。
さらに、本年度からは手術支援ナビシステムも入り、更なる安全な手術が行えるようにな
りました。

嚥声、呼吸困難にたいしては、発声訓練などの保存的治療と音声外科手術を病状毎に選

扱っています。耳下腺腫瘍、頸部嚢胞などの良性腫瘍も患者さんの希望があれば、積極的に手術しています。

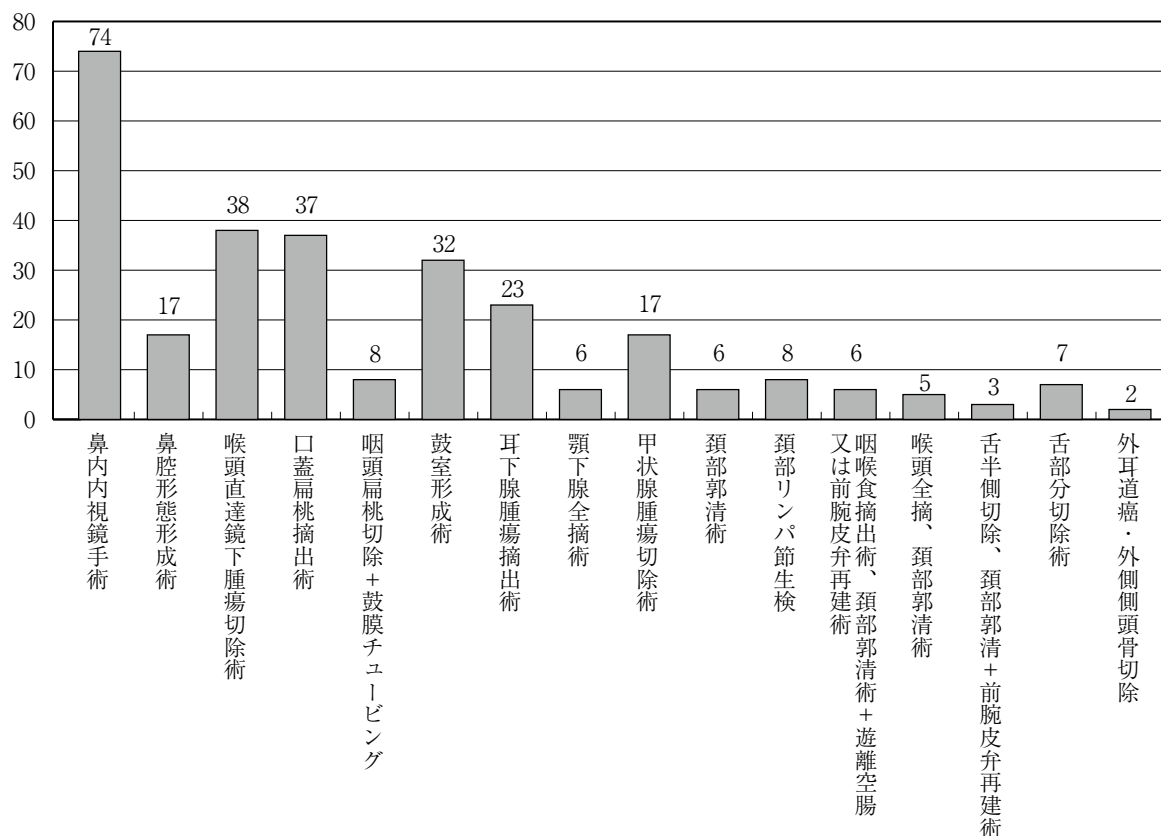
突発性難聴などの感音性難聴、めまいなどの平衡機能障害、さらに味覚・嗅覚障害などの感覚器の機能障害にたいする検査および治療体制も万全です。突発性難聴や末梢性顔面神経麻痺に対しては、重症例をのぞき、外来での点滴治療を行なっています。

口腔、咽喉頭癌さらに鼻副鼻腔癌などの頭頸部癌には集学治療を行っています。進行癌に対しては再建外科を含めた拡大手術をおこなう一方、早期癌に対しては機能温存をめざした化学放射線を行っております。現在までに1,215名の頭頸部がん患者さんの治療を行わせていただいております。当院は耳鼻咽喉科研修指定病院ですが、昨年さらに頭頸部外科学会の頭頸部癌治療研修指定病院にも認定されました。

3. 経験値

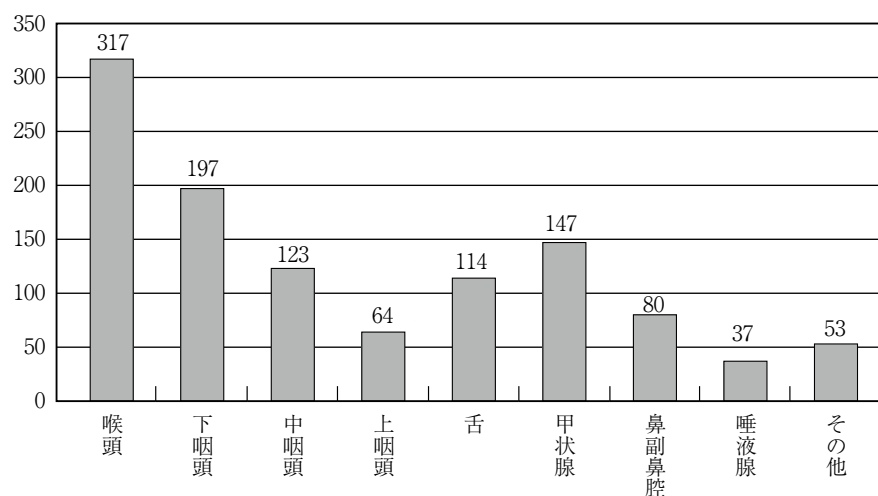
平成23年度の年間の新入院患者数は約458名、紹介率は61.5%でした。手術件数は341件でした。このうち、主な手術は、鼻茸、鼻ポリープを含む慢性副鼻腔炎や鼻腔乳頭腫などの鼻腔良性腫瘍にたいする鼻内内視鏡手術74例、習慣性扁桃炎や睡眠時無呼吸に対する扁桃摘出術37例、慢性中耳炎、真珠腫性中耳炎にたいする鼓膜・鼓室形成術32例、声帯ポリープや早期声帯がんなどに対する顕微鏡下喉頭微細手術38例、耳下腺腫瘍などの唾液腺腫瘍摘出術が29例などでした。頭頸部癌に対する根治を目的とした全摘術が43例。内訳は、喉頭癌5例、下咽頭癌6例、舌癌10例、甲状腺乳頭癌12例、外耳道癌2例、頸部リンパ郭清術8例などでありました。

2011年度の主な手術件数



治療した頭頸部癌の原発部位別症例

頭頸部観察期間 1991年3月～2011年12月



4. アウトカム

頭頸部癌の治療成績 観察期間 1991年3月～2011年12月

原発部位	病期	5年生存率	症例数
喉頭癌			
声帯癌			223
	ステージⅠ	94%	119
	ステージⅡ	92%	67
	ステージⅢ	74%	23
	ステージⅣ	100%	14
声門上癌			82
	ステージⅠ	80%	5
	ステージⅡ	70%	25
	ステージⅢ	71%	25
	ステージⅣ	61%	27
その他			12
	ステージⅡ	100%	5
	ステージⅢ	75%	7
下咽頭癌			
			197
	ステージⅠ	48%	13
	ステージⅡ	46%	26
	ステージⅢ	55%	45
	ステージⅣ	31%	113

中咽頭癌			123
	ステージⅠ	100%	9
	ステージⅡ	87%	20
	ステージⅢ	79%	23
	ステージⅣ	54%	71
上咽頭癌			64
	ステージⅠ	100%	1
	ステージⅡ	88%	8
	ステージⅢ	88%	21
	ステージⅣ	65%	34
甲状腺癌			147
	ステージⅠ	100%	15
	ステージⅡ	100%	38
	ステージⅢ	97%	31
	ステージⅣ	74%	63
舌癌			114
	ステージⅠ	86%	27
	ステージⅡ	66%	36
	ステージⅢ	40%	23
	ステージⅣ	56%	28
鼻副鼻腔癌			80
	ステージⅠ	100%	7
	ステージⅡ	57%	13
	ステージⅢ	69%	21
	ステージⅣ	43%	39

中耳炎の聴力改善率 観察期間 1992年～2011年12月			
中耳炎	伝音連鎖再建法・鼓膜形成法	症例数	聴力改善率
真珠腫性中耳炎		266	
	Ⅰ型	26	58%
	Ⅲ型	147	65%
	Ⅳ型	22	32%
	0型	71	40%

慢性中耳炎

	288	
I 型・アンダーレイ法	149	74%
I 型・サンドイッチ法	84	88%
簡易接着法	20	70%
Ⅲ型	35	60%

リハビリテーション科

1. 人材と設備（2012年3月末現在）

医師部門：専従医師 1人

日本リハビリテーション医学会専門医 1人

日本リハビリテーション医学会指導責任者 1人

専任医師 1人

嘱託医師 1人

兼任医師 3人

脳神経外科医 1人

スポーツ整形外科医 1人

循環器内科医 1人

セラピスト部門：理学療法士 18人

三学会合同呼吸療法認定士 6人

心臓リハビリテーション指導士 4人

作業療法士 7人

言語聴覚士 3人

リハ科外来看護師 1人

理学療法助手 3人

医療機器などの設備について

運動療法室・水治療室及び心疾患リハビリテーション室、スポーツリハビリテーション室の各専用訓練室、屋外訓練場に、心臓リハビリテーション用エルゴメーター・トレッドミルと呼気ガス分析装置、バイオデックスによる筋力測定、筋電計などを設置しています。また、作業療法室・日常動作訓練室、各種スイッチを利用した重度障害者用のパソコンや環境制御装置、浴室・トイレの動作訓練を行うシミュレーション装置「ADLユニット」、個室形式の言語療法室などと嚥下障害の評価法としてVE（内視鏡）が整備されています。

2. プロセス

クリティカルパスについて

・整形外科・スポーツ整形外科疾患術後療法について：

整形外科の各分野別パスに準ずる

・急性心筋梗塞後、開心術後、心不全後、PADの心臓大血管等リハビリテーションについて：

循環器内科のパスに準ずる

・腹部手術周術期呼吸リハ、食道がんの術前・術後、頭頸部腫瘍術前・術後、その他、治療方針は学会の指針に基づく

カンファレンスについて

各診療科と定例カンファレンスを行い、治療方針、ゴール、入院期間等を協議しています。
定例のカンファレンスは以下の3科にて行っております。

脳神経外科：毎週水曜日

整形外科：関節・スポーツ・脊椎・手の外科・肩の各医師と月1回

循環器内科：毎週月曜日

CCU合同カンファ 毎週木曜日

3. 経 験 値

患者実施件数（平成23年4月～平成24年3月末）

【理学療法部門】（件数）

理学療法（件数）	一般	老人	労災	合計
CVA 等	4,069	1,605	28	5,702
脊髄損傷	7	107	28	142
頸髄症	652	296	0	948
廃用症候群	3,748	3,498	0	7,246
顔面神経麻痺	1	0	0	1
心リハ	1,674	2,269	0	3,943
THA	5,224	1,426	0	6,650
TKA	1,488	2,119	0	3,607
脊椎	2,278	1,914	50	4,242
腱・靱帯・半月・軟骨損傷	4,051	346	585	4,982
骨盤下肢骨折	738	527	319	1,584
上肢外傷	27	50	155	232
切断	95	24	0	119
その他	951	219	0	1,170
合 計	25,003	14,400	1,165	40,568

整形外科(スポーツ整形外科を含む)、脳外科が中心ですが、循環器領域での急性心筋梗塞、心不全、PAD（末梢動脈疾患）等に対する心大血管リハビリの件数が増加しています。

【作業療法部門】（件数）

作業療法（件数）	一般	老人	労災	合計
CVA 等	3,688	1,251	0	4,939
脊髄損傷	29	4	7	40
頸髄症	610	280	0	890
廃用症候群	265	357	0	622
THA	311	113	0	424
TKA	0	1	0	1
脊椎	5	0	0	5
上肢外傷	4,407	1,996	1,043	7,446
その他	44	1	116	161
合 計	9,359	4,003	1,166	14,528

整形外科、脳外科が中心ですが、手の外科領域の外来件数も増加しています。

【言語療法部門】（件数）

言語聴覚療法（件数）	一般	老人	労災	合計
CVA 等	3,530	1,260	11	4,801
喉頭癌	4	10	0	14
咽頭癌	35	15	0	50
口腔癌・舌癌	86	0	0	86
食道癌・胃癌	90	4	0	94
声帯病変・発声障害	76	18	0	94
廃用症候群・肺炎など	1,024	792	0	1,816
脊髄損傷	0	12	0	12
その他	0	38	11	49
合 計	4,845	2,149	22	7,016

脳外科の高次脳機能が中心ですが、早期のコミュニケーション確立のためベットサイド件数が増加し、摂食嚥下関係も看護師と共同で実施しています。

放 射 線 科

〔放射線診断部〕

1. 人材と設備

スタッフ	5人（部長 3人、医員 2人）		
有資格者	日本医学放射線学会	専門医	4人
	日本核医学会	専門医	1人
		PET認定医	2人
	日本インターベンショナル ラジオロジー学会	指導医	1人

2. 経 験 値

2011年 IVR（血管造影ほか）内訳

肝腫瘍塞栓術（動注化学療法を含む）	173例
その他の血管塞栓術	9例
血管造影のみ（静脈サンプリングを含む）	16例
消化管出血の緊急止血	17例
動注リザーバ留置術	2例
逆行性静脈瘤塞栓術	12例
膿瘍ドレナージ	15例
胆道系IVR	20例
CV挿入	6例
計	270例

〔放射線治療部〕

1. 人材と設備

スタッフ

部 長 香川 一史 (H5 大阪大卒)：日本医学放射線学会専門医、日本放射線腫瘍学会認定医、日本がん治療認定医機構認定医、第1種放射線取扱主任者

看護師 2人

診療放射線技師 4人 (うち1人は認定放射線治療専門技師)

医学物理士 1人 (認定医学物理士 兼 認定放射線治療品質管理士)

施 設

日本医学放射線学会 放射線科専門医修練機関 (修-232)

日本放射線腫瘍学会 準認定施設 (A35号)

設 備

リニアック (三菱電機 EXL-15DP, 2000年3月1日設置)

放射線治療計画装置 (日立メディコ Pinnacle3, 2007年12月1日設置)

2. プロセス

対象疾患

(1) 根治照射

前立腺がん、肺がん、肝がん、頭頸部がん、食道がん、子宮頸がん など
(進行がんでは化学療法を併用)

(2) 術前照射

頭頸部がん、食道がん、直腸がん など (進行がんでは化学療法を併用)

(3) 術後照射

乳がん、子宮体がん、脳腫瘍、頭頸部がん、軟部組織肉腫 など

(4) 化学療法後の補助療法

悪性リンパ腫、小細胞肺がん など

(5) 腫瘍性病変による痛みや圧迫の緩和目的

悪性腫瘍の骨転移、脳転移、肺転移、肝転移、リンパ節転移、皮膚転移 など

治療方針

日本放射線腫瘍学会のガイドライン (放射線治療計画ガイドライン・2008)

National Comprehensive Cancer Networkのガイドライン (NCCN Clinical Guidelines in Oncology) など各学会の最新ガイドラインに基づく標準治療を行う

3. 経験値

年間治療件数

脳腫瘍	5
頭頸部がん	47
乳がん	129
肺がん	8
縦隔腫瘍	3
食道がん	27
悪性リンパ腫	5
前立腺がん	54
膀胱尿管がん	6
子宮卵巣がん	16

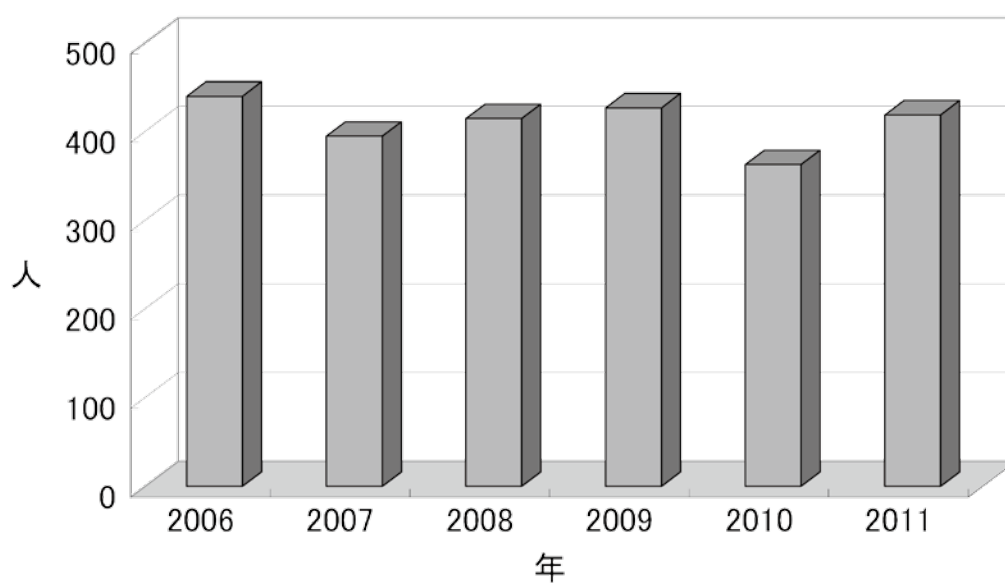
2011年1月～12月

直腸肛門がん	3
肝胆膵がん	6
骨軟部腫瘍	2
骨転移	72
脳転移	6
リンパ節転移	23
軟部転移	1
肺転移	0
肝転移	0
その他	2

※ 1年間で415件（396人）、うち定位照射（SRT）4件、他院からの紹介55件（13%）

年間治療件数

リニアク新患者数の推移（2006年～2011年）



4. アウトカム

放射線治療の対象となる疾患の部位、病期、治療目的は多岐にわたるため、治療成績は臓器別の各診療科の項を参照

〔核医学診断部〕

1. 人材と設備に関する指標

スタッフ 2人

氏 名：石田良雄（資格：(1), (2), (4), (5), (6)）、中城和也（資格：(1), (2), (3)）

資 格：(1) 日本核医学会専門医

(2) PET核医学認定医

(3) 日本医学放射線学会認定医

(4) 日本循環器学会認定循環器専門医

(5) 日本内科学会認定医・研修指導医

(6) 日本高血圧学会 指導医

医療機器：(1) 回転型2検出器SPECT装置2台、(2) PET/CT装置1台

2. プロセスに関する指標

核医学検査部門独自のパスはない。診療科のパスに組み込まれている。

核医学検査（SPECT、F-18 FDG PET）は、日本核医学会・日本アイソトープ協会のガイドラインに準じて実施されている。

3. 経験値に関する指標

2011年PET-CT検査数	①F-18 FDGによる癌診断	1,137症例
2011年SPECT検査数	①心筋血流シンチグラフィ	1,174症例
	②骨シンチグラフィ	449症例
	③脳血流シンチグラフィ	299症例
	④センチネルリンパ節シンチグラフィ	136症例
	⑤ガリウムシンチグラフィ	32症例
	⑥その他	87症例

麻酔科・中央手術部

1. 人材と設備

ス タ ッ フ	12人	上山 博史	指導医
		林 英明	指導医
		宮尾 章士	指導医
		興津 賢太	指導医
		馬渡 圭子	指導医
		山中 寛男	指導医
		平田 絵美	指導医
		小山由紀子	標榜医
		甲 俊迪	標榜医
		清中さわみ	レジデント
		岡田 夏枝	レジデント
		河合 茂明	レジデント

設 備

全身麻酔装置	13 台
全身監視装置	13 台
自動麻酔記録装置	13 台

2. プロセス

麻酔科外来での術前診察

麻酔担当医の術前訪問

症例検討会

抄読会

3. 経 験 値

	外 科	整 形 外 科	形 成 外 科	脳 神 経 外 科	心 臓 血 管	皮 膚 科	泌 尿 器 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	口 腔 外 科	合 計
予定手術	813	1,538	568	146	168	42	404	339	725	336	157	5,236
緊急手術	165	178	68	125	34	0	21	89	19	11	1	711
合 計	978	1,716	636	271	202	42	425	428	744	347	158	5,947

救急部・重症治療部

1. 人材と設備

スタッフ 2人（兼務）

2. プロセス

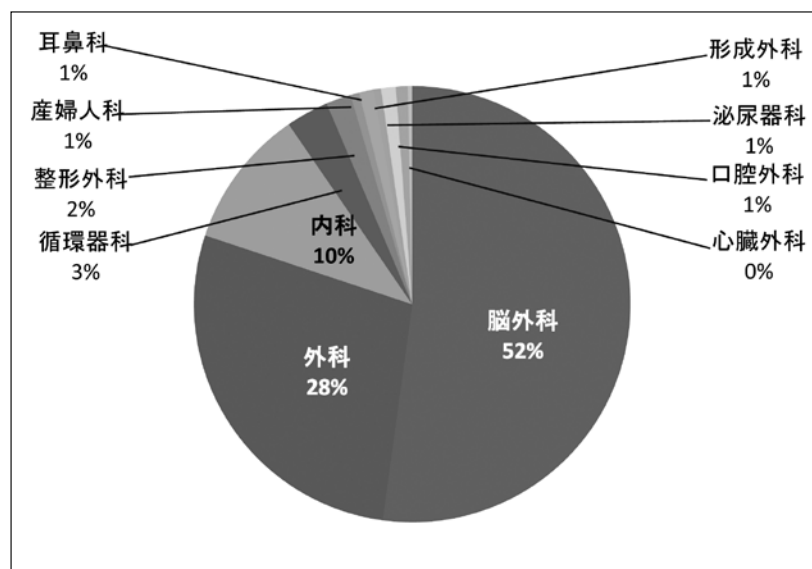
治療方針：エビデンス、ガイドラインが得られる病態（蘇生、外傷初期診療、その他）についてはそれらに基づいた救急医療・集中治療。さらに集学的治療により新たなエビデンスの発信。

3. 経験値

平成23年度 ICU科別患者数

救急搬送された（CPAを含む）重症な患者様や、脳神経外科疾患で急性期治療（Stroke Care Unitに準ずる）を必要とする患者様・入院中の重症患者様（術後を含む）を対象に高度医療を提供しています。

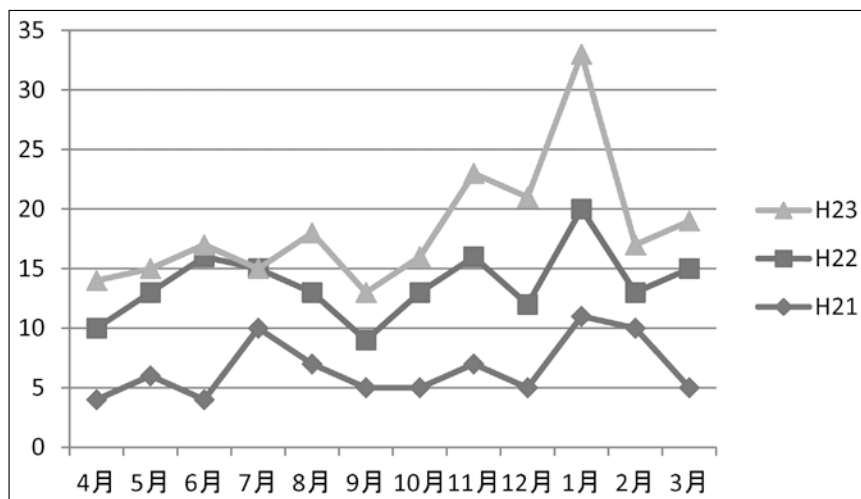
24時間体制で脳神経外科医・救急医が日直および当直を担い、脳卒中や救急疾患症例に対して迅速で高度な医療提供を行っており、今年度はさらに、救急患者を積極的に受け入れ、より一層地域医療へ貢献していきたいと考えます。



脳外科	480
外科	257
内科	95
循環器科	29
整形外科	17
産婦人科	6
耳鼻科	10
形成外科	5
泌尿器科	10
口腔外科	8
心臓外科	3
合計	920

平成23年度 CPA搬送患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H21	4	6	4	10	7	5	5	7	5	11	10	5	79
H22	6	7	12	5	6	4	8	9	7	9	3	10	86
H23	4	2	1	0	5	4	3	7	9	13	4	4	56



病 理 科

1. 人材と設備

スタッフ：病理医 3人、臨床検査技師 6人

有資格者：日本病理学会認定専門医 3人

日本臨床細胞学認定細胞診専門医 3人

日本臨床細胞学会認定細胞検査士 5人

医療機器などの設備（病理解剖室を除く）

光学顕微鏡、蛍光顕微鏡、バーチャル顕微鏡、ミクロトーム、クリオスタット、自動包埋装置、自動染色封入装置、自動免疫染色装置、マイクロウェーブ迅速試料処理装置

2. プロセス

各種癌取扱い規約、WHO分類に準拠した病理診断を行っています。悪性リンパ腫など専門性の高い領域については外部へのコンサルテーションも行っています。

3. 経 験 値

暦年	組織診 (件)	うち迅速診断 (件)	細胞診 (件)	剖検 (件)	院内剖検率 (%)
2007 (H19)	7,151	490	7,660	14	2.6
2008 (H20)	6,541	401	6,913	22	4.8
2009 (H21)	6,658	434	6,877	15	3.1
2010 (H22)	6,710	421	7,377	10	2.1
2011 (H23)	6,703	414	7,819	18	4.4

4. アウトカム

該当するデータはありません。

歯科口腔外科

1. 人材と設備

歯科医師 3人 日本口腔外科学会指導医・専門医 1人
 日本口腔外科学会専門医 1人
 歯科衛生士 3人
 歯科技工士 1人

2. プロセス

クリティカルパス

埋伏智歯抜歯	正中過剰埋伏抜歯	上顎洞根本術	舌小帯形成術
嚢胞摘出術	顎骨骨折手術	抜釘術	

計7種

3. 経 験 値 (2011年度)

1) 初診患者数 (人)

埋伏歯	584
顎関節疾患	214
炎症性疾患	132
粘膜疾患	325
外傷	61
良性腫瘍	85
悪性腫瘍	24
歯・歯周疾患その他	1,049
唾液腺疾患	11
神経性疾患	120
嚢胞疾患	130
先天異常・発育異常	45
計	2,780

平均外来患者数 40.8人/日

2) 入院手術件数 (例)

良性腫瘍	25
悪性腫瘍	23
骨折	3
抜釘	2
嚢胞	31
小帯形成	15
抜歯	149
上顎洞手術	7
顎下腺摘出	2
創傷処理	2
消炎手術	6
外科矯正手術	5
その他	20
計	290

平均入院患者数 4.8人/日

3) 埋伏歯抜歯

	2007 年	2008 年	2009 年	2010 年	2011 年
抜歯件数(本)	793	690	682	811	680

4) 口腔ケア依頼件数（入院）

	2007 年	2008 年	2009 年	2010 年	2011 年
依頼件数(人)	206	154	169	152	168

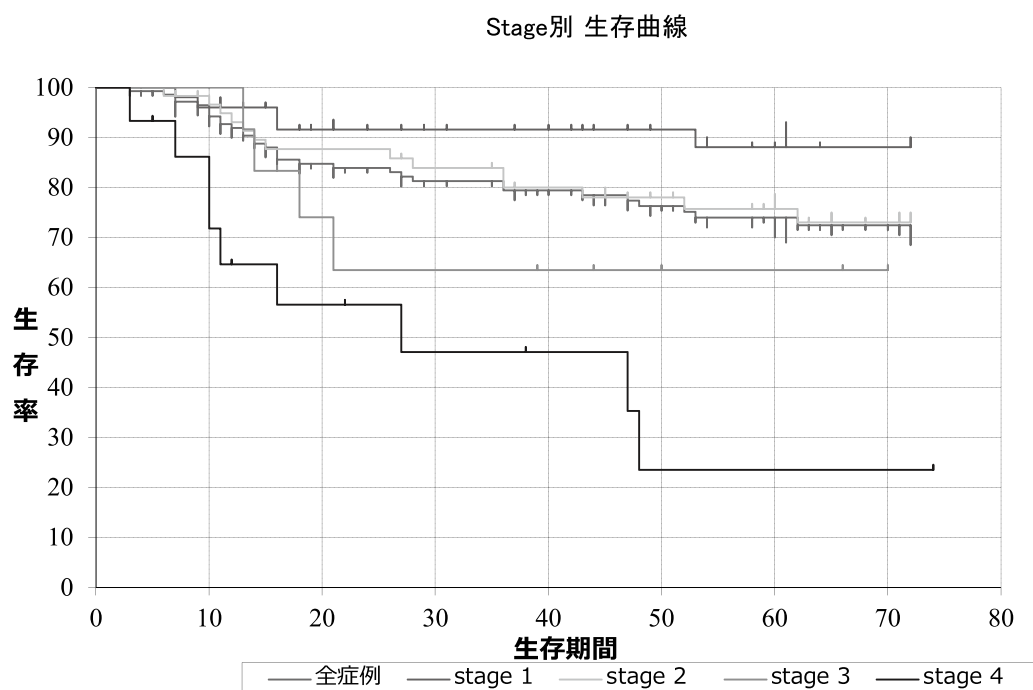
4. アウトカム

1. 口腔癌治療成績

- 1) 調査期間：1997年1月～2011年12月
- 2) 症例数：142例（一次治療が終了した症例）
- 3) 5年生存率（図1） 累積5年生存率（他因死含）

stage I	52例	88.0%
stage II	60例	75.7%
stage III	15例	63.5%
stage IV	15例	23.6%
Total	142例	74.0%

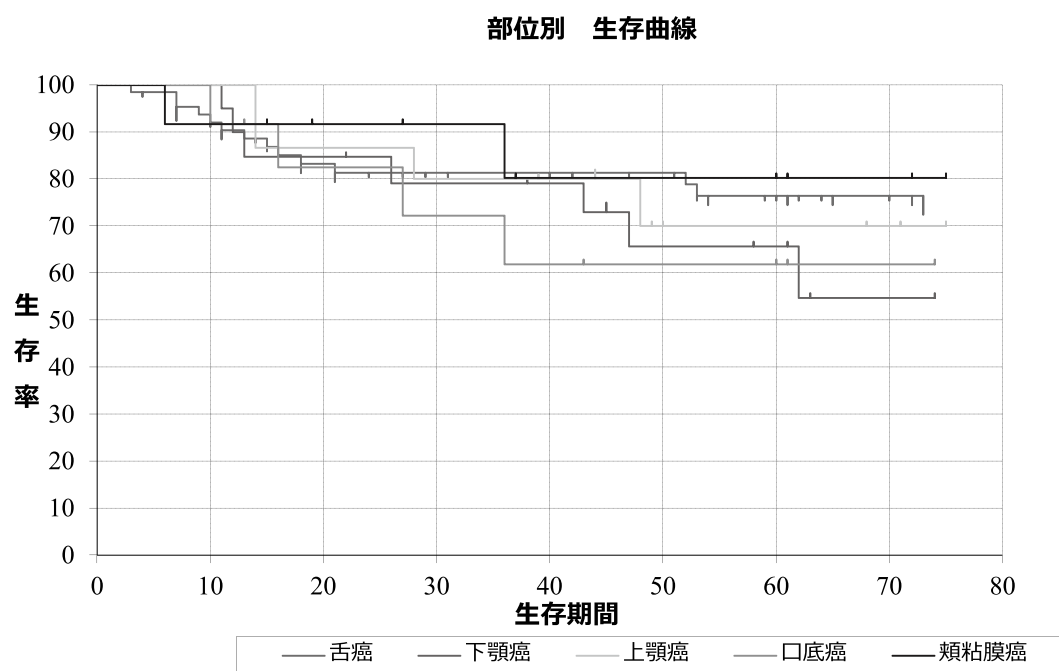
図1



4) 部位別5年生存率 (図2)

①舌癌 (n=65)	76.4%
②上顎歯肉癌 (n=16)	70.0%
③下顎歯肉癌 (n=22)	65.7%
④口底癌 (n=13)	61.9%
⑤頬粘膜癌 (n=11)	80.2%

図2



薬 剤 部

1. 人材と設備

スタッフ 20人

有資格（重複あり）

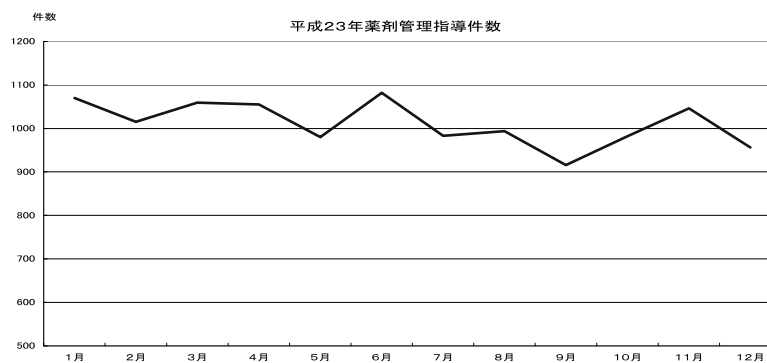
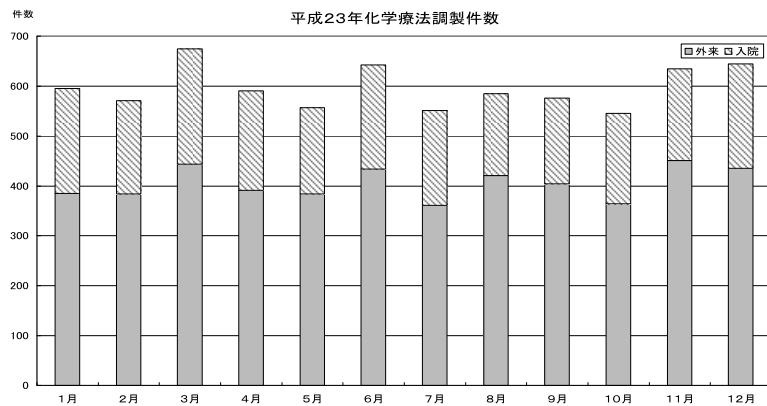
日本薬剤師会研修センター認定実務実習指導薬剤師	7人
日本病院薬剤師会認定指導薬剤師	11人
日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師	20人
日本医療薬学会がん専門薬剤師	1人
日本緩和医療薬学会認定薬剤師	1人
日本臨床薬理学会認定治験コーディネーター	1人
日本医療薬学会認定薬剤師	2人

2. 経験値

1) 指導教室実施件数

糖尿病教室（入院患者対象）	22回/年
糖尿病スクール（外来患者対象）	6回/年
腎臓病教室（外来患者対象）	2回/年
肝臓病教室（外来患者対象）	2回/年

2) 業務実績



栄 養 管 理 室

1. 人材と設備

管理栄養士	糖尿病療養指導士	長尾 美恵
管理栄養士	糖尿病療養指導士	和田 幸恵
管理栄養士	糖尿病療養指導士	永井美津代

2. 経験値

栄養指導件数（平成23年実績）

個人指導数：1,414件

入院：691件

外来：723件

集団指導数 59件 延べ人数 498人

糖尿病スクール（外来患者対象） 12回/年

糖尿病教室（入院患者対象） 43回/年

肝臓病教室 2回/年

腎不全教室 2回/年

學 術 業 績 集

内 科

論文・著書

● Tumour-associated macrophages in diffuse large B-cell lymphoma: a study of the Osaka Lymphoma Study Group

Wada N, Zaki M, Hori Y, Hashimoto K, Tsukaguchi M, Tatsumi Y, Ishikawa J, Tominaga N, Sakoda H, Take H, Tsudo M, Kuwayama M, Morii E, Aozasa K
Histopathology 60:313-319,2011

● Plasmablastic extramedullary plasmacytoma associated with Epstein-Barr virus arising in an immunocompetent patient with multiple myeloma

Sasaki S, Hashimoto K, Nakatsuka S, Hasegawa M, Nakano T, Nagata S, Kanakura Y, Hayashi N
Internal Medicine 50:2615-2620,2011

● Prognostic implication of types of tumor-associated macrophages in Hodgkin lymphoma

Zaki M, Wada N, Ikeda J, Shibayama H, Hashimoto K, Yamagami T, Tatsumi Y, Tsukaguchi M, Take H, Tsudo M, Morii E, Aozasa K
Virchows Arch 459:361-366,2011

● 創傷治癒のスピード

林 功
糖尿病ケア 8 (8):757-759,2011

● 術後感染症および術後合併症の発症

山本恒彦
糖尿病ケア 8 (8):766-768,2011

● 肝性糖尿病の特徴と診断

山本恒彦、金藤秀明
スマートな糖尿病診断と治療の進め方 p.94-100 中山書店 2011

学会報告

● Former dialysis vintage engraved in parathyroid glands as uremic memory: a ultrasonographical evaluation of parathyroid hypertrophy(USE-PTH)study

Tomida K, Hamano T, Fujii N, Ichimaru N, Matsui I, Isaka Y, Rakugi H, Takahara S
XLV III ERA-EDTA Congress 2011.6.23-26 Prague, Czech Republic

● 組織学的診断に難渋したネフローゼ症候群の1例

青木克憲、依藤秀樹、上田恵理子、富田弘道、金子哲也、和泉雅章
第16回阪神腎病理勉強会 2011.1.20 西宮市

● CGM、CSII から学ぶ1型糖尿病療養指導

林 功、佐々木周伍、山本裕一、山本恒彦
第3回関西糖尿病療養指導・看護研究会 2011.2.26 尼崎市

● 糖尿病における心理行動医学的アプローチ

林 功、光井絵理、山本裕一、山本恒彦
阪神行動医学セミナー 2011.4.9 尼崎市

● 日本人2型糖尿病患者における、グリメピリドからシタグリプチンへの切り替えによる薬効比較に関する検討

林 功、森川侑佳、山本裕一、佐々木周伍、五郎川伸一、佐藤智巳、貞廣克彦、橋本 創、長尾和宏、渡辺伸明、久保田稔
第54回日本糖尿病学会年次学術集会 2011.5.19-21 札幌市

● ピオグリタゾンによる浮腫と利尿剤および塩分摂取量の検討

佐々木周伍、林 功、森川侑佳、山本裕一、五郎川伸一、久保田稔
第54回日本糖尿病学会年次学術集会 2011.5.19-21 札幌市

● 糖尿病患者における喫煙と神経障害との関連

山本裕一、高原充佳、森川侑佳、佐々木周伍、林 功、五郎川伸一、池田雅彦、久保田稔
第54回日本糖尿病学会年次学術集会 2011.5.19-21 札幌市

● 診断に苦慮したCushing病の1例(OEMCC賞受賞)

長谷川正宇、山本裕一、佐々木周伍、光井絵理、林 功、山本恒彦
第5回大阪内分泌・代謝クリニカルカンファレンス (OEMCC) 2011.6.4 大阪市

● 組織学的診断に苦慮したネフローゼ症候群の1例

青木克憲、富田弘道、金子哲也、和泉雅章、斉藤喬雄、大谷方子
第54回日本腎臓学会学術総会 2011.6.15-17 横浜市

● 腹部感染症からの敗血症性ショックに対する長時間PMX-DHP療法の施行方法

倭 正也、和泉雅章
第56回日本透析医学会学術集会 2011.6.17-19 横浜市

● 抗アレルギー薬の継続投与を必要とした好酸球性腹膜炎の1例

上田恵理子、青木克憲、依藤秀樹、富田弘道、金子哲也、和泉雅章
第56回日本透析医学会学術集会 2011.6.17-19 横浜市

● アリスキレンで治療した悪性高血圧症の1例

木村良紀、青木克憲、依藤秀樹、上田恵理子、富田弘道、金子哲也、和泉雅章
第56回日本透析医学会学術集会 2011.6.17-19 横浜市

● 外科手術前に心肺停止となった1例

長谷川正宇、富田弘道
神戸水電解質キャンプ 2011.8.5 神戸市

● ACTH異常高値を示したCushing病(Crooke's cell adenoma)の1例

長谷川正宇、山本裕一、佐々木周伍、光井絵理、林 功、山本恒彦
第195回日本内科学会近畿地方会 2011.9.10 大阪市

● 腎機能低下を伴わず著明な高Mg血症をきたした1例

長谷川正宇、木村良紀、青木克憲、依藤秀樹、上田恵理子、富田弘道、金子哲也、和泉雅章
第66回大阪腎疾患研究会 2011.9.16 大阪市

● 著明な高マグネシウム血症を呈し、緊急透析を要した直腸癌の1例

長谷川正宇、内山千恵子、木村良紀、青木克憲、依藤秀樹、冨田弘道、金子哲也、加藤健志、田村茂行、和泉雅章
第41回日本腎臓学会西部学術大会 2011.9.30-10.1 徳島市

● CSII療法中にDKAを発症、救急車内にてCPAに至った1型糖尿病の1例

林 功、光井絵理、山本裕一、山本恒彦
第54回日本糖尿病学会近畿地方会 2011.10.29 大阪市

● 甲状腺機能亢進症を契機に糖尿病ケトアシドーシスを発症した1A型糖尿病の2症例

光井絵理、山本裕一、林 功、山本恒彦、安田哲行、黒田暁生、藤木典隆、藤澤慶子、宮下和幸、金藤秀明、下村伊一郎
第54回日本糖尿病学会近畿地方会 2011.10.29 大阪市

● 著明な高血糖を呈さず甲状腺機能亢進症を契機に糖尿病ケトアシドーシスを発症した1A型糖尿病の2症例

光井絵理、山本裕一、林 功、山本恒彦、安田哲行、黒田暁生、藤木典隆、藤澤慶子、宮下和幸、金藤秀明、下村伊一郎
第54回日本甲状腺学会学術集会 2011.11.21-23 大阪市

● 1型糖尿病と慢性甲状腺炎に悪性貧血を合併した多腺性自己免疫症候群(APS)の1症例

村井大毅、山本恒彦、木村良紀、光井絵理、山本裕一、林 功、橋本光司、和泉雅章
第196回日本内科学会近畿地方会 2011.12.17 京都市

講演会やテレビ出演

● 糖尿病患者における心理行動医学的アプローチについて -色々なアプローチ法をまとめて考えてみよう！-

林 功、光井絵理、山本裕一、山本恒彦
第5回糖尿病療養指導看護セミナー -夢舞台meeting- 2011.1.15-16 淡路市

● 糖尿病の薬物治療

山本恒彦、光井絵理、山本裕一、林 功
イーライリリー MR研修会 2011.3.31 尼崎市

● 糖尿病の薬物治療

山本恒彦、光井絵理、山本裕一、林 功
第2回尼崎調剤薬局カンファレンス 2011.4.22 尼崎市

● バスキュラーアクセスについて -穿刺する立場から-

冨田弘道
三上クリニック患者会 2011.4.24 尼崎市

● 腎疾患の診断と治療

金子哲也
アステラス製薬社内研修会 2011.4.25 尼崎市

● 慢性腎臓病と動脈硬化

和泉雅章
第11回HGC病診連携の会 2011.6.9 西宮市

● 2型糖尿病患者における、グリメピリドからシタグリプチンへの切り替えによる薬効比較に関する検討

林 功、佐々木周伍、山本裕一、光井絵理、山本恒彦
第5回北摂臨床創造研究会 2011.6.17 吹田市

● 糖尿病分野における基礎研究の意義

山本恒彦、光井絵理、山本裕一、林 功
ノバルティスファーマ外来講師勉強会 2011.6.22 尼崎市

● 慢性腎臓病と動脈硬化

和泉雅章
阪神動脈硬化フォーラム 2011.6.23 西宮市

● 高齢者の血糖コントロール

林 功、光井絵理、山本裕一、山本恒彦
在宅における糖尿病管理 2011.6.25 尼崎市

● N型カルシウムチャネルの意義 -糖尿病の視点から-

山本恒彦、光井絵理、山本裕一、林 功
阪神N型カルシウムチャネル研究会 2011.7.23 西宮市

● 透析室における感染対策

和泉雅章
星優クリニック職員研修会 2011.7.26 伊丹市

● 糖尿病治療の光と影

林 功、光井絵理、山本裕一、山本恒彦
E-Quality Meeting in Nishinomiya 2011.8.6 西宮市

● 当院での先端肥大症に対するオクトレオチド術前投与の経験

林 功、光井絵理、山本裕一、山本恒彦
第29回兵庫下垂体疾患症例検討会 2011.11.10 西宮市

● 臨床医学特論「診療プロセスの改善：Quality Improvement」

冨田弘道
若手医師Quality Improvement Project 2011.12.8 吹田市

● 2型糖尿病の薬物治療を考える -DPP-Ⅳ阻害薬ビルダグリプチンをどのように使用すべきか-

山本恒彦、井田健一、紅林昌吾、池田弘毅、渡辺伸明、井口登與志、宮川潤一郎、難波光義
Medical Tribune 特別企画 座談会 2011.12.8

主催研究会

●

林 功、佐々木周伍、山本裕一、山本恒彦
第3回関西糖尿病療養指導・看護研究会 2011.2.26 尼崎市

●

林 功、光井絵理、山本裕一、山本恒彦
阪神行動医学セミナー 2011.4.9 尼崎市

消化器内科

論文・著書

- Efficacy of pegylated interferon plus ribavirin combination therapy for hepatitis C patients with normal ALT levels: a matched case-control study

Hiramatsu N, Inoue Y, Oze T, Kurashige N, Yakushijin T, Mochizuki K, Miyagi T, Tatsumi T, Kiso S, Kanto T, Kasahara A, Takehara T, Oshita M, Mita E, Hagiwara H, Inui Y, Katayama K, Tamura S, Yoshihara H, Imai Y, Hayashi N
J Gastroenterol 46(11):1335-1343,2011

- Efficacy of re-treatment with pegylated interferon plus ribavirin combination therapy for patients with chronic hepatitis C in Japan

Oze T, Hiramatsu N, Yakushijin T, Mochizuki K, Oshita M, Hagiwara H, Mita E, Ito T, Inui Y, Fukui H, Hijioka T, Katayama K, Tamura S, Yoshihara H, Inoue A, Imai Y, Hayashi E, Kato M, Hosui A, Miyagi T, Ishida H, Yoshida Y, Tatsumi T, Kiso S, Kanto T, Kasahara A, Takehara T, Hayashi N
J Gastroenterol 46(8):1031-1037,2011

- The efficacy of extended treatment with pegylated interferon plus ribavirin in patients with HCV genotype 1 and slow virologic response in Japan

Oze T, Hiramatsu N, Yakushijin T, Mochizuki K, Imanaka K, Yamada A, Oshita M, Kaneko A, Hagiwara H, Mita E, Ito T, Nagase T, Inui Y, Hijioka T, Tamura S, Yoshihara H, Hayashi E, Imai Y, Kato M, Hosui A, Miyagi T, Yoshida Y, Ishida H, Tatsumi T, Kiso S, Kanto T, Kasahara A, Takehara T, Hayashi N
J Gastroenterol 46(7):944-952,2011

- Indications and limitations for aged patients with chronic hepatitis C in pegylated interferon alfa-2b plus ribavirin combination therapy

Oze T, Hiramatsu N, Yakushijin T, Mochizuki K, Oshita M, Hagiwara H, Mita E, Ito T, Fukui H, Inui Y, Hijioka T, Inada M, Katayama K, Tamura S, Yoshihara H, Inoue A, Imai Y, Kato M, Miyagi T, Yoshida Y, Tatsumi T, Kiso S, Kanto T, Kasahara A, Takehara T, Hayashi N
J Hepatol 54(4):604-611,2011

- Let's! 服薬コミュニケーション HCV1型高ウイルス量C型慢性肝炎

萩原秀紀
スズケンファーマ 14(1):1,2011

- ケーススタディ／HCV1型高ウイルス量C型慢性肝炎

萩原秀紀
スズケンメディカル 14(1):1-3,2011

- B型肝炎ウイルスに対する治療の進歩

糸瀬一陽、萩原秀紀、林 紀夫
日本消化器病学会雑誌 108(2):189-195,2011

- C型慢性肝炎の治療戦略

萩原秀紀、林 紀夫
消化器 BOOK04 これでわかる! 慢性肝炎の治療戦略 p.88-97 羊土社 2011

● ネフローゼ症候群を合併したB型慢性肝炎の1例

阿部佳奈子、板倉史晃、前川 聡、石見亜矢、小豆澤秀人、戸田万生良、中村剛之、柄川悟志、糸瀬一陽、牧野 仁、伊藤善基、萩原秀紀、林 紀夫
第94回日本消化器病学会近畿支部例会 2011.2.5 大阪市

● 難治性C型肝炎に対するPeg-IFN/Ribavirin併用療法-高齢者における問題点と対策-

平松直樹、竹原徹郎、林 紀夫
第97回日本消化器病学会総会 2011.5.13-15 東京都

● 炎症性腸疾患の病態形成におけるGRAIL、Oatub-1の関与

向井 章、飯島英樹、日山智史、白石衣里、井上隆弘、中島知子、新崎真一郎、柄川悟志、辻井正彦、林 紀夫
第97回日本消化器病学会総会 2011.5.13-15 東京都

● 天然型IFNアルファを対照としたHBe抗原陽性のB型慢性肝炎患者におけるペグインターフェロンアルファ-2aの有効性及び安全性の検討

林 紀夫、清澤研道、坪内博仁、岡上 武、熊田博光
第47回日本肝臓学会総会 2011.6.2-3 東京都

● Peg-IFN/RBV/Vitamin D併用療法の有用性について(中間報告) - 多施設(OLF)共同研究 -

小瀬嗣子、平松直樹、薬師神崇行、望月 圭、飯尾禎元、山田 晃、萩原秀紀、三田英治、伊藤敏文、稲田正巳、吉原治正、井上敦雄、今井康陽、林英二郎、加藤道夫、吉田雄一、巽 智秀、木曾真一、考藤達哉、笠原彰紀、竹原徹郎、林 紀夫
第47回日本肝臓学会総会 2011.6.2-3 東京都

● 難治性C型肝炎に対するPeg-IFN/RBV併用療法の治療効果とIL28B遺伝子多型との関係について -多施設(OLF)共同研究-

小瀬嗣子、平松直樹、宋 昌浩、由雄祥代、薬師神崇行、望月 圭、萩原秀紀、春名能通、三田英治、今井康陽、法水 淳、宮城琢也、吉田雄一、巽 智秀、木曾真一、考藤達哉、笠原彰紀、竹原徹郎、林 紀夫
第47回日本肝臓学会総会 2011.6.2-3 東京都

● C型慢性肝炎患者におけるIL28B SNPと樹状細胞のIFN- β 、IFN- λ 誘導の関連

垣田成庸、考藤達哉、宮崎昌典、黒田将子、松原徳周、東谷光庸、榎原 充、平松直樹、竹原徹郎、笠原彰紀、林 紀夫
第47回日本肝臓学会総会 2011.6.2-3 東京都

● C型慢性肝炎におけるIL28B SNPと免疫細胞機能

考藤達哉、垣田成庸、宮崎昌典、小瀬嗣子、松原徳周、榎原 充、東谷光庸、黒田将子、平松直樹、笠原彰紀、竹原徹郎、林 紀夫
第47回日本肝臓学会総会 2011.6.2-3 東京都

● C型慢性肝炎に対するインターフェロン治療におけるQOLの検討

黒川三佳、平松直樹、小瀬嗣子、薬師神崇行、望月 圭、法水 淳、宮城琢也、吉田雄一、巽 智秀、木曾真一、考藤達哉、笠原彰紀、竹原徹郎、林 紀夫
第47回日本肝臓学会総会 2011.6.2-3 東京都

● 肝細胞におけるp53の活性化は肝に線維化を誘導する

小玉尚宏、竹原徹郎、清水 聡、疋田隼人、重川 稔、常松日奈子、法水 淳、宮城琢也、巽 智秀、石田 永、考藤達哉、平松直樹、林 紀夫
第47回日本肝臓学会総会 2011.6.2-3 東京都

● マウス胆汁うっ滞性肝障害モデルにおいてSTAT3シグナル依存的に肝細胞より分泌される液性因子は肝星細胞活性化を減弱し肝線維化に対して保護的に働く

重川 稔、小玉尚宏、清水 聡、疋田隼人、法水 淳、宮城琢也、石田 永、巽 智秀、平松直樹、考藤達哉、林 紀夫、竹原徹郎
第47回日本肝臓学会総会 2011.6.2-3 東京都

● オートファジーは肝癌のソラフェニブ抵抗性の一因である

清水 聡、竹原徹郎、小玉尚宏、疋田隼人、宮城琢也、法水 淳、巽 智秀、石田 永、平松直樹、考藤達哉、林 紀夫
第47回日本肝臓学会総会 2011.6.2-3 東京都

● HB-EGF (heparin-binding EGF-like growth factor) 欠損は、マウス肝線維化を増悪させる

竹村貴代、吉田雄一、木津 崇、椿尾真弓、茶谷徳啓、濱野美奈、江崎久男、鎌田佳宏、木曾真一、林 紀夫
第47回日本肝臓学会総会 2011.6.2-3 東京都

● C型慢性肝炎のPEG-IFN/RBV併用治療における治療効果とC型肝炎ウイルス特異的細胞傷害性T細胞(CTL)免疫反応の関連

巽 智秀、竹原徹郎、宮城琢也、中水流正一、三田英治、考藤達哉、平松直樹、林 紀夫
第47回日本肝臓学会総会 2011.6.2-3 東京都

● C型慢性肝炎患者樹状細胞による制御性T細胞の誘導機序-トリプトファン代謝酵素(IDO)の意義

東谷光庸、考藤達哉、黒田将子、松原徳周、垣田成庸、宮崎昌典、榎原 充、平松直樹、竹原徹郎、笠原彰紀、林 紀夫
第47回日本肝臓学会総会 2011.6.2-3 東京都

● STAT5発現低下を介した肝脂肪化の機序の検討

法水 淳、竹原徹郎、林 紀夫
第47回日本肝臓学会総会 2011.6.2-3 東京都

● C型肝炎細胞癌におけるTIE2-expressing monocytesの意義

松原徳周、考藤達哉、東谷光庸、垣田成庸、宮崎昌典、榎原充、平松直樹、竹原徹郎、笠原彰紀、林 紀夫
第47回日本肝臓学会総会 2011.6.2-3 東京都

● C型肝炎に対するPeg-IFN/RBV併用療法におけるVTTQ (Virtual Touch Tissue Quantification) 測定の意義

山田涼子、平松直樹、薬師神崇行、望月 圭、宮崎昌典、小瀬嗣子、黒川三佳、井上裕子、宋 昌宏、木曾真一、考藤達哉、笠原彰紀、竹原徹郎、林 紀夫
第47回日本肝臓学会総会 2011.6.2-3 東京都

● 皮膚病変と発熱を主訴に発症した、腹部症状に乏しいクローン病の1例

森本祥悠、嶋吉章紀、阿部佳奈子、板倉史晃、小豆澤秀人、戸田万生良、中村剛之、糸瀬一陽、柄川悟志、牧野 仁
第195回日本内科学会近畿地方会 2011.9.10 大阪市

● 切開生検による診断が有用であった粘膜下腫瘍様の形態を呈した食道扁平上皮癌の1例

明神悠太、柄川悟志、嶋吉章紀、阿部佳奈子、板倉史晃、小豆澤秀人、戸田万生良、中村剛之、糸瀬一陽、牧野 仁、望月 圭、伊藤善基、萩原秀紀、林 紀夫
第87回日本消化器内視鏡学会近畿地方会 2011.10.1 神戸市

● HCV genotype1高ウイルス量のC型慢性肝炎既治療患者に於けるMK-7009のPeg-IFN/Ribavirin併用時の安全性及び有効性の検討

林 紀夫、Mobashery N
第53回日本消化器病学会大会 2011.10.20-22 東京都

● 大腸癌に対する新規樹状細胞ワクチンの臨床試験-免疫学的効果と臨床効果

榊原 充、考藤達哉、垣田成庸、東谷光庸、林 紀夫
第53回日本消化器病学会大会 2011.10.20-22 東京都

● C型慢性肝炎患者に於けるトリプトファン代謝酵素(IDO)の活性亢進と病態への関与

東谷光庸、考藤達哉、黒田将子、由雄祥代、松原徳周、垣田成庸、宮崎昌典、榊原 充、平松直樹、笠原彰紀、竹原徹郎、林 紀夫
第53回日本消化器病学会大会 2011.10.20-22 東京都

● 難治性C型肝炎に対する新薬を踏まえたPeg-IFN/Ribavirin併用療法の適応と限界

平松直樹、竹原徹郎、林 紀夫
第53回日本消化器病学会大会 2011.10.20-22 東京都

● カプセル内視鏡により出血部位を観察し得た放射線性小腸炎の1例

柄川悟志、前川 聡、嶋吉章紀、阿部佳奈子、板倉史晃、小豆澤秀人、戸田万生良、中村剛之、糸瀬一陽、牧野 仁、望月 圭、伊藤善基、濱中美千子、三木宏文、萩原秀紀、林 紀夫
第82回日本消化器内視鏡学会総会 2011.10.20-23 東京都

● Primary analysis of TMC435 plus PegIFN/RBV in treatment-naive patients infected with HCV genotype 1(DRAGON Study)

林 紀夫、駒田裕二、後藤章一郎
第15回日本肝臓学会大会 2011.10.20-21 東京都

● C型慢性肝炎におけるセロタイプⅡ型に対するPeg-IFN α 2a単独療法の有効性に関する検討

入潮佳子、今井康陽、小瀬嗣子、平松直樹、三田英治、外山 隆、葛下典由、永瀬寿彦、土井喜宣、山田 晃、加藤道夫、福田和人、井倉 技、竹原徹郎、林 紀夫
第15回日本肝臓学会大会 2011.10.20-21 東京都

● C型肝炎に対するPeg-IFN/RBV併用療法における早期HCV-RNA減少率を用いた治療効果予測

小瀬嗣子、平松直樹、薬師神崇行、尾下正秀、萩原秀紀、三田英治、永瀬寿彦、福井 博、乾 由明、吉原治正、今井康陽、法水 淳、宮城琢也、吉田雄一、巽 智秀、木曾真一、考藤達哉、笠原彰紀、林 紀夫、竹原徹郎
第15回日本肝臓学会大会 2011.10.20-21 東京都

● Genotype 1型C型肝炎に対するPeg-IFN/Vitamin D併用療法の有用性について(中間報告)-多施設(OLF)共同研究-

小瀬嗣子、平松直樹、薬師神崇行、飯尾禎元、山田 晃、萩原秀紀、三田英治、伊藤敏文、福田正巳、吉原治正、井上敦雄、今井康陽、林英二朗、加藤道夫、考藤達哉、林 紀夫、竹原徹郎
第15回日本肝臓学会大会 2011.10.20-21 東京都

● 難治性C型肝炎に対するPeg-IFN/RBV併用療法の治療効果予測-多施設(OLF)共同研究-

小瀬嗣子、平松直樹、薬師神崇行、土井喜宣、小川弘之、萩原秀紀、春名能通、三田英治、金子 晃、脇岡泰三、片山和宏、田村信司、吉原治正、今井康陽、林英二朗、考藤達哉、林 紀夫、竹原徹郎
第15回日本肝臓学会大会 2011.10.20-21 東京都

● C型慢性肝炎患者におけるIL28B SNPとⅠ型、Ⅲ型IFNの発現動態

垣田成庸、考藤達哉、宮崎昌典、黒田将子、松原徳周、東谷光庸、榊原 充、平松直樹、笠原彰紀、竹原徹郎、林 紀夫
第15回日本肝臓学会大会 2011.10.20-21 東京都

● IFN α はB型肝炎ウイルスのエンハンサー2の転写活性を阻害する

名和誉敏、石田 永、法水 淳、宮城琢也、巽 智秀、竹原徹郎、林 紀夫
第15回日本肝臓学会大会 2011.10.20-21 東京都

● C型肝炎に対するPeg-IFN/RBV併用療法におけるVTTQ(Virtual Touch Tissue Quantification)測定の意義

山田涼子、平松直樹、薬師神崇行、宮崎昌典、小瀬嗣子、黒川三佳、原田直樹、法水 淳、宮城琢也、吉田雄一、巽 智秀、木曾真一、考藤達哉、笠原彰紀、林 紀夫、竹原徹郎
第15回日本肝臓学会大会 2011.10.20-21 東京都

講演会やテレビ出演

● B型肝炎の最新の治療

萩原秀紀
日本肝臓学会「肝がん撲滅運動」ここまで進んだウイルス性肝炎の最新治療 2011.1.16 大阪市

● B型慢性肝炎の経過中に膜性増殖性糸球体腎炎を合併した1例

阿部佳奈子
第19回尼崎肝炎患懇話会 2011.1.29 尼崎市

● 肝がんの診断と治療

萩原秀紀
肝臓病市民公開講座「肝臓病に関する最新情報-あなたのための最適な治療を選択する-」 2011.2.27 西宮市

● C型慢性肝炎の最新治療

糸瀬一陽
肝臓病市民公開講座「肝臓病に関する最新情報-あなたのための最適な治療を選択する-」 2011.2.27 西宮市

● メタボリックシンドロームと肝臓病

望月 圭
肝臓病市民公開講座「肝臓病に関する最新情報-あなたのための最適な治療を選択する-」 2011.2.27 西宮市

● 肝硬変診療の最前線と医療連携

萩原秀紀
肝硬変 プライマリケアを考える会 2011.6.9 伊丹市

● C型肝炎の病態と最新治療

萩原秀紀
宝塚市内科医会講演会 2011.6.25 宝塚市

● 肝がん地域連携パス

萩原秀紀
阪神圏域がん地域連携パス合同説明会 2011.7.2 西宮市

● 透析患者におけるC型肝炎

萩原秀紀
C型肝炎透析施設連携Meeting 2011.7.28 尼崎市

● 典型的な肝細胞癌の画像所見を示した肝腫瘍の1切除例

嶋吉章紀
第20回尼崎肝疾患懇話会 2011.7.30 尼崎市

循環器内科

論文・著書

- アミオダロンおよびシベンゾリンにて同様の肝障害を呈した重症心不全の1例

渡部徹也
第15回アミオダロン研究会講演集 (31):71 (705) -73 (707), 2011

学会報告

- Angioscopic assessment of arterial repair four to eight months after zotarolimus-eluting stent implantation: implications for late stent thrombosis

Ishihara T
ACC 2011 2011.4.2-5 New Orleans,LA

- Successful true-lumen stenting for the in-stent chronic total occlusion occurred after pseudo-lumen stenting in the common iliac artery

Ishihara T
ACC 2011 2011.4.2-5 New Orleans,LA

- Six year outcomes following endovascular therapy with nitinol stenting in the femoropopliteal artery

Dohi T, Iida O, Soga Y, Suzuki K, Hirano K, Nanto S, Uematsu M, Nagata S
American College of Cardiology 2011 2011.4.2-5 New Orleans,LA

- Successful true-lumen stenting for the in-stent chronic total occlusion occurred after pseudo-lumen stenting in the common iliac artery

Ishihara T
TCT AP 2011.4.26-29 Seoul,Korea

- Arterial repair 4 to 8 months after Zotarolimus- eluting Endeavor stent implantation: angioscopic evaluation in patients

Ishihara T
EuroPCR2011 2011.5.18 Paris,France

- Successful true-lumen stenting for the in-stent chronic total occlusion occurred after pseudo-lumen stenting in the common iliac artery

Ishihara T
EuroPCR2011 2011.5.18 Paris,France

- Successful true-lumen stenting for the in-stent chronic total occlusion occurred after pseudo-lumen stenting in the common iliac artery

Sato K, Ida O, Ishihara T, Uematsu M
VIVA 11 2011.10.18-21, Las Vegas,NV

- Factors related to the failure of limb salvage following endovascular therapy in patients with critical limb ischemia

Okamoto S
Transcatheter Cardiovascular Therapeutics 2011 2011.11.7-11 San Francisco,CA

- Six year outcomes following endovascular therapy with nitinol stenting for transatlantic inter-society consensus C-D lesions in the femoropopliteal artery

Dohi T, Iida O, Soga Y, Suzuki K, Hirano K, Nanto S, Uematsu M
Transcatheter Cardiovascular Therapeutics 2011 2011.11.7-11
San Francisco, CA

- Long-term clinical outcomes after endovascular therapy for patients with critical limb ischemia due to isolated below the knee lesions

Iida O, Soga Y, Hirano K, Kawasaki D, Suzuki K, Miyashita Y, Nanto S, Uematsu M
American Heart Association 2011.11.12-16 Orlando, FL

- Six year outcomes following endovascular therapy with nitinol stenting in the femoropopliteal artery: retrospective multicenter analysis for stenting of femoropopliteal lesions

Dohi T, Iida O, Soga Y, Suzuki K, Hirano K, Nanto S, Uematsu M
American Heart Association 2011 2011.11.12-16 Orlando, FL

- Impact of completion angiogram on limb salvage of endovascular therapy in patients with critical limb ischemia presenting with isolated below-the-knee

Sato K, Iida O, Soga Y, Hirano Y, Kawasaki D, Suzuki K, Miyashita Y, Nanto S, Uematsu M
American Heart Association 2011.11.12-16 Orlando, FL

- 当院におけるゾタロリムス溶出性ステントの臨床成績の検討

石原隆行
第16回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会 2011.2.5
豊中市

- RotablatorとCutting balloonの併用にて高度石灰化病変の切削に成功した1例

石原隆行
Gruentzig club 2011.4.14 大阪市

- 血管内治療のみでは救肢できなかった重症虚血肢症例の検討

岡本 慎
第39回日本血管外科学会学術総会 2011.4.20-22 沖縄県

- 術後両側総腸骨動脈瘤に対するステントグラフト治療後右脚閉塞を来した1例

土肥智晴
第39回日本血管外科学会学術総会 2011.4.20-22 沖縄県

- 慢性動脈閉塞に対する血管内治療の初期及び遠隔期成績

土肥智晴
第39回日本血管外科学会学術総会 2011.4.20-22 沖縄県

- 膝窩動脈領域TASCC2A/B病変に対するナイチノールステントの遠隔期成績

南都清範
第39回日本血管外科学会学術総会 2011.4.20-22 沖縄県

- 心臓転移を認めた悪性リンパ腫の1例

渡部徹也
第22回日本心エコー図学会 2011.4.21-23 鹿児島市

- エベロリムス溶出性ステント留置後8ヶ月時点の血管治療性状の検討：血管内視鏡による評価

栗田政樹
第111回日本循環器学会近畿地方会 2011.6.25 神戸市

- 重症虚血肢患者における生命予後規定因子の検討

飯田 修
第111回日本循環器学会近畿地方会 2011.6.25 神戸市

- 膝下単独病変を有するRutherford6の重症虚血肢患者の大切断の予測因子

岡本 慎
第111回日本循環器学会近畿地方会 2011.6.25 神戸市

- 当院におけるゾタロリムス溶出性ステントの臨床成績の検討

石原隆行
第111回日本循環器学会近畿地方会 2011.6.25 神戸市

- 当院における腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術（EVAR）の初期および中期成績

土肥智晴
第111回日本循環器学会近畿地方会 2011.6.25 神戸市

- 投薬加療困難な頻脈性心房細動に対して房室結節アブレーションが奏功した1例

三嶋 剛
第111回日本循環器学会近畿地方会 2011.6.25 神戸市

- 膝下動脈領域に対する金属ステントの有用性

南都清範
第111回日本循環器学会近畿地方会 2011.6.25 神戸市

- パクリタキセル溶出性ステント留置後の遅発性ステント血栓症を血管内視鏡にて診断した1例

南都清範
第111回日本循環器学会近畿地方会 2011.6.25 神戸市

- CRT-D植込み時に冠静脈狭窄に対してバルーン拡張術を施行した1例

水上雪香
第111回日本循環器学会近畿地方会 2011.6.25 神戸市

- 心疾患のトータルマネージメントを目指して

渡部徹也
第20回日本心血管インターベンション治療学会総会 2011.7.21-23 大阪市

- Angioscopic evaluation of arterial repair following XIENCE V implantation
栗田政樹
第20回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 2011.7.21-24 大阪市

- エベロリムス溶出性ステント留置後8ヶ月時点の血管内視鏡所見
栗田政樹
第20回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 2011.7.21-24 大阪市

- 血管内視鏡による新世代DES留置後の血管治癒性状の評価
栗田政樹
第20回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 2011.7.21-24 大阪市

- 血管内視鏡は遅発性ステント血栓症のハイリスクである“vulnerable stent”を予測できるか？
栗田政樹
第20回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 2011.7.21-24 大阪市

- 左回旋枝入口部狭窄は血管造影所見のみでPCIの適応を判断するのは困難であり、PCIの適応判定には虚血診断が必須である
栗田政樹
第20回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 2011.7.21-24 大阪市

- 良好な血管治癒を得るために次世代DESに対して何が求められているか？：血管内視鏡研究からの考察
栗田政樹
第20回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 2011.7.21-24 大阪市

- Endovascular therapy for the patient with peripheral artery disease
飯田 修
第20回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 2011.7.21-24 大阪市

- コーヒーブレイクセミナー “Learn from the experts, Current EVT for CLI”
飯田 修
第20回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 2011.7.21-24 大阪市

- No-reflow/slow flow に対する予防戦略
石原隆行
第20回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 2011.7.21-24 大阪市

- Successful endovascular repair in a saccular-type abdominal aortic aneurysm case with small-diameter aorta
Dohi T, Iida O, Uematsu M, Nagata S
第20回日本心血管インターベンション治療学会総会 2011.7.21-23 大阪市

- The effect of septal atrial pacing and right ventricular septal pacing
渡部徹也
第75回日本循環器学会総会・学術集会 2011.8.3-4 横浜市

- Role of endovascular therapy in the treatment of patients with Leriche syndrome: initial and midterm outcomes
飯田 修
第75回日本循環器学会総会・学術集会 2011.8.3-4 横浜市

- Zotarolimus-eluting stent achieves both homogeneous and complete neointimal coverage
世良英子
第75回日本循環器学会総会・学術集会 2011.8.3-4 横浜市

- Investigation into the reduction of unnecessary RV pacing in pacemaker patients with the VIP™ algorithm
渡部徹也
第26回日本不整脈学会学術大会 2011.9.18-22 福岡市

- 心房中隔ペーシングおよび心室中隔ペーシングの有効性についての検討
渡部徹也
第59回日本心臓病学会総会 2011.9.23-25 神戸市

- 当院における腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術（EVAR）の初期および中期成績
土肥智晴
第59回日本心臓病学会総会 2011.9.23-25 神戸市

- 重症虚血肢患者において最終血管造影から大切断回避予測は可能か？
佐藤 圭
第16回神戸Podiatryミーティング 2011.10.1 神戸市

- 各種ステント留置後の血管内視鏡所見
栗田政樹
第25回日本心臓血管内視鏡学会 2011.10.8 京都市

- J-tip ワイヤーによる内腸骨動脈穿孔に対してコイル塞栓術にて救命しえた 1例
佐藤 圭
第36回近畿心血管イメージング研究会 2011.10.15 大阪市

- 急性冠症候群に対する遠位塞栓予防用フィルターを併用したPCI施行時のfilter no-reflow現象の予測因子の検討
栗田政樹
第39回日本救急医学会 2011.10.18-20 東京都

- 膝下血管単独病変を有するRutherford6の重症虚血肢の大切断の因子
岡本 慎
第52回日本脈管学会総会 2011.10.20-22 岐阜市

● 大腿膝窩動脈TASC C/D病変に対するナイチノールステント併用血管内治療の5年成績

土肥智晴
第52回日本脈管学会総会 2011.10.20-22 岐阜市

● 膝下動脈領域に対する金属ステント留置の有用性

南都清範
第52回日本脈管学会総会 2011.10.20-22 岐阜市

● アミオダロンおよびシベンゾリンにて高度肝機能障害を認めた重症心不全の1例

渡部徹也
第112回日本循環器学会近畿地方会 2011.11.26 京都市

● 大量栓子を補足したPCI用遠位保護フィルターを回収するのにCakatteが有用であった1例

栗田政樹
第112回日本循環器学会近畿地方会 2011.11.26 京都市

● 慢性維持透析を合併した重症虚血肢患者に対する血管内治療後大切断規定因子の検討

飯田 修
第112回日本循環器学会近畿地方会 2011.11.26 京都市

● 320列CTによる冠動脈CTの画質に影響する因子の検討

世良英子
第112回日本循環器学会近畿地方会 2011.11.26 京都市

● 当院におけるSPP(皮膚還流圧)測定

岡本 慎
第112回日本循環器学会近畿地方会 2011.11.26 京都市

● 拡張型心筋症と診断されていたが、心房細動アブレーションにより心機能改善を認めた1症例

田中宣暁
第112回日本循環器学会近畿地方会 2011.11.26 京都市

● 大腿膝窩動脈TASC C/D病変に対するナイチノールステント併用血管内治療の6年成績

土肥智晴
第112回日本循環器学会近畿地方会 2011.11.26 京都市

● 重症心不全に対し経皮的心肺補助(PCPS)を使用し救命しえた1例

三嶋 剛
第112回日本循環器学会近畿地方会 2011.11.26 京都市

● 膝下動脈慢性閉塞病変に対し両方向性アプローチにて血管内治療を施行した2症例

南都清範
第112回日本循環器学会近畿地方会 2011.11.26 京都市

● ギタロリムス溶出性ステント留置後の再狭窄規定因子の検討

水上雪香
第112回日本循環器学会近畿地方会 2011.11.26 京都市

● 高位前脛骨動脈穿刺にて、右総腸骨動脈起始部から膝下動脈までの閉塞性病変に対し血行再建に成功した1例

飯田卓馬
第112回日本循環器学会近畿地方会 2011.11.26 京都市

● 重症虚血肢患者における足関節上腕血圧比の偽陰性予測因子について

飯田卓馬
第112回日本循環器学会近畿地方会 2011.11.26 京都市

● 独歩にて来院した心室中隔穿孔の1例

飯田卓馬
第112回日本循環器学会近畿地方会 2011.11.26 京都市

● 膝下動脈に対するバルーン治療後の血管造影による再狭窄評価

白記達也
第112回日本循環器学会近畿地方会 2011.11.26 京都市

● 心房細動を伴う薬物治療抵抗性拡張型心筋症に対しカテーテルアブレーションが奏功した1例

神田貴史
第112回日本循環器学会近畿地方会 2011.11.26 京都市

● 膝下単独病変に対する血管内治療後の虚血解除(SPP 40mmHg)の予測因子

佐藤 圭
第112回日本循環器学会近畿地方会 2011.11.26 京都市

講演会やテレビ出演

● 講師

栗田政樹
CHINA INTERVENTIONAL THERAPEUTICS2011 2011.3.16-19
Beijing,China

● 内視鏡から見た各種DESの新生内膜についての考察

石原隆行
EuroPCR2011 Medtronic Japan Closed Session 2011.5.18 Paris,France

● 経皮的肺動脈弁形成術を施行した成人の先天性肺動脈弁狭窄症の1例

水上雪香
第2回西宮心不全を考える会 2011.1.29 西宮市

● 重症虚血肢に対する血管内治療での挑戦

飯田 修
第31回新都心脂質・動脈硬化研究会 2011.2.18 東京都

● 下肢動脈疾患の予防と治療を考える(講師)

飯田 修
Expert Meeting 2011.3.3 尼崎市

● 「全身でおこる動脈硬化」症例、危険性、早期発見の方法、予防法などについて(3月23日号掲載)

飯田 修
読売ファミリーによる取材 2011.3.23 尼崎市

● 第2世代DESのエビデンスを臨床に活かす

栗田政樹
X-pert Forum 2011.5.13 神戸市

● PCI術前に施行した冠動脈CT検査が有用であった2症例

石原隆行
第33回武庫川循環器集会 2011.5.14 尼崎市

● 糖尿病合併下肢閉塞性動脈硬化症の血管内治療

岡本 慎
第14回阪神糖尿病談話会 2011.5.14 尼崎市

● 当院における320列CT検査の現状 -全身動脈硬化症疾患への活用-

世良英子
第33回武庫川循環器集会 2011.5.14 尼崎市

● 下肢閉塞性動脈硬化症に対する治療

岡本 慎
阪神下肢病変セミナー 2011.5.16 西宮市

● パネルディスカッション「新しい抗凝固療法への期待」

渡部徹也
阪神地区 AF Summit 2011.5.21 尼崎市

● 末梢動脈疾患の診断と治療

岡本 慎
アドバイザー研修会 2011.5.26 西宮市

● 重症虚血肢に対する血管内治療での挑戦

飯田 修
第33回糖尿病足病変研究会 2011.6.25 東京都

● PADに対する最近のアプローチ

飯田 修
社会保険中京病院 地域連携循環器研究会 2011.7.8 名古屋市

● 下肢閉塞性動脈硬化症に対する血管内治療での挑戦

飯田 修
第13回くすのき・さつき循環器カンファレンス 2011.7.9 守口市

● 内視鏡所見から考える各種DESの安全性の検討

栗田政樹
Abbott Vascular X-pert Forum in 奈良 2011.7.15 奈良市

● CS-747S 第Ⅲ相試験 概要説明/追加調査(血管内視鏡)の評価

栗田政樹
CS-747S 第Ⅲ相臨床試験 追加調査検討会 2011.7.22 大阪市

● 浅大腿動脈領域に対する血管内治療

飯田 修
PADセミナー：浅大腿動脈領域に対する治療戦略 2011.8.5 松山市

● DESの問題点と課題-内視鏡の観点から-

栗田政樹
X-pert Forum 2011.8.13 岡山市

● 末梢動脈疾患治療の最前線

飯田 修
第6回Japan Endovascular therapy Symposium 2011.8.26 東京都

● エベロリムス溶出性ステント留置後8ヶ月時点の新生内膜被覆性状：血管内視鏡による検討

栗田政樹
第9回冠動脈カタストロフィー研究会 2011.9.10 大阪市

● 総論(講師)

飯田 修
第3回かんろうハートカンファレンス 2011.8.27 西宮市

● 症例：重症虚血肢(講師)

岡本 慎
第3回かんろうハートカンファレンス 2011.8.27 西宮市

● 症例：腹部大動脈瘤

土肥智晴
第3回かんろうハートカンファレンス 2011.8.27 西宮市

● 症例：腎動脈

南都清範
第3回かんろうハートカンファレンス 2011.8.27 西宮市

● パイロット試験結果の報告とPOC試験計画の検討

上松正朗
心筋虚血再灌流障害抑制薬(TY-51924) 研究会 2011.9.16 東京都

● パイロット試験結果の報告とPOC試験計画の検討

栗田政樹
心筋虚血再灌流障害抑制薬研究会 2011.9.16 東京都

● 重症虚血肢の血管内治療

飯田 修
西濃抗血栓療法勉強会 2011.10.6 岐阜県

● 循環代謝のKOLから学ぶWEBセミナー

飯田 修
医師から医師へ伝えたいこと Webセミナー 2011.10.12 尼崎市

● 血管内視鏡所見より考えるPCI治療戦略

栗田政樹
日本心血管インターベンション治療学会 第26回東海北陸地方会
2011.10.14 名古屋市

● 「下肢血管拡張術」実施時における各種PTAデバイスの安全な使用方法および手技に関する指導(講師)

飯田 修
EVT Conference in Edogawa 2011.10.14 東京都

● Endeavor DESを用いた治療戦略の検討

栗田政樹
Endeavor Closed Session [Endeavor Hour] 2011.10.15 東京都

● 妊娠を契機に心房頻拍から心不全となった開心術後の1例

渡部徹也
カテーテル・アブレーション研究会 2011.10.20-22 横浜市

● 内視鏡所見から見たNoboriへの期待

栗田政樹
日本心血管インターベンション治療学会 近畿地方会 2011.10.22 豊中市

● 右冠動脈分岐部に留置したステントの慢性期内視鏡所見-見えすぎちゃって困るの-

栗田政樹
第8回大阪冠疾患研究会 2011.10.29 大阪市

● 内視鏡所見より考えるXience-Vの安全性の検討

栗田政樹
Abbott Vascular X-pert Forum in Yonago 2011.11.2 鳥取県

● CS-747S 第Ⅲ相試験 現状報告/特定画像診断の評価、適応症、市販後臨床試験の検討(講師)

栗田政樹
Presugrel Japanese Advisory Committee Meeting 2011.11.8
San Francisco, CA

● 内視鏡から考えるXienceVの有用性

栗田政樹
X-Pert Forum The First Report of The RESET trial in Japan 2011.11.19
仙台市

● Resolute Japanを中心とした国内外臨床試験データに関する意見交換

栗田政樹
Resolute Integrity Medical Expert Meeting 2011.11.24 東京都

● 第2世代DESは第一世代DESを超えられるか？内視鏡による考察

栗田政樹
第6回東京YES Club 2011.11.24 東京都

● DES summit「内視鏡より考える各種DESの使い分け」

栗田政樹
第2回会津心臓病・心血管疾患研究会 2011.11.25-26 福島県

● 心房細動発症予防を見据えたペースメーカー治療

渡部徹也
第8回阪神心臓病臨床談話会 2011.12.8 尼崎市

● 重症虚血肢に対する血管内治療での挑戦

飯田 修
第6回井笠地区画像診断・治療勉強会 2011.12.15 岡山県

● 膝下動脈に対する血管内治療の“光”と“影”

飯田 修
第3回神戸CLIカンファレンス 2011.12.17 神戸市

主催研究会

●
飯田 修、岡本 慎、土肥智晴、南都清範
第3回かんろうハートカンファレンス 2011.8.27 西宮市

環境医学研究センター シックハウス診療科

学会報告

- 特発性環境不耐症患者における発症経過などの検討

平田 衛、吉田辰夫
第59回職業・災害医学会 2011.11.12 東京都

- 当センターのシックハウス症候群の現状と傾向について

吉田辰夫、平田 衛
第59回職業・災害医学会 2011.11.12 東京都

講演会やテレビ出演

- 職場における化学物質による健康障害 -シックハウス外来も含めて-

平田 衛
2011年関労クラブ講演会 2011.10.22 尼崎市

心療内科・精神科

学会報告

- アルツハイマー型認知症の進行を予測するバウムテストにおける指標の検討

黒瀬直子
第52回日本心身医学会総会ならびに学術講演会 2011.6.9 横浜市

講演会やテレビ出演

- 職場におけるメンタルヘルス

辻本 浩
尼崎市しごと支援課 研修会 2011.1.20,21 尼崎市

- せん妄 コミュニケーション

辻本 浩
近畿中央病院 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会 2011.1.30 伊丹市

- 認知症の診療

梅田幹人
第一三共(株) 講習会 2011.2.9 尼崎市

- 気持ちのつらさ せん妄 コミュニケーション

辻本 浩
関西労災病院 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会 2011.2.20 尼崎市

- 職場のメンタルヘルス

梅田幹人
加古川労働基準監督署 講演会 2011.3.4 加古川市

- 職場のメンタルヘルス対策

辻本 浩
尼崎市医師会 産業医研修会 2011.3.6 尼崎市

- 職場のメンタルヘルス

梅田幹人
大阪社会保険労務士会 研修会 2011.3.11 大阪市

- 精神医学を学ぶ -統合失調症-

辻本 浩
日本産業カウンセラー協会関西支部 会員研修 2011.3.12 大阪市

- ストレス関連障害と不安障害

梅田幹人
日本産業カウンセラー協会関西支部 研修会 2011.3.19 大阪市

- 気持ちのつらさ せん妄

辻本 浩
大阪赤十字病院 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会 2011.4.17 大阪市

● 認知症の診療

梅田幹人
武田製薬(株) 講習会 2011.4.20 尼崎市

● 抗うつ薬の使い方

辻本 浩
神戸西ブロック薬学研修会 2011.4.23 神戸市

● 障害受容とコミュニケーション

辻本 浩
兵庫県歯科衛生士尼崎支部 研修会 2011.5.8 神戸市

● 抗精神病薬の変更などの事例検討会

辻本 浩
大塚製薬株式会社 社内研修会 2011.5.30 神戸市

● 気持ちのつらさ せん妄 コミュニケーション

辻本 浩
市立伊丹病院 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会 2011.6.12 伊丹市

● 職場におけるメンタルヘルスの基礎知識(一般職員向け)

辻本 浩
神戸製鋼所茨木工場 職員研修会① 2011.6.15 茨木市

● 認知症の診療

梅田幹人
阪神認知症カンファレンス 2011.6.29 尼崎市

● がん患者などに見られる「気持ちのつらさ」

辻本 浩
関西臨床腫瘍研究会夏季総会 2011.7.2 大阪市

● 気持ちのつらさ せん妄 コミュニケーション

辻本 浩
兵庫県立西宮病院 がん診療に携わる医師に対する 緩和ケア研修会 2011.7.10 西宮市

● 気持ちのつらさ せん妄 コミュニケーション

辻本 浩
国立神戸医療センター がん診療に携わる医師に対する 緩和ケア研修会 2011.7.18 神戸市

● 職場におけるメンタルヘルスの基礎知識(中堅職員向け)

辻本 浩
神戸製鋼所茨木工場 職員研修会② 2011.7.20 茨木市

● 重い病にある患者さんの精神面の問題

辻本 浩
宝塚在宅医療研修会 2011.7.23 宝塚市

● コミュニケーション

辻本 浩
大阪労災病院 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会 2011.8.21 堺市

● コミュニケーション

辻本 浩
市立西脇病院 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会 2011.8.28 西脇市

● 職場におけるメンタルヘルスの基礎知識

辻本 浩
島根県メンタルヘルスケア研修会 2011.9.15 島根県

● 気持ちのつらさ せん妄 コミュニケーション

辻本 浩
宝塚市立病院 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会 2011.9.18 宝塚市

● 職場におけるメンタルヘルスの基礎知識

辻本 浩
尼崎市職員 研修会 2011.9.20 尼崎市

● 職場におけるメンタルヘルスの基礎知識(中堅職員向け)

辻本 浩
神戸製鋼所茨木工場 職員研修会③ 2011.9.21 茨木市

● 職場のメンタルヘルス

梅田幹人
薬業保険組合 メンタルヘルス講演会 2011.9.26 大阪市

● 職場におけるメンタルヘルスの基礎知識

辻本 浩
京都滋賀産業保健推進センター 産業医研修会 2011.10.14 京都市

● 認知症の診療

梅田幹人
ノバルティスファーマ(株) 講習会 2011.10.14 神戸市

● 気持ちのつらさ せん妄 コミュニケーション

辻本 浩
兵庫県立がんセンター がん診療に携わる医師に対する 緩和ケア研修会 2011.10.16 明石市

● 職場のメンタルヘルス

梅田幹人
日新信用金庫 メンタルヘルス講演会 2011.10.17 明石市

● 職場におけるメンタルヘルスの基礎知識(管理職員向け)

辻本 浩
神戸製鋼所茨木工場 職員研修会④ 2011.10.19 茨木市

● 職場におけるメンタルヘルスの基礎知識 (管理職員向け)

辻本 浩
神戸製鋼所茨木工場 職員研修会⑤ 2011.10.19 茨木市

● 職場におけるメンタルヘルス -うつ病や適応障害にどう対応するか-

辻本 浩
兵庫県医師会 産業医研修会 2011.10.30 尼崎市

● 職場内メンタルヘルスの基礎知識 -互いに支え合う職場づくり-

辻本 浩
松江赤十字病院メンタルヘルスケア研修会 2011.11.2 松江市

● 職場のメンタルヘルス

梅田幹人
尼崎労働基準監督署 講演会 2011.11.11 尼崎市

● 職場のメンタルヘルス ハラスメントに伴う心理的負荷による精神障害等の労災事案とその対策

梅田幹人
大阪社会保険労務士会 研修会 2011.11.11 大阪市

● 気持ちのつらさ せん妄 コミュニケーション

辻本 浩
社会保険神戸中央病院 がん診療に携わる医師に対する 緩和ケア研修会
2011.11.13 神戸市

● 重い病にある患者さんの精神面の問題

辻本 浩
姫路家庭医療研究会 2011.11.17 姫路市

● 職場におけるメンタルヘルスの基礎知識

辻本 浩
中央労働災害防止協会 大阪労働衛生総合センター 2011.12.15 大阪市

● がん患者の気持ちのつらさと患者を支える医療者のつらさを考える

辻本 浩
神戸中央市民病院緩和ケアチーム研修会 2011.12.20 神戸市

主催研究会



梅田幹人
阪神認知症談話会 2011.1.27 尼崎市

小 児 科

論文・著書

● Soluble rhesus lymphocryptovirus gp350 protects against infection and reduces viral loads in animals that become infected with virus after challenge

Sashihara J, Hoshino Y, Bowman JJ, Krogmann T, Burbelo PD, Coffield VM, Kamrud K, Cohen JI
PLoS Pathog 7(10):e1002308,2011

講演会やテレビ出演

● 感染症 最近のトピックス

指原淳志
第42回リカレントセミナー 2011.10.16 神戸市

外科

論文・著書

- Multi-center phase II study of FLOX for advanced colorectal cancer patients in Japan: SWIFT 3 study

Kato T, Nagata N, Fujii M, Takemoto H, Kondo K, Okuyama Y, Tominaga H, Sakamoto J, Mishima H
Anticancer Res 31:4657-4664,2011

- Lymph node dissection in curative gastrectomy for advanced gastric cancer

Tamura S, Takeno A, Miki H
Int J Surg Oncol 2011;748745,2011

- The importance of evaluation of DNA amplifiability in KRAS mutation testing with dideoxy sequencing using formalin-fixed and paraffin-embedded colorectal cancer tissues

Okayama N, Nishioka M, Hazama S, Sakai K, Suehiro Y, Maekawa M, Sakamoto J, Iwamoto S, Kato T, Mishima H, Oka M, Hinoda Y
Jpn J Clin Oncol 41(2):165-171,2011

- Prospective phase II study of FOLFIRI for mCRC in Japan, including the analysis of UGT1A1 28/6 polymorphisms

Okuyama Y, Nozawa H, Kobayashi M, Takahashi K, Fujikawa K, Kato T, Nagata N, Kimura H, Oba K, Sakamoto J, Mishima H
Jpn J Clin Oncol 41(4):477-482,2011

- Phase II feasibility study of adjuvant S-1 plus docetaxel for stage III gastric cancer patients after curative D2 gastrectomy

Tamura S, Fujitani K, Kimura Y, Tsuji T, Matsuyama J, Iijima S, Imamura H, Inoue K, Kobayashi K, Kurokawa Y, Furukawa H;
Osaka Gastrointestinal Cancer Chemotherapy Study Group
Oncology 80:296-300,2011

- 医療材料の臨床ニーズ集 癒着防止材

加藤健志
医療材料 209-215,2011

- 副作用対策のコツとピットフォール 皮膚障害

柄川千代美
外来癌化学療法 2(2):108-109,2011

- 外来化学療法における副作用対策

瀧内比呂也、田村研治、加藤健志
外来癌化学療法 2(1):9-14,2011

- 胃癌脳転移の治療成績

田村茂行、竹野 淳、三木宏文、内山千恵子、金村剛志、小野寿子、濱中美千子、鈴木 玲、中平 伸、中田 健、武田 裕
癌と化学療法 38(12):2093-2096,2011

- 肝外転移を有さない肝細胞癌に対しソラフェニブを投与した3例

武田 裕、中平 伸、竹野 淳、鈴木 玲、中田 健、柄川千代美、岡村 修、三木宏文、加藤健志、高塚雄一、田村茂行
癌と化学療法 38(12):2496-2498,2011

- 当院における再肝切除症例に対する完全腹腔鏡下肝切除術

中平 伸、武田 裕、革島洋志、向井洋介、濱中美千子、小野寿子、内山千恵子、金村剛志、竹野 淳、鈴木 玲、中田 健、三木宏文、岡村 修、加藤健志、田村茂行
癌と化学療法 38(12):2478-2480,2011

- 幽門狭窄を伴う切除不能胃癌に対するWallflex Stent留置術の経験

竹野 淳、田村茂行、三木宏文、革島洋志、向井洋介、濱中美千子、小野寿子、内山千恵子、金村剛志、鈴木 玲、中平 伸、中田 健、岡村 修、武田 裕、加藤健志
癌と化学療法 38(12):2134-2136,2011

- S-1単独療法でPD後、五次治療のS-1/CDDP併用療法が著効した胃癌術後肝転移の1例

宇治公美子、田村茂行、竹野 淳、三木宏文、金村剛志、柳井亜矢子、小林政義、吉岡康多、寺本敦子、中平 伸、鈴木 玲、中田 健、柄川千代美、岡村 修、杉本圭司、高塚雄一
癌と化学療法 38(10):1691-1694,2011

- Paget病に類似する所見を呈し、乳頭に限局した浸潤性乳管癌の1例

小野寿子、内山千恵子、柳井亜矢子、柄川千代美、中塚伸一、高塚雄一
手術 65(11):1711-1915,2011

- 【1ページイラストでわかる!看護がわかる!消化器外科ナースのための手術以外の治療と検査】消化管ステント留置術

田村茂行
消化器外科Nursing 16 (9):872-875,2011

- 【1ページイラストでわかる!看護がわかる!消化器外科ナースのための手術以外の治療と検査】内視鏡的拡張術

田村茂行
消化器外科Nursing 16(9):876-879,2011

- 【1ページイラストでわかる!看護がわかる!消化器外科ナースのための手術以外の治療と検査】PEG（経皮内視鏡的胃瘻造設術）

田村茂行
消化器外科Nursing 16(9):868-871,2011

- 【なぜ必要かがわかる!患者説明のポイントがわかる!!ナースのための術前術後&がん化学療法時の検査】(4章) 化学療法に関する検査 従来型抗がん剤

加藤健志
消化器外科Nursing 16(8):808-810,2011

- 難治性のストーマ脱出に対し、腹腔鏡補助下に脱出腸管切除を行なった1例

中田 健、鈴木 玲、渡邊光子、大城繭子、進藤敦美、岡村 修
STOMA WOUND & CONTINENCE 18(1):19-21,2011

- わかる!できる! クリニカルパス 基本と実践 DPC時代で
活かすクリニカルパス

田村茂行
日本クリニカルパス学会誌 13(3):214-217,2011

- 【消化管がん薬物療法】Review話題の臨床試験を検証
する NO147試験 大腸がん化学療法 大腸がん補助化学
療法に対するEGFR阻害薬上乗せの検討 セツキシマブは
大腸がん補助化学療法に対して無効なのか?

加藤健志
臨床腫瘍プラクティス 別冊:12-17,2011

学会報告

- Usefulness of staging laparoscopy for patients with
cT3 gastric cancer

Tamura S, Takeno A, Miki H, Uchiyama C, Kanemura T, Ono H,
Suzuki R, Nakahira S, Nakata K, Okamura S, Takeda Y
9th International Gastric Cancer Congress 2011.4.20-23 Seoul, Korea

- Indications for palliative gastrojejunostomy for
unresectable gastric cancer with gastric outlet
obstruction

Takeno A, Tamura S, Miki H, Kawashima H, Mukai Y, Hamanaka M,
Ono H, Kanemura T, Uchiyama C, Nakahira S, Suzuki R, Nakata K,
Takeda Y, Kato T
9th International Gastric Cancer Congress 2011.4.20-23 Seoul, Korea

- Review of the treatment outcome of gastric
neuroendocrine carcinoma

Uchiyama C, Tamura S, Miki H, Takeno A, Ono H, Kanemura T,
Kobayashi M, Yoshioka Y, Nakahira S, Suzuki R, Nakata K,
Okamura S, Takeda Y, Takatsuka Y
9th International Gastric Cancer Congress 2011.4.20-23 Seoul, Korea

- Factors associated with conversion in laparoscopic
appendectomy

Suzuki R, Nakata K, Okamura S, Takeno A, Nakahira S, Miki H,
Takeda Y, Tamura S
19th International Congress for the European Association of
Endoscopic Surgery 2011.6.15-18 Torino, Italia

- 異時性肝転移切除後、6年無再発生存の下行結腸
gastrointestinal stromal tumor (GIST) の1例

三宅泰裕、加藤健志、吉川宣輝
第74回大腸癌研究会 2011.1.21 福岡市

- 食道癌に対する化学放射線治療時における胃瘻造設下の
栄養管理の効果について

田村茂行、竹野 淳、三木宏文、吉岡康多、小林政義、鈴木 玲、
中平 伸、中田 健、岡村 修、武田 裕
第26回日本静脈経腸栄養学会 2011.2.17-18 名古屋市

- 周術期経口補水療法を用いた胃切パズ導入の効果

竹野 淳、田村茂行、三木宏文、小野寿子、内山千恵子、金村剛志、
柳井亜矢子、小林政義、吉岡康多、鈴木 玲、中平 伸、中田 健、
岡村 修、武田 裕
第26回日本静脈経腸栄養学会 2011.2.17-18 名古屋市

- CY(+) 胃癌に対する治療戦略 P0&CY1 胃癌に対する治
療法の選択

田村茂行、竹野 淳、三木宏文、小野寿子、内山千恵子、金村剛志、
小林政義、吉岡康多、鈴木 玲、中平 伸、中田 健、岡村 修、武田 裕
第83回日本胃癌学会総会 2011.3.3-5 青森市

- Staging Laparoscopy cT3 胃癌症例に対する腹腔鏡検査
の有用性

田村茂行、竹野 淳、三木宏文、小野寿子、内山千恵子、金村剛志、
小林政義、吉岡康多、鈴木 玲、中平 伸、中田 健、岡村 修、武田 裕
第83回日本胃癌学会総会 2011.3.3-5 青森市

- 経口摂取不能進行胃癌患者に対する 緩和的胃空腸バイ
パス手術の位置づけ

竹野 淳、田村茂行、三木宏文、小野寿子、内山千恵子、金村剛志、
柳井亜矢子、小林政義、吉岡康多、鈴木 玲、中平 伸、中田 健、
岡村 修、武田 裕
第83回日本胃癌学会総会 2011.3.3-5 青森市

- 胃内内分泌細胞癌の治療成績の検討

内山千恵子、田村茂行、三木宏文、竹野 淳、小野寿子、小林政義、
吉岡康多、中平 伸、鈴木 玲、中田 健、岡村 修、高塚雄一
第83回日本胃癌学会総会 2011.3.3-5 青森市

- 大腸がん肝転移に対し、Panitumumabが著効した1例

中田 健、鈴木 玲、岡村 修、小野寿子、内山千恵子、金村剛志、
柳井亜矢子、小林政義、吉岡康多、竹野 淳、中平 伸、三木宏文、
武田 裕、田村茂行
阪神地区大腸癌エキスパートミーティング 2011.3.4 尼崎市

- 乳癌原発巣と脳転移における免疫組織学的染色の比較検
討

柄川千代美、柳井亜矢子、内山千恵子、小野寿子、中塚伸一、
木村勇人、永野輝明、高塚雄一
第111回日本外科学会定期学術集会 紙上開催 2011.5.25

- 胃癌の症例提示

竹野 淳、田村茂行、三木宏文、小野寿子、内山千恵子、金村剛志、
柳井亜矢子、小林政義、吉岡康多、中平 伸、鈴木 玲、中田 健、
岡村 修、武田 裕
第399回大阪胃研究会 2011.3.9 大阪市

- 周術期経口補水療法を用いた胃切パズ導入の効果

竹野 淳、三木宏文、柳千恵子、朝岡 哲、芝原裕和、長尾美恵、
大西淑美、大山淳子、田村茂行
第14回兵庫NST研究会 2011.6.4 神戸市

- 傍ストマヘルニアを腹腔鏡下に修復した1例

濱中美千子、中田 健、革島洋志、向井洋介、小野寿子、内山千恵子、
金村剛志、竹野 淳、中平 伸、鈴木 玲、三木宏文、武田 裕、
加藤健志、田村茂行
第189回近畿外科学会 2011.6.4 大阪市

- 腹部造影CTにて診断し得た上行結腸憩室出血の1例

向井洋介、中田 健、革島洋志、濱中美千子、小野寿子、内山千恵子、
金村剛志、竹野 淳、中平 伸、鈴木 玲、三木宏文、武田 裕、
加藤健志、田村茂行
第189回近畿外科学会 2011.6.4 大阪市

●主膵管内微小病変に対する膵管内超音波検査(IDUS)補助によるERCP下生検を施行したIPMNの2例

中平 伸、武田 裕、小野寿子、内山千恵子、金村剛志、柳井亜矢子、
小林政義、吉岡康多、竹野 淳、鈴木 玲、中田 健、三木宏文、
岡村 修、田村茂行、高塚雄一
第23回日本肝胆膵外科学会学術集会 2011.6.9 東京都

●胃癌脳転移の治療成績

田村茂行、竹野 淳、三木宏文、内山千恵子、金村剛志、小野寿子、
濱中美千子、鈴木 玲、中平 伸、中田 健、武田 裕
第33回日本癌局所療法研究会 2011.6.10 堺市

●肝外転移を有さない肝細胞癌に対しSorafenibを投与した3例

武田 裕、中平 伸、竹野 淳、鈴木 玲、中田 健、柄川千代美、
岡村 修、三木宏文、田村茂行、高塚雄一
第33回日本癌局所療法研究会 2011.6.10 堺市

●当院における再肝切除症例に対する完全腹腔鏡下肝切除術

中平 伸、武田 裕、小野寿子、内山千恵子、金村剛志、柳井亜矢子、
小林政義、吉岡康多、竹野 淳、鈴木 玲、中田 健、三木宏文、
岡村 修、田村茂行、高塚雄一
第33回日本癌局所療法研究会 2011.6.10 堺市

●幽門狭窄を伴う切除不能胃癌に対するWallflex Stent留置術の経験

竹野 淳、三木宏文、革島洋志、向井洋介、濱中美千子、小野寿子、
内山千恵子、金村剛志、鈴木 玲、中平 伸、中田 健、岡村 修、
武田 裕、加藤健志、田村茂行
第33回日本癌局所療法研究会 2011.6.10 堺市

●肝細胞癌を含む三重複癌の1例

内山千恵子、武田 裕、中平 伸、小野寿子、小林政義、吉岡康多、
竹野 淳、鈴木 玲、中田 健、岡村 修、三木宏文、田村茂行、
高塚雄一
第23回日本肝胆膵外科学会 2011.6.10 東京都

●癌性・難治性の腸管皮膚瘻・腹壁潰瘍底に大血管が穿破した1例

中田 健、鈴木 玲、渡邊光子、大城蘭子、進藤敦美、岡村 修
第53回関西STOMA研究会 2011.6.11 堺市

●著しい高マグネシウム血症を呈し、緊急透析を要した直腸癌の1例

長谷川正宇、内山千恵子、木村良紀、青木克憲、依藤秀樹、富田弘道、
金子哲也、加藤健志、田村茂行、和泉雅章
日本腎臓学会 2011.6.15 横浜市

●消化器外科における内視鏡手術-腹腔鏡下肝切除術-

武田 裕、中平 伸、竹野 淳、鈴木 玲、中田 健、柄川千代美、
岡村 修、三木宏文、田村茂行、高塚雄一
第36回日本外科系連合学会学術集会 2011.6.16-17 千葉県

●Stage4大腸癌治癒切除症例の検討

中田 健、鈴木 玲、加藤健志、向井洋介、革島洋志、濱中美千子、
小野寿子、内山千恵子、金村剛志、竹野 淳、中平 伸、三木宏文、
武田 裕、田村茂行
第75回大腸癌研究会 2011.7.8 東京都

●緩和ストーマ

中田 健、鈴木 玲、加藤健志、向井洋介、革島洋志、濱中美千子、
小野寿子、内山千恵子、金村剛志、竹野 淳、中平 伸、三木宏文、
武田 裕、田村茂行
第33回関西ストーマケア講習会兵庫ブロック 2011.7.9 神戸市

●高齢者胃癌症例に対する早期経口摂取による術後せん妄の防止効果について

竹野 淳、田村茂行、三木宏文、小野寿子、濱中美千子、内山千恵子、
金村剛志、柳井亜矢子、小林政義、吉岡康多、鈴木 玲、中平 伸、
中田 健、岡村 修、武田 裕、加藤健志
第66回日本消化器外科学会総会 2011.7.13-15 名古屋市

●High risk症例の胃全摘術における術後の合併症対策 腸ろう増設術と早期の経腸栄養管理

田村茂行、三木宏文、竹野 淳、小林政義、吉岡康多、鈴木 玲、
中平 伸、中田 健、岡村 修、武田 裕
第66回日本消化器外科学会総会 2011.7.13-15 名古屋市

●大腸癌に対する術後補助化学療法の現状と問題点

加藤健志、三宅泰裕、加藤 文、阪本卓也、三代雅明、土井貴司、
星美奈子、間狩洋一、飯島正平、黒川英司
第66回日本消化器外科学会総会 2011.7.13-15 名古屋市

●当院における保険収載後の腹腔鏡下肝切除術

武田 裕、中平 伸、竹野 淳、鈴木 玲、中田 健、柄川千代美、
岡村 修、三木宏文、田村茂行、高塚雄一
第66回日本消化器外科学会総会 2011.7.13-15 名古屋市

●80歳以上の高齢者急性腹症手術後の経腸栄養について

鈴木 玲、中田 健、岡村 修、竹野 淳、中平 伸、三木宏文、
武田 裕、田村茂行
第66回日本消化器外科学会総会 2011.7.13-15 名古屋市

●手術部位感染(SSI)サーベイランスにおける肝胆膵手術手技細分化の必要性

中平 伸、清水潤三、宮本敦史、小林省吾、梅下浩司、伊藤壽記、
門田守人、土岐祐一郎、森 正樹
第66回日本消化器外科学会総会 2011.7.13-15 名古屋市

●転移性肝癌との鑑別に苦慮した胃癌肝細胞癌重複癌の検討

内山千恵子、田村茂行、竹野 淳、三木宏文、金村剛志、中平 伸、
鈴木 玲、中田 健、岡村 修、武田 裕
第66回日本消化器外科学会総会 2011.7.13-15 名古屋市

●切れ目のない緩和ケアを目指して(がん告知時から開始する緩和ケアの試み)

加藤健志、加藤里香、中谷裕子、三宅泰裕、飯島正平
日本緩和医療学会学術大会 2011.7.29 札幌市

●市中病院におけるがん診断時カウンセリングの現状と問題点

加藤理香、中谷裕子、加藤健志、吹田智子、三宅泰裕、山口充洋、
辻尾一郎、飯島正平
日本緩和医療学会学術大会 2011.7.29 札幌市

● 当院における閉経前進行再発乳癌におけるLH-RHアナログ+アロマターゼ阻害薬の治療成績

柄川千代美、柳井亜矢子、内山千恵子、小野寿子、高塚雄一
第19回日本乳癌学会学術総会 2011.9.2-4 仙台市

● 先端巨大症を合併した若年性乳癌の1例

小野寿子、内山千恵子、金村剛志、柳井亜矢子、柄川千代美、高塚雄一
第19回日本乳癌学会学術総会 2011.9.2-4 仙台市

● HER2陽性・進行再発乳癌に対するラパチニブ+カペシタビン療法

内山千恵子、柄川千代美、小野寿子、柳井亜矢子、高塚雄一
第19回日本乳癌学会学術総会 2011.9.2-4 仙台市

● 胆嚢結石合併総胆管結石に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術・総胆管結石摘出術

武田 裕、中平 伸、竹野 淳、鈴木 玲、中田 健、柄川千代美、
岡村 修、三木宏文、田村茂行、高塚雄一
第47回日本胆道学会学術集会 2011.9.16-17 宮崎市

● 当院における腹腔鏡下胆嚢摘出術修練カリキュラムの工夫

中平 伸、武田 裕
第47回日本胆道学会学術集会 2011.9.17 宮崎市

● リンパ節転移を伴う食道癌に対する術前化学療法としてのFAP治療の可能性

田村茂行、竹野 淳、三木宏文、金村剛志、内山千恵子、鈴木 玲、
中平 伸、中田 健、岡村 修、武田 裕
第47回日本胆道学会学術集会 2011.9.17 宮崎市

● 当院における高度進行・再発食道癌に対するTXT/CDDP/5FU併用療法(DCF療法)の治療成績の検討

竹野 淳、田村茂行、三木宏文、小野寿子、内山千恵子、金村剛志、
柳井亜矢子、小林政義、吉岡康多、中平 伸、鈴木 玲、中田 健、
岡村 修、武田 裕
第65回日本食道学会学術集会 2011.9.26 仙台市

● XELOX+アバスタチンの使用経験

中田 健、鈴木 玲、加藤健志、向井洋介、革島洋志、濱中美千子、
小野寿子、内山千恵子、金村剛志、竹野 淳、中平 伸、三木宏文、
武田 裕、田村茂行
消化器がんチーム医療研究会 2011.9.30 尼崎市

● 逆流防止手術を付加した噴門側胃切除術ー術後噴門形態とGERDー

田村茂行、竹野 淳、三木宏文、内山千恵子、金村剛志、鈴木 玲、
中平 伸、中田 健、武田 裕、加藤健志
第41回胃外科・術後障害研究会 2011.10.7-8 大阪市

● 腹腔鏡下肝切除術における工夫

武田 裕、中平 伸、竹野 淳、鈴木 玲、中田 健、三木宏文、
加藤健志、田村茂行
第24回近畿内視鏡外科研究会 2011.10.15 豊中市

● 腹腔鏡下脾体尾部切除の手技と今後

武田 裕、中平 伸、永野浩昭、江口英利、種村匡弘、和田浩志、
小林省吾、丸橋 繁、加藤健志、田村茂行、森 正樹、土岐祐一郎
第24回近畿内視鏡外科研究会 2011.10.15 豊中市

● 大腸癌に対する腹腔鏡手術中に開腹移行した症例の検討

中田 健、鈴木 玲、加藤健志、向井洋介、革島洋志、濱中美千子、
小野寿子、内山千恵子、金村剛志、竹野 淳、中平 伸、三木宏文、
武田 裕、田村茂行
第24回近畿内視鏡外科研究会 2011.10.15 大阪市

● 再肝切除症例に対する完全腹腔鏡下肝切除術の有用性

中平 伸、武田 裕、竹野 淳、鈴木 玲、中田 健、三木宏文、
加藤健志、田村茂行
第24回近畿内視鏡外科研究会 2011.10.15 大阪市

● 当院における食道良性機能性疾患に対する鏡視下手術の現状

竹野 淳、田村茂行、今本治彦、三木宏文、革島洋志、向井洋介、
濱中美千子、小野寿子、内山千恵子、金村剛志、中平 伸、鈴木 玲、
中田 健、武田 裕、加藤健志
第24回近畿内視鏡外科研究会 2011.10.15 大阪市

● 肝硬変症例に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術でソフト凝固が有効であった1例

革島洋志、中平 伸、武田 裕、向井洋介、濱中美千子、小野寿子、
内山千恵子、金村剛志、竹野 淳、鈴木 玲、中田 健、三木宏文、
加藤健志、田村茂行
第24回近畿内視鏡外科研究会 2011.10.15 大阪市

● 当院における腹腔鏡下肝切除術の導入における体位固定の取り組み

佐竹さおり、岡 妙子、才木 舞、今田優子、岩永千秋、武田 裕、
中平 伸、竹野 淳、鈴木 玲、中田 健、三木宏文、加藤健志、田村茂行
第24回近畿内視鏡外科研究会 2011.10.15 豊中市

● 胃切除術におけるERASプロトコルの効果ー周術期経口補水療法ー

田村茂行、竹野 淳、三木宏文
第9回DDW日本消化器外科学会大会 2011.10.20-23 福岡市

● 肝障害度B肝細胞癌に対する腹腔鏡下肝切除術

武田 裕、中平 伸、竹野 淳、鈴木 玲、中田 健、柄川千代美、
岡村 修、加藤健志、三木宏文、田村茂行、高塚雄一
第53回日本消化器病学会大会JDDW 2011.10.20-21 福岡市

● 幽門狭窄を伴う根治切除不能進行胃癌に対する 内視鏡下胃十二指腸ステント留置術の有効性試験

竹野 淳、瀧口修司、田村茂行、藤田淳也、今村博司、平尾素宏、
松山 仁、土岐祐一郎
第82回日本消化器内視鏡学会総会 2011.10.20-23 福岡市

● 再発乳癌に対するゲムシタビンの有効性および安全性の検討

沖代格次、小野寿子、内山千恵子、柄川千代美、高塚雄一
第49回日本癌治療学会学術集会 2011.10.27-29 名古屋市

●リンパ節転移を伴う食道癌に対するFAP(5-FU+CDDP+ADR)を用いた術前化学療法の成績

田村茂行、三木宏文、竹野 淳、内山千恵子、金村剛志、小野寿子、濱中美千子、向井洋介、革島洋志、鈴木 玲、中平 伸、中田 健、武田 裕、加藤健志
第49回日本癌治療学会学術集会 2011.10.27-29 名古屋市

●OGSG0901: L-OHP既治療KRAS野生型大腸癌のCPT+TS-1+Cmab療法第Ⅱ相試験の安全性評価

坂井大介、杉本直俊、加藤健志、徳永行彦、大辻俊雄、中江史朗、辻仲利政、瀧内比呂也、古河 洋
第49回日本癌治療学会学術集会 2011.10.27-29 名古屋市

●切除不能大腸癌に対するS-1/LV/L-OHP(SOL)療法とmFOLFOX6療法との第Ⅱ相比較試験

堤 莊一、山崎健太郎、尾嶋 仁、大辻俊雄、加藤健志、嶋田 顕、傳田忠道、江崎泰斗、兵頭一之介、朴 成和
第49回日本癌治療学会学術集会 2011.10.27-29 名古屋市

●大腸癌2次治療FOLFIRI+セツキシマブ(FLIER)におけるBRAF、PI3CA変異と治療効果の検討

松田 宙、岩本慈能、三宅泰裕、加藤健志、稲垣 均、合田文規、犬飼道雄、天貝賢二、玉川浩司、日野田裕治、岡山直子、岡 正朗、坂本純一、碓 彰一、三嶋秀行
第49回日本癌治療学会学術集会 2011.10.27-29 名古屋市

●全施設会議 施設報告

中平 伸、武田 裕
第2回肝胆膵疾患分科会 2011.11.4 大阪市

●噴門部早期胃癌に対する逆流防止手術を付加した食道胃吻合術

田村茂行、三木宏文、竹野 淳、向井洋介、革島洋志、濱中美千子、小野寿子、内山千恵子、金村剛志、中平 伸、鈴木 玲、中田 健、武田 裕、加藤健志
第73回日本臨床外科学会総会 2011.11.17-19 東京都

●がん拠点病院における大腸癌外来化学療法の現状と問題点

加藤健志、中田 健、鈴木 玲、中平 伸、竹野 淳、柄川千代美、沖代裕次、三木宏文、武田 裕、田村茂行、三宅泰裕、飯島正平、黒川英司
第73回日本臨床外科学会総会 2011.11.17-19 東京都

●腹腔鏡下肝切除術のトラブルシューティング

武田 裕、中平 伸、竹野 淳、鈴木 玲、中田 健、柄川千代美、岡村 修、三木宏文、加藤健志、高塚雄一、田村茂行
第73回日本臨床外科学会総会 2011.11.17-19 東京都

●センチネルリンパ節生検における微小転移、Isolet tumor cells症例の長期予後の検討

内山千恵子、柄川千代美、沖代裕次、小野寿子、濱中美千子、金村剛志、革島洋志、向井洋介、高塚雄一
第73回日本臨床外科学会総会 2011.11.17-19 東京都

●理想的な外科手術教育に求められるものとは？ 消化器外科医200名に対するアンケート結果

大西 直、前田 清、岡村 修、池田公正、三嶋秀行、森田俊治、金澤旭宣、玉川浩司、赤松大樹、岩本慈能、福永 睦、村田幸平、奥山正樹、長谷川順一、水野 均、加藤健志、大植雅之、藤井 眞、五福淳二、森口 聡、田中慶太郎
日本外科学会 2011.11.18 東京都

●肝・肺転移例に対する集学的治療 大腸癌肝転移症例に対する治療戦略

加藤健志、三宅泰裕、吉川宣輝、鈴木 玲、中田 健
第66回日本大腸肛門病学会学術集会 2011.11.25-26 東京都

●大腸癌の機械的腸管前処置を契機に発症した高マグネシウム血症の1例

内山千恵子、加藤健志、中田 健、鈴木 玲、三木宏文
第66回日本大腸肛門病学会学術集会 2011.11.25-26 東京都

●本邦における直腸癌術後の縫合不全に関する全国アンケート調査(第35回大腸疾患外科療法研究会アンケート調査結果)

榎本俊行、齊田芳久、高橋慶一、長谷川博俊、安野正道、猪股雅史、山口茂樹、赤木由人、浅野道雄、岩本慈能、加藤健志、金澤旭宣、小山 基、佐村博範、福永 睦、船橋公彦、山本浩文
第66回日本大腸肛門病学会学術集会 2011.11.25-26 東京都

●当院における肝切除成績向上への取り組みとSSI発生の関連性

中平 伸、武田 裕、革島洋志、向井洋介、濱中美千子、小野寿子、内山千恵子、金村剛志、竹野 淳、鈴木 玲、中田 健、三木宏文、加藤健志、田村茂行
第24回日本外科感染症学会総会学術集会 2011.12.1-2 三重県

●当院における下部消化管手術後SSI発生率と化学的前処置の関連性

濱中美千子、中平 伸、革島洋志、向井洋介、小野寿子、内山千恵子、金村剛志、竹野 淳、鈴木 玲、中田 健、三木宏文、武田 裕、加藤健志、田村茂行
第24回日本外科感染症学会総会学術集会 2011.12.1-2 三重県

●当院における胃癌予定手術のSSI発生率と関連因子の検討

革島洋志、中平 伸、武田 裕、向井洋介、濱中美千子、小野寿子、内山千恵子、金村剛志、竹野 淳、鈴木 玲、中田 健、三木宏文、加藤健志、田村茂行
第24回日本外科感染症学会総会学術集会 2011.12.1-2 三重県

●診断に難渋したビスフォスフォネート関連顎骨壊死の1例

小野寿子、柄川千代美、内山千恵子、沖代裕次、高塚雄一
第9回日本乳癌学会近畿地方会 2011.12.3 奈良市

●乳頭部皮膚に発生した悪性リンパ腫の1例

内山千恵子、沖代裕次、小野寿子、柄川千代美、高塚雄一、中塚伸一
第9回日本乳癌学会近畿地方会 2011.12.3 奈良市

●肝障害度B症例に対する腹腔鏡下肝切除術

武田 裕、中平 伸、竹野 淳、鈴木 玲、中田 健、柄川千代美、岡村 修、三木宏文、加藤健志、高塚雄一、田村茂行
第24回日本内視鏡外科学会総会 2011.12.7-9 大阪市

● 腹腔鏡下虫垂切除術における開腹移行に関連する因子の検討

鈴木 玲、中田 健、岡村 修、竹野 淳、中平 伸、三木宏文、
武田 裕、田村茂行
第24回日本内視鏡外科学会総会 2011.12.7-9 大阪市

● 再肝切除症例に対する完全腹腔鏡下肝切除術の有用性

中平 伸、武田 裕、革島洋志、向井洋介、濱中美千子、小野寿子、
内山千恵子、金村剛志、竹野 淳、鈴木 玲、中田 健、三木宏文、
加藤健志、田村茂行
第24回近畿内視鏡外科学研究会 2011.12.7 大阪市

● 横隔膜上食道憩室に対して腹腔鏡下手術を行った1例

竹野 淳、田村茂行、今本治彦、三木宏文、革島洋志、向井洋介、
濱中美千子、小野寿子、内山千恵子、金村剛志、中平 伸、鈴木 玲、
中田 健、武田 裕、加藤健志
第24回日本内視鏡外科学会総会 2011.12.7-9 大阪市

● ERASプロトコルを取り入れた幽門側胃切除術のパス改定

田村茂行、竹野 淳、三木宏文、内山千恵子、金村剛志、小野寿子、
濱中美千子、武田 裕、加藤健志
第12回日本クリニカルパス学会 2011.12.9-10 東京都

● 肝硬変症例に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術でソフト凝固が有効であった1例

革島洋志、中平 伸、武田 裕、向井洋介、濱中美千子、小野寿子、
内山千恵子、金村剛志、竹野 淳、鈴木 玲、中田 健、三木宏文、
加藤健志、田村茂行
第24回日本内視鏡外科学会総会 2011.12.9 大阪市

● 当院での腹壁癒痕ヘルニア手術症例の検討

中田 健、鈴木 玲、加藤健志、向井洋介、革島洋志、濱中美千子、
小野寿子、内山千恵子、金村剛志、竹野 淳、中平 伸、三木宏文、
武田 裕、田村茂行
第6回関西ヘルニア研究会 2011.12.10 大阪市

講演会やテレビ出演

● SABCS 2010 Review

柄川千代美
第7回Kansai Breast Cancer Expert Conference 2011.1.21 大阪市

● SABCS 2010 Topocs

柄川千代美
Osaka Breast Cancer Lecture Meeting 2011.1.25 大阪市

● CYP2D6遺伝子多型とタモキシフェンの治療効果

沖代格次
第21回Fukuoka Breast Cancer Innovators Meeting 2011.7.15 福岡市

整形外科・スポーツ整形外科

論文・著書

● Medium-term outcomes of C3-6 laminoplasty for cervical myelopathy: a prospective study with a minimum 5-year follow-up

Sakaura H, Hosono N, Mukai Y, Iwasaki M, Yoshikawa H
Eur Spine J 20(6):928-933,2011

● The results of a press-fit-only technique for acetabular fixation in hip dysplasia

Takao M, Nakamura N, Ohzono K, Sakai T, Nishii T, Sugano N
J Arthroplasty 26(4):562-568,2011

● Cementless modular total hip arthroplasty with subtrochanteric shortening osteotomy for hips with developmental dysplasia

Takao M, Ohzono K, Nishii T, Miki H, Nakamura N, Sugano N
J Bone Joint Surg Am 93:548-555,2011

● Incidence of postoperative symptomatic epidural hematoma in spinal decompression surgery

Aono H, Ohwada T, Hosono N, Tobimatsu H, Ariga K, Fuji T, Iwasaki M
J Neurosurg Spine 15(2):202-205,2011

● Patient satisfaction with surgery for cervical myelopathy due to ossification of the posterior longitudinal ligament

Fujimori T, Iwasaki M, Okuda S, Nagamoto Y, Sakaura H, Oda T, Yoshikawa H
J Neurosurg Spine 14(6):726-733,2011

● Foot drop caused by a lesion in the thoracolumbar spine

Miwa T, Iwasaki M, Miyauchi A, Okuda S, Oda T
J Spinal Disord Tech 24(3):E21-E25,2011

● Post-radiation fibromyxoid sarcoma of the cervical spine: a case report and review of the literature

Sakaura H, Myoi A, Hosono N, Iwasaki M, Yoshikawa H
J Spinal Surg 2(4):550-553,2011

● In vivo three-dimensional kinematics of the cervical spine during head rotation in patients with cervical spondylosis

Nagamoto Y, Ishii T, Sakaura H, Iwasaki M, Moritomo H, Kashii M, Hattori T, Yoshikawa H, Sugamoto K
Spine 36(10):778-783,2011

● Neurological complications of cervical laminoplasty for patients with ossification of the posterior longitudinal ligament: a multi-institutional retrospective study

Seichi A, Hoshino Y, Kimura A, Nakahara S, Watanabe M, Kato T, Atsushi O, Kotani Y, Mitsukawa M, Ijiri K, Kawahara N, Inami S, Chikuda H, Takeshita K, Nakagawa Y, Taguchi T, Yamazaki M, Endo K, Sakaura H, Uchida K, Kawaguchi Y, Neo M, Takahashi M, Harimaya K, Hosoe H, Imagama S, Taniguchi S, Ito Y, Kaito T, Chiba K, Matsumoto M, Toyama Y
Spine 36(15):E998-E1003,2011

- Repeated vertebrobasilar thromboembolism in a patient with severe upper cervical instability because of rheumatoid arthritis

Oshima K, Sakaura H, Iwasaki M, Nakura A, Fujii R, Yoshikawa H
Spine J 11(2):E1-E5,2011

- In vivo three-dimensional segmental analysis of adolescent idiopathic scoliosis

Hattori T, Sakaura H, Iwasaki M, Nagamoto Y, Yoshikawa H, Sugamoto K
Eur Spine J 20(10):1745-1750,2011

- 標準腰椎手術のコツとPitfall 腰部脊柱管狭窄症 除圧、固定術 (PLIF)

大和田哲雄
関節外科 30(4):60-66,2011

- 若年者の進行期・末期股関節症に対するセメントレス人工股関節置換術

花之内健仁、大園健二
関節外科 30(9):73-79,2011

- 鏡視下腱板修復術後の臨床成績に影響を及ぼす因子

内田良平、前 達雄、史野根生、鳥塚之嘉
JOSKAS 36(1):10-11,2011

- 頸椎椎弓形成術後の合併症予防にはC2, C7棘突起付着筋温存が軸椎下深層伸筋温存より有用である

坂浦博伸
整形外科 62(13):1438-1441,2011

- セメントレス人工股関節置換術

大園健二、山本健吾、安藤 渉、花之内健仁、不動一誠
整形外科 Surgical Technique 1(3):45-64,2011

- 単純C T横断面による大腿骨前捻角と3次元立体構築画像を用いた術中想定大腿骨前捻角との比較

花之内健仁、山本健吾、不動一誠、阿部裕仁、安藤 渉、大園健二
Hip joint 37:99-101,2011

- 臼蓋形成不全に対するセメントレスカップの中間高位設置について

不動一誠、花之内健仁、山本健吾、阿部裕仁、安藤 渉、大園健二
Hip joint 37:566-568,2011

- 当院におけるTHA手術難易度別教育プログラム

阿部裕仁、花之内健仁、山本健吾、不動一誠、安藤 渉、大園健二
Hip joint 37:237-239,2011

- スポーツ整形外科術後リハビリテーションプログラム (第11回) 下肢のスポーツ損傷 膝 MPFL 損傷

鳥塚之嘉、佐藤のぞみ、堀部秀二
臨床スポーツ医学28:777-786,2011

- 後方進入腰椎椎体間固定術を安全に行うための手法：椎間関節全切除 従来法との合併症比較

三輪俊格、細野 昇、向井克容、海渡貴司、武中章太、富士武史
臨床整形外科 46(3):229-234,2011

- 有痛性斜頸を呈した後頭蓋窩腫瘍の1例

三輪俊格、向井克容、藪内洋輔、細野 昇、武中章太、富士武史
臨床整形外科 46(5):473-476,2011

- 大腿骨頭壊死症 - 関節温存手術とその限界

大園健二
大園健二 編 Monthly Book Orthopaedics 24(8)メジカルビュー社 2011

- 腰椎

三輪俊格
これだけは知っておきたい整形外科 p.20-36 医学書院 2011

- 膝蓋大腿関節傷害

鳥塚之嘉
新版スポーツ整形外科 p.314-320 南江堂 2011

- 前十字靱帯・後十字靱帯同時再建術

鳥塚之嘉
整形外科手術イラストレイテッド 膝関節の手術 p.140-151 中山書店 2011

- 腰椎後方手術

大和田哲雄
整形外科 治療と手術の合併症 p.172-176 金原出版 2011

- 腰椎穿刺・脊髓腔造影に伴う合併症

坂浦博伸
整形外科 治療と手術の合併症 p.78-81 金原出版 2011

- 膝蓋骨脱臼の解析

鳥塚之嘉、山田裕三
復帰をめざすスポーツ整形外科 p.551-553 メジカルビュー社 2011

学会報告

- In vivo three-dimensional kinematics of the iliosacral joint induced by trunk motion using low-dose CT volume registration method

Nagamoto Y, Fujimori T, Sakaura H, Kashii M, Iwasaki M, Yoshikawa H, Sugamoto K
57th Annual meeting of the Orthopaedic Research Society 2011.1.13-16 CA,USA

- Effect of endobutton location on its postoperative migration in anatomic double-bundle ACL-R

Uchida R, Mae T, Matsumoto N, Yoneda K, Kuroda S, Shino K
8th Biennial ISAKOS 2011 2011.5.15-19 Rio de Janeiro,Brazil

- Short-term outcome of the anatomical double-bundle ACL reconstruction with multi-stranded hamstring tendons by the outside-in technique
Amano H, Toritsuka Y, Kuwano Y, Mae T, Uchida R, Ohzono K, Shino K
8th Biennial ISAKOS 2011 2011.5.15-19 Rio de Janeiro, Brazil

- Femoral component affects intraoperative flexion-extension gap difference in total knee arthroplasty
Hananouchi T, Yamamoto K, Fudo K, Abe H, Ando W, Ohzono K
12th European Federation of National Associations of Orthopaedics and Traumatology (EFFORT) 2011.6.1-4 Copenhagen, Denmark

- Stand alone PLIF with box type intervertebral cages
Ohwada T, Yamashita T, Sakaura H, Miwa T, Ikuta K
International society for the study of the lumbar spine annual meeting 2011.6.14-18 Gothenburg, Sweden

- Spondylolisthesis following osteoporotic fracture in middle-lower lumbar vertebra: clinical features and surgical treatment
Yamashita T, Sakaura H, Miwa T, Ohwada T
International society for the study of the lumbar spine annual meeting 2011.6.14-18 Gothenburg, Sweden

- Effect of a modular femoral neck system on adjusting intraoperative femoral anterversion
Hananouchi T, Yamamoto K, Ohzono K
24th Annual Congress of International Society for Technology in Arthroplasty (ISTA): 2011.9.22-23 Bruges, Belgium

- Stand alone PLIF with box type intervertebral cages
Ohwada T, Yamashita T, Miwa T, Sakaura H
Society for back pain research 40th anniversary meeting 2011.11.10-11 Cambridge, UK

- 特発性大腿骨頭壊死症との鑑別診断を要した症例の検討
安藤 渉、不動一誠、花之内健仁、山本健吾、大園健二
平成22年度第2回特発性大腿骨頭壊死症研究会議 2011.1.8 福岡市

- 大腿骨頭軟骨下骨折、急速破壊型股関節症の組織学的検討；特発性大腿骨頭壊死症との比較
坂井孝司、西井 孝、高尾正樹、中村宣雄、三木秀宣、大園健二、吉川英樹、菅野伸彦
平成22年度第2回特発性大腿骨頭壊死症研究会議 2011.1.8 福岡市

- 新世代バイポーラー型人工骨頭の大腿骨頭壊死および大腿骨頸部骨折に対する臨床成績(多施設共同研究)
大園健二ほか
第41回日本人工関節学会 バイポーラーセミナー 2011.2.25-26 東京都

- Metal on metal人工股関節置換術の可動域及び金属イオン濃度についての検討 多施設・前向き・比較研究 中間報告
山本健吾、相原雅治、安藤 渉、花之内健仁、不動一誠、大園健二、徳永裕彦、白土英明、老沼和弘、稲葉 裕、渥美 敬
第41回日本人工関節学会 2011.2.25-26 東京都

- 金属球マーカーで拡大率補正を行った人工股関節全置換術前計画デジタルテンプレートのカップサイズ選択における信頼性
花之内健仁、山本健吾、安藤 渉、不動一誠、大園健二
第41回日本人工関節学会 2011.2.25-26 東京都

- 弾性ストッキング単独使用による人工膝関節全置換術後の静脈血栓塞栓症予防効果における2つの異なる麻酔方法の影響
八木信哉、花之内健仁、不動一誠、安藤 渉、山本健吾、大園健二
第41回日本人工関節学会 2011.2.25-26 東京都

- 臼蓋側に顆粒状同種骨とModuRec Cup systemを使用した人工股関節再置換術
坂井孝司、大園健二、西井 孝、高尾正樹ほか
第41回日本人工関節学会 2011.2.25-26 東京都

- パーソナライズドインプラントに関して カスタムメイド人工股関節の長期成績
坂井孝司、大園健二、西井 孝、三木秀宣、高尾正樹、吉川英樹、菅野伸彦
第41回日本人工関節学会 2011.2.25-26 東京都

- MCL損傷に対する一次修復術の治療成績
堀木 充、中川玲子、吉田竹志、田野確郎
第23回日本肘関節学会 2011.2.26 東京都

- 小児肘関節脱臼骨折における骨折型の特徴
中川玲子、堀木 充、吉田竹志、田野確郎
第23回日本肘関節学会 2011.2.26 東京都

- 舟状骨偽関節に対する手術治療成績
中川玲子、堀木 充、田野確郎、大園健二
第116回中部日本整形外科災害外科学会 2011.4.7-8 高知市

- ラグビー選手の膝蓋腱症に対し手術治療を試みた1例
内田良平、鳥塚之嘉、生田研祐、大園健二
第116回中部日本整形外科災害外科学会 2011.4.7-8 高知市

- Modular型(LIMA Stem)人工股関節置換術の短期臨床成績
不動一誠、山本健吾、安藤 渉、花之内健仁、大園健二
第116回中部日本整形外科災害外科学会 2011.4.7-8 高知市

- 頭部外傷後に腰仙部硬膜下血腫による一過性の馬尾症状を生じた1例
生田研祐、坂浦博伸、大和田哲雄、大園健二
第116回中部日本整形外科災害外科学会 2011.4.7-8 高知市

- THA術後に生じたmass lesion
山本健吾、相原雅治、不動一誠、花之内健仁、安藤 渉、大園健二
第29回関西股関節研究会 2011.4.9 大阪市

● 健康人における尺側手根伸筋腱の前腕回外MRI所見について

堀木 充、中川玲子、吉田竹志、田野確郎
第54回日本手外科学会 2011.4.15-16 青森市

● 石黒法を応用した母指基節部剥離骨折の治療経験

中川玲子、堀木 充、吉田竹志、田野確郎
第54回日本手外科学会 2011.4.15-16 青森市

● 2椎間腰椎変性すべり症に対する2椎間PLIFの手術成績

坂浦博伸、山下智也、三輪俊格、鈴木省三、大和田哲雄
第40回日本脊椎脊髄病学会 2011.4.21-23 東京都

● 腰椎変性疾患における仙腸関節の動態-生体内3次元関節動態解析法を用いた検討-

長本行隆、岩崎幹季、藤森孝人、柏井将文、坂浦博伸、吉川秀樹、
菅本一臣
第40回日本脊椎脊髄病学会 2011.4.21-23 東京都

● CTを使用した頸椎後縦靱帯骨化症骨化進展計測の新技术 -Volume registration法を用いて-

藤森孝人、岩崎幹季、長本行隆、柏井将文、坂浦博伸、石井崇大、
菅本一臣、吉川秀樹
第84回日本整形外科学会学術集会 2011.5.12-15 横浜市

● 椎体骨折により対麻痺を生じた胸椎硬膜外脂肪腫症の1例

三輪俊格、山下智也、坂浦博伸、大和田哲雄、大園健二
第43回大阪骨折研究会 2011.6.4 大阪市

● 反復性膝蓋骨脱臼の治療：エビデンスと挑戦 -MPFL再建の現状と問題点- 反復性膝蓋骨脱臼膝の評価法

鳥塚之嘉、内田良平、前 達雄、大園健二、史野根生
第3回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 2011.6.15-18 札幌市

● 膝軟骨片の脱落に対し、整復固定術を施行した5例

内田良平、鳥塚之嘉、松村宣政、大園健二
第3回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 2011.6.15-18 札幌市

● 高齢発症(70才以上)特発性大腿骨頭壊死症の病理組織学的所見について

安藤 渉、不動一誠、花之内健仁、山本健吾、大園健二、坂井孝司、
高尾正樹、西井 孝、菅野伸彦
特発性大腿骨頭壊死症調査研究班 平成23年度1回班会議 2011.8.5
福岡市

● 股関節内病変治療待機期間中に発見された、ビスフォスフォネート長期服用患者における大腿骨転子下骨折の1例

花之内健仁、安井行彦、大園健二
第36回兵庫県阪整会 2011.9.29 兵庫県

● IONに対するTHAの成績不良因子の検証

大園健二、山本健吾、花之内健仁、安藤 渉、不動一誠、三木秀宣、
相原雅治
第38回日本股関節学会 2011.10.7-8 鹿児島市

● 変形性股関節症と骨密度の関連性についての検討

山本健吾、大園健二、西井 孝、菅野伸彦、田村 理、中田活也、
山村在慶、三木秀宣、西原俊作、梅田直也
第38回日本股関節学会 2011.10.7-8 鹿児島市

● フレア構造を有する臼蓋コンポーネントを用いたceramic on ceramic THAの短期成績

安藤 渉、山本健吾、花之内健仁、不動一誠、大園健二、相原雅治
第38回日本股関節学会 2011.10.7-8 鹿児島市

● 術中大腿骨前捻評価におけるモジュラーネックの増捻・減捻効果

花之内健仁、山本健吾、安藤 渉、不動一誠、大園健二
第38回日本股関節学会 2011.10.7-8 鹿児島市

● 放射状MRIを用いた股関節唇病変診断のためのAnterior Impingement Testの信頼性

花之内健仁、山本健吾、大園健二
第38回日本股関節学会 2011.10.7-8 鹿児島市

● セメントレス人工股関節置換術におけるプレスフィット・スクリュースカップの設置について

不動一誠、山本健吾、安藤 渉、花之内健仁、大園健二
第38回日本股関節学会 2011.10.7-8 鹿児島市

● 大腿骨頭軟骨下骨折と急速破壊型股関節症の組織学的検討

坂井孝司、西井 孝、高尾正樹、阿部裕仁、安藤 渉、田村 理、
中村宣雄、大園健二、吉川英樹、菅野伸彦
第38回日本股関節学会 2011.10.7-8 鹿児島市

● 人工股関節全置換術における入院前集団教育の改善を目的とした患者理解度評価

谷 和世、花之内健仁、蔭西由美、清水麻季子、鶴飼篤司、岡竹裕江、
切手 彩、浜下 園、坂元利恵、大園健二
第38回日本股関節学会 2011.10.7-8 鹿児島市

● 2椎間腰椎変性すべり症に対する2椎間PLIF

坂浦博伸、山下智也、三輪俊格、鈴木省三、大和田哲雄
第20回日本脊椎インストルメンテーション学会 2011.10.27-29 福岡県

● 膝蓋骨sleeve骨折に対し手術治療を施行した1例

内田良平、鳥塚之嘉、大園健二
第117回中部日本整形外科災害外科学会 2011.10.28-29 山口県

● ばね指に対してステロイド注射後に腱鞘断裂を生じた1例

行岡千佳子、堀木 充、吉田竹志、田野確郎
第117回中部日本整形外科災害外科学会 2011.10.28-29 山口県

● 軽微な外傷後に遅発性対麻痺を生じた胸椎硬膜外脂肪腫症の1例

信貴厚生、三輪俊格、坂浦博伸、大和田哲雄、大園健二
第117回中部日本整形外科災害外科学会 2011.10.28-29 山口県

● 当院における高齢発症の特発性大腿骨頭壊死症の特徴について

安藤 渉、花之内健仁、不動一誠、山本健吾、大園健二
平成23年度第2回特発性大腿骨頭壊死症研究班会議 2011.12.3 福岡市

● 大腿骨頭壊死症患者に対する表面置換型人工股関節全置換術におけるテラーメイドサージカルガイド(大腿骨側および臼蓋側)の使用経験

花之内健仁、山本健吾、松岡峰造、小泉宏太、安藤 渉、大園健二
平成23年度第2回特発性大腿骨頭壊死症研究班会議 2011.12.3 福岡市

● 特発性大腿骨頭壊死症における股関節液中サイトカイン濃度の検討

阿部裕仁、坂井孝司、安藤 渉、高尾正樹、西井 孝、三木秀宣、
中村宣雄、大園健二、菅野伸彦
平成23年度第2回特発性大腿骨頭壊死症研究班会議 2011.12.3 福岡市

● 特発性大腿骨頭壊死症におけるTRAP陽性細胞発現の検討

坂井孝司、西井 孝、高尾正樹、安藤 渉、阿部裕仁、田村 理、
仲宗根哲、三木秀宣、中村宣雄、大園健二、菅野伸彦
平成23年度第2回特発性大腿骨頭壊死症研究班会議 2011.12.3 福岡市

● ステム周囲骨折に対してネスプロンケーブルシステムを使用した経験

山本健吾、安藤 渉、不動一誠、花之内健仁、相原雅治、大園健二
第2回UHMWPE研究会 2011.12.16 東京都

● Cross-linked polyethylene linerが設置不能であったTrilogy acetabular cupの2例

山本健吾、相原雅治、不動一誠、花之内健仁、安藤 渉、大園健二
第31回関西股関節研究会 2011.12.17 大阪市

● “股関節から音がする”を主訴に来院された股関節周囲インピンジメントの1例

花之内健仁
第31回関西股関節研究会 2011.12.17 大阪市

● MOD-Centaur stemを使用した人工骨頭置換術の経験

山本健吾、花之内健仁、不動一誠、安藤 渉、相原雅治、大園健二
第2回大腿骨転子部骨折に対する人工骨頭置換術の検討会 2011.12.18 福岡市

講演会やテレビ出演

● Lumbar radiculopathy following healed osteoporotic vertebral fracture of the middle-lower lumbar spine: clinical features and surgical treatment

Yamashita T
Spine 2011 the Annual Conference of the Neuro Spinal Surgeons Association India 2011.9.9-11 Bangalore, India

● Our challenges to surgical complications following cervical laminoplasty

Sakaura H
Spine 2011 the Annual Conference of the Neuro Spinal Surgeons Association India 2011.9.9-11 Bangalore, India

● 脊椎手術におけるMIS (MISS) の現状 -腰椎における各種術式-

山下智也
第39回大阪脊椎外科フォーラム 2011.7.9 大阪市

● MISの現状と変遷

三輪俊格
第39回大阪脊椎外科フォーラム 2011.7.9 大阪市

● C3-6椎弓形成術 -5年以上経過例の手術成績-

坂浦博伸、細野 昇、向井克容、吉川秀樹
11th Meeting of Advanced Technologies in Spinal Treatment
2011.7.23-24 東京都

● 変形性膝関節症の診断と治療

山本健吾
平成23年度尼崎支部学術研究会 2011.9.10 兵庫県

● モジュラーネックの増捻・減捻効果 3次元モデルを用いたSimulation Study

花之内健仁
WMJ (ライトメディカルジャパン) 札幌セミナー 2011.9.11 札幌

● ロコモティブシンドロームと変形性膝関節症

山本健吾
尼崎整形外科医会骨と関節の日 2011.10.2 兵庫県

● 各種セメントレス人工股関節の適応と手術手技

大園健二
第2回藤が丘整形外科手術カンファレンス 青葉台フォーラム 2011.11.17 横浜市

● Wagner Cone Stem 適応と手術手技

大園健二
Wagner Cone Stem Seminar 2011.11.26 大阪市

形成外科

学会報告

● 左大腿皮下に生じた Manson 弧虫症の1例

清家志円、浅田裕司、藤山 浩
第97回日本形成外科学会関西支部学術集会 2011.3.12 彦根市

● 超音波断層検査動画による Water dissection technique の検討

藤山 浩、清家志円、浅田裕司
第54回日本形成外科学会総会・学術集会 2011.4.13-15 徳島市

脳神経外科

論文・著書

● Microsurgical maneuvers under side-viewing endoscope in the treatment of skull base lesions

Taniguchi M, Kato A, Taki T, Yoshimine T, Kohmura E
Skull Base 21(2):115-122, 2011

学会報告

● 脳神経外科手術におけるヒヤリハット-脳動脈瘤手術を中心に-

立石明広、尾崎友彦、森 正文、二宮貢士、眞島 静、西尾雅実、瀧 琢有
第41回兵庫県脳神経外科医懇話会 2011.7.23 神戸市

● 延髄原発肺細胞腫の1症例

立石明広、尾崎友彦、森 正文、眞島 静、西尾雅実、瀧 琢有
第62回日本脳神経外科学会近畿地方会 2011.9.3 豊中市

● Sling swing technique to the hemifacial spasm

Taki T, Ozaki T, Mori M, Majima S, Tateishi A, Nishio M
第70回日本脳神経外科学会総会 2011.10.12-14 横浜市

● 神経内視鏡手術の術前シミュレーションを目的とした三次元MRI画像解析

眞島 静、尾崎友彦、森 正文、立石明広、西尾雅実、瀧 琢有
第70回日本脳神経外科学会総会 2011.10.12-14 横浜市

● 局所脳酸素飽和度を用いたCAS後過灌流予測

西尾雅実、尾崎友彦、森 正文、立石明広、眞島 静、瀧 琢有
第70回日本脳神経外科学会総会 2011.10.12-14 横浜市

● 局所脳酸素飽和度を用いたCAS後過灌流予測

西尾雅実、尾崎友彦、森 正文、立石明広、眞島 静、瀧 琢有
第27回日本脳神経血管内治療学会総会 2011.11.24-26 千葉市

講演会やテレビ出演

● 最近の脳卒中診療

西尾雅実、尾崎友彦、森 正文、立石明広、眞島 静、瀧 琢有
尼崎病診連携座談会 2011.7.21 尼崎市

● 脳神経外科領域における救急対応について

西尾雅実
尼崎市消防局救急隊員特別研修会 2011.9.20 尼崎市

● 最近の脳卒中診療

西尾雅実
第7回関西労災病院市民公開講座 2011.11.15 尼崎市

心臓血管外科・呼吸器外科

論文・著書

- A surgical case of prosthetic valve endocarditis with a difficult diagnosis

Mizoguchi H, Sakaki M, Inoue K, Yoshioka Y, Bito Y
Ann Thorac Cardiovasc Surg 17(6):628-630,2011

- Off-pump coronary artery bypass grafting as re-do surgery in two cases in which the right gastroepiploic artery was grafted to the right coronary artery

Mizoguchi H, Sakaki M, Inoue K, Kobayashi Y, Iwata T, Suehiro Y, Nishibayashi A
Ann Thorac Cardiovasc Surg 17(6):595-598,2011

- Adalimumab associated pulmonary cryptococcosis

Iwata T, Nagano T, Tomita M, Suehiro Y, Nakatsuka S, Kimura H, Sakaki M
Ann Thorac Cardiovasc Surg 17(4):390-393,2011

- Extended thymectomy via videothoracoscopy-assited stepwise-access sternotomy

Iwata T, Yasuoka T, Hanada S, Suehiro Y, Sakaki M, Nishibayashi A, Miura T
Ann Thorac Cardiovasc Surg 17(4):337-340,2011

- Transbronchial occlusion of a malignant bronchopleural fistula with cyanoacrylate glue

Iwata T, Iida S, Hanada S, Inoue H, Morikawa Y, Inoue K, Kobayashi Y, Miura T
J Bronchology & Interventional Pulmonology 18(2):176-178,2011

- Pulmonary resection for lung cancer with impaired pulmonary function due to severe spinal deformity: report of a case

Iwata T, Nishiyama N, Nagano K, Izumi N, Tsukioka T, Tei K, Hanada S, Inoue K, Kaji M, Suehiro S
Surg Today 41(6):849-853,2011

- Clinical management of lower limb ischemia secondary to a persistent sciatic artery aneurysm: report of a case

Bito Y, Sakaki M, Iida O, Inoue K, Yoshioka Y, Mizoguchi H
Surg Today 41(3):402-405,2011

学会報告

- Surgical outcomes of thoracic aortic aneurysm in the elderly

Inoue K, Miura T, Kobayashi Y, Iwata T, Inoue H
Joint Meeting of 19th ASCVTS and 21st ATCSA 2011.5.26-29
Phuket,Thailand

- Preoperative serum value of sialyl Lewis X is associated with pathological stage and survival in patients with surgically treated small cell lung cancer

Iwata T, Nishiyama N, Nagano K, Izumi N, Tei K, Hanada S, Komatsu H, Inoue K, Kaji M, Kudo S, Suehiro S
14th World Conference on Lung Cancer 2011.7.4 Amsterdam, Netherland

● **Löffler症候群を合併した右総腸骨動脈瘤に対し、左右外腸骨動脈バイパス術により、動脈瘤の血栓化をはかった1例**

井上和重、三浦拓也、小林靖彦、岩田 隆、井上英俊、西林章光
第64回兵庫県血管外科研究会 2011.1.15 神戸市

● **肝直接浸潤を伴う右肺下葉扁平上皮癌の一切除例**

岩田 隆、花田庄司、井上英俊
第7回大阪市立大学呼吸器外科勉強会 2011.2.5 大阪府

● **左鎖骨下動脈および左総頸動脈起始部を巻き込んだ上縦隔平滑筋肉腫の1例**

岩田 隆、三浦拓也、井上和重、小林靖彦、井上英俊
第44回兵庫呼吸器外科研究会 2011.3.3 神戸市

● **急速に増大した肝直接浸潤を伴う右肺下葉扁平上皮癌の一切除例**

岩田 隆、花田庄司、井上英俊
第15回大阪市大肺がん勉強会 2011.3.18 大阪市

● **各病巣が異なる画像的特徴を示した同時性片側三重原発性肺癌の一切除例**

井上英俊、岩田 隆、三浦拓也、井上和重、小林靖彦、花田庄司
第28回日本呼吸器外科学会 2011.5.13 大分県

● **大動脈弓部から左総頸動脈と左鎖骨下動脈を巻き込んだ縦隔平滑筋肉腫の1切除例**

岩田 隆、三浦拓也、井上和重、小林靖彦、花田庄司、井上英俊
第28回日本呼吸器外科学会 2011.5.13 大分県

● **Löffler症候群を合併した右総腸骨動脈瘤に対し、左右外腸骨動脈バイパス術により、動脈瘤の血栓化をはかった1例**

井上和重、三浦拓也、小林靖彦、岩田 隆、井上英俊、西林章光
第189回近畿外科学会 2011.6.4 大阪市

● **Video-assisted Stepwise Access Sternotomy (VASAS) による 胸骨正中切開 胸腺摘出術の小皮切化の工夫**

岩田 隆、丁 奎光、花田庄司、井上英俊、井上和重、三浦拓也
第189回近畿外科学会 2011.6.4 大阪市

● **胸膜原発MALTリンパ腫の1例**

井上英俊、岩田 隆、花田庄司、丁 奎光、井上和重、三浦拓也
第189回近畿外科学会 2011.6.4 大阪市

● **僧帽弁後尖直下の左室壁より発生した乳頭状線維弾性腫の1例**

井上和重、三浦拓也、小林靖彦、岩田 隆、井上英俊、中塚伸一、
木村勇人
第54回関西胸部外科学会学術集会 2011.6.30-7.1 高松市

● **最小口径の機械弁を使用したAVRの早、中期成績 -SJM regent 17, ATS 16AP使用例について-**

小林靖彦、三浦拓也、安岡高志、井上和重、岩田 隆、井上英俊、
西林章光
第54回関西胸部外科学会学術集会 2011.6.30-7.1 高松市

● **内部肺組織に壊死や浸潤の見られなかった空洞性肺癌の1切除例**

井上英俊、岩田 隆、井上和重、小林靖彦、花田庄司、三浦拓也
第54回関西胸部外科学会学術集会 2011.6.30-7.1 高松市

● **右鎖骨下動脈起始部に形成された動脈瘤に対する人工血管置換術の1例**

堀尾勇規、溝口裕規、井上和重、岩田 隆、丁 奎光、三浦拓也
第66回兵庫県血管外科研究会 2011.7.9 神戸市

● **不安神経発作で発症した食道duplication cystの1例**

花田庄司、岩田 隆、丁 奎光
第8回大阪市立大学呼吸器外科勉強会 2011.7.16 大阪市

● **肺癌の早期診断と治療における胸腔鏡手術の役割**

岩田 隆
第7回関西労災病院合同症例検討会 2011.7.30 尼崎市

● **胸骨正中切開による胸腺摘出術の小皮切化の工夫**

岩田 隆、丁 奎光、井上和重、溝口裕規、堀尾勇規、三浦拓也
第45回兵庫呼吸器外科研究会 2011.9.1 神戸市

● **経横隔膜的に肝臓に直接浸潤を来した右肺下葉扁平上皮癌の切除例**

岩田 隆、武田 裕、飯田慎一郎、丁 奎光、花田庄司、井上英俊、
井上和重、溝口裕規、三浦拓也
第64回日本胸部外科学会定期学術集会 2011.10.12 名古屋市

● **腸骨動脈-大腿膝窩動脈領域多発性病変に対するHybrid治療の成績 -CFE + EVT-**

溝口裕規、飯田 修、岡本 慎、土肥智晴、南都清範、井上和重、
岩田 隆、丁 奎光、堀尾勇規、三浦拓也
第52回日本脈管学会総会 2011.10.20-22 岐阜市

● **転移性肺腫瘍に合併した肺 tumorlet の1例**

丁 奎光、岩田 隆、井上英俊、花田庄司、飯田慎一郎、三浦拓也
第52回日本肺癌学会総会 2011.11.4 大阪市

講演会やテレビ出演

● **患者さんに優しい胸腔鏡手術**

岩田 隆
第5回関西労災病院市民公開講座 2011.6.25 兵庫県

皮膚科

論文・著書

- A case of giant squamous cell carcinoma of the Buttock possibly arose from syringocystadenoma and invaded to the rectum

Nishioka M, Tanemura A, Yamanaka T, Umegaki N, Tani M, Katayama I, Takemasa I, Sekimoto M, Tomita K, Tamai N
Journal of Skin Cancer 2011(2011):213406,2011

- 無疹部からの生検で診断確定に至った疱疹状天疱瘡の1例

高橋祐史、山中隆嗣、石田 勲、木村勇人、中塚伸一
皮膚科の臨床 53(7):967-971,2011

学会報告

- 落葉状天疱瘡患者に合併した膿疱性乾癬疑いの1例

山中隆嗣
第3回北尼崎皮膚科研究会 2011.12 尼崎市

- ベセルナクリームによる日光角化症の治療例

巽 一啓
第3回北尼崎皮膚科研究会 2011.12 尼崎市

- Pseudocyst of the scalpの2例

高橋祐史
第3回北尼崎皮膚科研究会 2011.12 尼崎市

泌尿器科

論文・著書

- Minimally invasive therapy for BPH, TURis, greenlight laser, versus HoLEP TURis

Matsubara S
International Journal of Urology 18(4):335-336,2011

- Inflammatory pseudotumor of the retroperitoneum removed via a retroperitoneoscopic approach

Soga H, Yao A, Matsushita K, Shimogaki H, Kawabata G
Journal of the Society of Laparoendoscopic Surgeons 15(2): 272-274,2011

- 悪性腫瘍に対する腹腔鏡下副腎摘除術の経験(DVD)

川端 岳、松下 経、津村功志、松原重治、山中邦人
Audio-Visual Journal of JUA 17(1):2-17,2011

- 腹腔鏡下前立腺全摘除術における若干の工夫点(DVD)

川端 岳、福原 恒、松下 経、松原重治、山尾 裕、田口 功
Audio-Visual Journal of JUA 17(3):17-14,2011

- 腹腔鏡下前立腺全摘除術の長期成績 -癌制御を中心に-

田中一志、川端 岳、藤澤正人
Japanese Journal of Endourology 24(1):44-48,2011

- 連載 内視鏡で見てきた解剖 第2回内視鏡で見た腎周囲の筋膜解剖

川端 岳
排尿障害プラクティス 19(2):161-171,2011

- 第1章 1.腹腔鏡下副腎摘除術での困難症例への対応

川端 岳
腹腔鏡手術スキルアップシリーズ 腎泌尿器 症例から学ぶ術者のための
実践手術手技 第1版 p.2-17 ベクトル・コア 2011

- 第1章 2.気腹を用いない吊り上げ式腹腔鏡下副腎摘除術

川端 岳
腹腔鏡手術スキルアップシリーズ 腎泌尿器 症例から学ぶ術者のための
実践手術手技 第1版 p.18-26 ベクトル・コア 2011

- 第3章 2.下大静脈後尿管に対する後腹膜鏡下尿管尿管吻合術

川端 岳
腹腔鏡手術スキルアップシリーズ 腎泌尿器 症例から学ぶ術者のための
実践手術手技 第1版 p.134-139 ベクトル・コア 2011

- 第5章 2.乳糜尿症に対する腹腔鏡下腎門部リンパ管遮断術

川端 岳
腹腔鏡手術スキルアップシリーズ 腎泌尿器 症例から学ぶ術者のための
実践手術手技 第1版 p.202-209 ベクトル・コア 2011

学会報告

- Minimally invasive therapy for BPH, TURis, greenlight laser, versus HoLEP -TURis-

Matsubara S, Kawabata G
6th AUA/JUA International Affiliate Society Meeting Renaissance
Symposium 2011.5.15 Washington DC, USA

- Experience of retroperitoneal laparoscopic partial nephrectomy using the VIO softcoagulating system for renal cell carcinoma -The preliminary report-

Matsubara S, Okuno M, Fukuhara T, Yamao Y, Taguchi I, Kawabata G
29th World Congress of Endourology and ESWL 2011.12.2 Kyoto, Japan

- LRPの超早期尿禁制獲得のための若干の工夫

福原 恒、山尾 裕、松原重治、田口 功、川端 岳
第5回KURF 2011.1.22 神戸市

- 副腎褐色細胞腫が疑われた副腎外原発epidermal cystの1例

山尾 裕、松下 経、福原 恒、松原重治、田口 功、川端 岳
第214回日本泌尿器科学会関西地方会 2011.2.5 高槻市

- 私の鏡視下手術勉強法

山尾 裕
第17回Clinical Urology研究会 2011.3.12 神戸市

- 前立腺生検前に行う3TMRIの有用性について

福原 恒、山尾 裕、松原重治、田口 功、川端 岳
第99回日本泌尿器科学会総会 2011.4.23 名古屋市

- 精巣腫瘍を有する患者に対する精巣精子採取術 (Onco-TESE) についての検討

石川智基、古橋孝祐、橋本洋美、塩谷雅英、福原 恒、川端 岳、
山口耕平、藤澤正人
第99回日本泌尿器科学会総会 2011.4.23 名古屋市

- TUR-P後の尿失禁の1例 -医療訴訟を経験して-

山尾 裕
第1回尼崎泌尿器科勉強会 2011.5.12 尼崎市

- 泌尿器腹腔鏡手術ガイドライン 前立腺癌

川端 岳、福原 恒、奥野優人、山尾 裕、松原重治、田口 功
第61回日本泌尿器科学会中部総会 シンポジウム 2011.11.16 京都市

- 当院における上部尿路上皮癌に対する手術治療成績

奥野優人、福原 恒、山尾 裕、松原重治、田口 功、川端 岳
第61回日本泌尿器科学会中部総会 2011.11.16 京都市

- 酸性尿酸アンモニウム結石の1例

山尾 裕、奥野優人、福原 恒、松原重治、田口 功、川端 岳
第2回尼崎泌尿器科勉強会 2011.11.24 尼崎市

- 当院でのテムシロリムスの使用経験

福原 恒
第5回腎癌分子標的フォーラム 2011.12.6 神戸市

- 術前にMRIを施行した陰茎折症の4例

奥野優人、福原 恒、山尾 裕、松原重治、田口 功、川端 岳
第217回日本泌尿器科学会関西地方会 2011.12.17 大阪市

講演会やテレビ出演

- 下部尿路症状と前立腺肥大症

川端 岳
北播内科医会 2011.1.15 小野市

- 腹腔鏡技術認定に合格するためのコツとトラブル対処

川端 岳
鳥取県東部泌尿器手術手技セミナー 2011.3.26 鳥取市

- エキスパートに聞く！技術認定取得のポイント -知っておきたいEnergy Devicesの選択と使い方- HARMONICの安全な使い方

川端 岳
第99回日本泌尿器科学会総会 教育セミナー 2011.4.22 名古屋市

- リュープリンが患者さんに打たれるまで

松原重治
武田薬品社内勉強会（前立腺癌勉強会） 2011.6.9 尼崎市

- 前立腺癌の診断と治療

山尾 裕
アステラス製薬社内講演会 2011.7.21 尼崎市

- 前立腺の話 -肥大症と癌-

川端 岳
神戸東ロータリークラブ例会 卓話 2011.7.26 神戸市

- 誰でもできる経尿道的バイポーラ前立腺核出術 (TUEB) -いつでも確実に剥離層を出すために-

川端 岳
第25回日本泌尿器内視鏡学会総会 イブニングセミナー 2011.11.30 京都市

- A feasibility study of carboplatin and weekly paclitaxel combination chemotherapy in endometrial cancer: A Kansai Clinical Oncology Group study (KCOG0015 trial)

Ito K, Tsubamoto H, Itani Y, Kuroboshi H, Fujita H, Nobunaga T, Coleman RL
Gynecol Oncol 120:193-197,2011

- Chemotherapy for endometrial carcinoma (GOGO-EM1 study): TEC (paclitaxel, epirubicin, and carboplatin) is an effective remission-induction and adjuvant therapy

Egawa-Takata T, Ueda Y, Kuragaki C, Miyake T, Miyatake T, Fujita M, Yoshino K, Nakashima R, Okazaki M, Tsutsui T, Morishige K, Kimura T, Yamasaki M, Nishizaki T, Nagamatsu M, Ito K, Asada M, Ogita K, Wakimoto A, Yamamoto T, Nishio Y, Enomoto T
Cancer Chemother Pharmacol 68:1603-1610,2011

- 当科における卵巣癌Ⅲc期の治療成績の検討

堀 謙輔、安藤亮介、繁田直哉、宮木康成、大西圭子、栗谷健太郎、脇本 哲、山本志津香、尾崎公章、伊藤公彦
産婦の進歩 63(4):477-482,2011

- 子宮頸がん—診断・治療とその予防—

伊藤公彦
西宮市医師会医学雑誌 16:20-24,2011

学会報告

- Intraperitoneal and intrapleural administrations of triamcinolone acetonide for control of malignant ascites and pleural effusion

Inoue K, Tsubamoto H, Ito K, Hori K, Kanazawa R, Ito Y, Yamamoto S, Onishi K, Ando R, Komori S
47th Annual Meeting of the American Society of Clinical Oncology 2011.6.3-6 Chicago,IL

- Phase II trial of paclitaxel and nedaplatin in patients with advanced/recurrent uterine cervical cancer: a Kansai Clinical Oncology Group study

Takekuma M, Hirashima Y, Ito K, Tsubamoto H, Tabata T, Arakawa A, Itani Y, Furukawa N, Murakoshi H, Takeuchi S
47th Annual Meeting of the American Society of Clinical Oncology 2011.6.3-6 Chicago,IL

- Phase II trial of weekly irinotecan and carboplatin for relapsed ovarian cancer – a Kansai Clinical Oncology Group study

Tsubamoto H, Inoue K, Kawaguchi R, Ito K, Takeuchi S, Shiozaki T, Itani Y, Arakawa A, Tabata T, Toyoda S
47th Annual Meeting of the American Society of Clinical Oncology 2011.6.3-6 Chicago,IL

- Intraperitoneal and intrapleural administrations of triamcinolone acetonide is effective for control of malignant ascites and pleural effusion: KCOG-G1102s study

Ito K, Hori K, Tsubamoto H, Kanazawa R, Ozaki K, Yamamoto S, Onishi K, Shigeta N, Ando R, Inoue K, Ito Y, Komori S
Kansai Clinical Oncology Group (KCOG)
17th International Meeting of the European Society of Gynecological Oncology 2011.9.11-14 Milan,Italy

- Phase II trial of interval debulking surgery followed by intraperitoneal and intrapleural chemotherapy for advanced ovarian cancer -KCOG9812 trial

Sakane R, Kanazawa R, Tsubamoto H, Itani Y, Ito K, Takauchi S, a Kansai Clinical Oncology Group (KCOG)
17th International Meeting of the European Society of Gynecological Oncology 2011.9.11-14 Milan,Italy

- ハーモニックスカルペルを用いた子宮頸部円錐切除術

脇本 哲、安藤亮介、繁田直哉、栗谷健太郎、大西圭子、山本志津香、尾崎公章、堀 謙輔、伊藤公彦
第33回日本産婦人科手術学会 2011.2.12-13 岡山市

- 小腸穿孔が良性卵巣腫瘍に交通した1例

繁田直哉、安藤亮介、大西圭子、栗谷健太郎、脇本 哲、山本志津香、尾崎公章、堀 謙輔、伊藤公彦、鈴木 玲、中田 健、岡村 修
第24回武庫川産婦人科セミナー 2011.2.19 西宮市

- 両側卵巣表面に発育した卵巣境界悪性腫瘍の1例

安藤亮介、繁田直哉、大西圭子、栗谷健太郎、脇本 哲、山本志津香、尾崎公章、堀 謙輔、伊藤公彦
第24回武庫川産婦人科セミナー 2011.2.19 西宮市

- 夜間母体救急搬送に難渋した精神疾患合併妊娠の1例

脇本 哲、安藤亮介、繁田直哉、栗谷健太郎、大西圭子、山本志津香、尾崎公章、堀 謙輔、伊藤公彦
平成22年度周産期事例検討会 2011.3.12 神戸市

- 乳癌術後にタモキシフェンを内服し、卵巣過剰刺激の所見を示した1例

堀 謙輔、安藤亮介、繁田直哉、大西圭子、栗谷健太郎、山本志津香、尾崎公章、伊藤公彦
第4回阪神婦人科・内分泌研究会 2011.4.9 西宮市

- 過大着床部と診断して、子宮温存が可能であった1例

山本志津香、浦上希吏、安藤亮介、繁田直哉、大西圭子、栗谷健太郎、尾崎公章、小島洋二郎、堀 謙輔、伊藤公彦、木村勇人、永野輝明、中塚伸一、棟方 哲
第42回阪神周産期勉強会 2011.4.21 西宮市

- 両側の卵巣表面に発育した卵巣境界悪性腫瘍の1例

安藤亮介、繁田直哉、大西圭子、栗谷健太郎、脇本 哲、山本志津香、尾崎公章、堀 謙輔、伊藤公彦
第30回大阪大学産婦人科オープンクリニカルカンファレンス 2011.5.28 大阪市

- 血中CA-125高値と胸腹水貯留を認め結核性腹膜炎と診断された1例

栗谷健太郎、浦上希吏、安藤亮介、繁田直哉、大西圭子、山本志津香、尾崎公章、小島洋二郎、堀 謙輔、伊藤公彦、木村勇人、永野輝明、中塚伸一、飯田慎一郎
第29回日本産婦人科感染症研究会 2011.6.4 岡山県

- 重症感染症から妊娠24週で子宮内胎児死亡(IUFD)、播種性血管内凝固症候群(DIC)を発症したと推定される1例

繁田直哉、安藤亮介、大西圭子、栗谷健太郎、山本志津香、脇本 哲、尾崎公章、堀 謙輔、伊藤公彦、中山雅弘、柳原 格
第29回日本産婦人科感染症研究会 2011.6.4 岡山県

● 左卵管癌が疑われた骨盤内放線菌症の1例

浦上希史、安藤亮介、繁田直哉、大西圭子、栗谷健太郎、山本志津香、尾崎公章、小島洋二郎、堀 謙輔、伊藤公彦、木村勇人、永野輝明、中塚伸一
第29回日本産婦人科感染症研究会 2011.6.4 岡山県

● 当科におけるジェノゲストの長期投与例に関する検討

大西圭子、浦上希史、安藤亮介、繁田直哉、山本志津香、吉岡恵美、尾崎公章、小島洋二郎、堀 謙輔、伊藤公彦
第85回兵庫県産科婦人科学会 2011.6.5 神戸市

● 子宮動脈塞栓術(UAE)に引き続く子宮鏡下腫瘍切除術(TCR)で過大着床部と診断、子宮温存が可能であった1例

山本志津香、安藤亮介、繁田直哉、大西圭子、栗谷健太郎、脇本 哲、尾崎公章、堀 謙輔、伊藤公彦、木村勇人、永野輝明、中塚伸一、棟方 哲
第124回近畿産科婦人科学会 2011.6.18-19 和歌山市

● <ワークショップ 子宮体癌のリンパ節郭清>子宮体癌手術における術中迅速病理診断を用いた傍大動脈リンパ節郭清の省略の妥当性について

尾崎公章、繁田直哉、安藤亮介、大西圭子、栗谷健太郎、脇本 哲、山本志津香、堀 謙輔、伊藤公彦
第50回日本婦人科腫瘍学会 2011.7.22-24 札幌市

● 子宮体癌発見のための子宮内膜搔爬の適応基準についての検討

大西圭子、安藤亮介、繁田直哉、栗谷健太郎、山本志津香、脇本 哲、尾崎公章、堀 謙輔、伊藤公彦
第50回日本婦人科腫瘍学会 2011.7.22-24 札幌市

● 広汎子宮全摘術において鼠径上リンパ節郭清省略は可能か

安藤亮介、脇本 哲、繁田直哉、大西圭子、栗谷健太郎、山本志津香、尾崎公章、堀 謙輔、伊藤公彦
第50回日本婦人科腫瘍学会 2011.7.22-24 札幌市

● 子宮体癌診断のための子宮内膜搔爬の適応に関する検討

山本志津香、大西圭子、繁田直哉、安藤亮介、栗谷健太郎、脇本 哲、尾崎公章、堀 謙輔、伊藤公彦
第63回日本産科婦人科学会 2011.8.29-31 大阪市

● 当院における院内助産システムについての検討 -院内助産は快適で安全か？-

栗谷健太郎、安藤亮介、繁田直哉、大西圭子、山本志津香、脇本 哲、尾崎公章、堀 謙輔、伊藤公彦
第63回日本産科婦人科学会 2011.8.29-31 大阪市

● 子宮体癌の術式の個別化に関する検討

繁田直哉、尾崎公章、安藤亮介、大西圭子、栗谷健太郎、山本志津香、脇本 哲、堀 謙輔、伊藤公彦
第63回日本産科婦人科学会 2011.8.29-31 大阪市

● ハーモニックスカルペルを用いた子宮頸部円錐切除術の有効性

安藤亮介、脇本 哲、栗谷健太郎、繁田直哉、大西圭子、山本志津香、尾崎公章、堀 謙輔、伊藤公彦
第63回日本産科婦人科学会 2011.8.29-31 大阪市

● 進行・再発子宮頸癌に対するパクリタキセル/ネダプラチン併用療法の有用性 -臨床第Ⅱ相試験；KCOG G0705 study-

関西臨床腫瘍研究会(KCOG);武隈宗孝、平嶋泰之、伊藤公彦、鏑本浩志、田畑 務、荒川敦志、井谷嘉男、古川直人、村越 譽、竹内 聡
第63回日本産科婦人科学会 2011.8.29-31 大阪市

● 再発卵巣がんに対するリポソーム化ドキソルビシンとドセタキセル併用臨床第Ⅰ相試験

堀 謙輔、古川直人、荒川敦志、鏑本浩志、栗谷健太郎、久慈志保、伊藤公彦
第49回日本癌治療学会 2011.10.27-29 名古屋市

● 再発卵巣癌に対するリポソーム化ドキソルビシンとゲムシタビン単剤療法の検討

繁田直哉、浦上希史、安藤亮介、大西圭子、栗谷健太郎、山本志津香、吉岡恵美、尾崎公章、小島洋二郎、堀 謙輔、伊藤公彦
第49回日本癌治療学会 2011.10.27-29 名古屋市

● 再発卵巣癌に対するリポソーマルドキソルビシン+カルボプラチン併用療法の使用経験

安藤亮介、繁田直哉、大西圭子、栗谷健太郎、脇本 哲、山本志津香、尾崎公章、小島洋二郎、堀 謙輔、伊藤公彦
第49回日本癌治療学会 2011.10.27-29 名古屋市

● <ワークショップ 卵巣>再発婦人科癌に対するdocetaxel腹腔内投与の第Ⅰ相臨床試験 -KCOG-0601-

鏑本浩志、竹内 聡、豊田進司、澤田守男、井上佳代、宮木康成、伊藤公彦
第49回日本癌治療学会 2011.10.27-29 名古屋市

● 妊娠38週に発症した子宮静脈瘤様血管破裂による腹腔内出血の1例

浦上希史、安藤亮介、繁田直哉、大西圭子、山本志津香、吉岡恵美、尾崎公章、小島洋二郎、堀 謙輔、伊藤公彦
第31回大阪大学産婦人科オープンクリニカルカンファレンス 2011.11.5 大阪市

● 子宮頸部病変における当科でのLoop Electrosurgical Excision Procedure (LEEP) 法による治療の工夫

繁田直哉、浦上希史、安藤亮介、大西圭子、山本志津香、吉岡恵美、尾崎公章、小島洋二郎、堀 謙輔、伊藤公彦
第34回日本産婦人科手術学会 2011.11.27 福岡県

● 開腹創部皮下ドレナージシステムの有用性についての検討

安藤亮介、浦上希史、繁田直哉、大西圭子、山本志津香、吉岡恵美、尾崎公章、小島洋二郎、堀 謙輔、伊藤公彦
第34回日本産婦人科手術学会 2011.11.27 福岡県

講演会やテレビ出演

● 子宮癌の予防と治療

伊藤公彦
第26回尼崎医師会“学術デー”日医生涯教育講座 2011.6.18 尼崎市

● 再発卵巣癌における化学療法 -How to use Gemcitabine-

伊藤公彦
第50回日本婦人科腫瘍学会 ランチョンセミナー 2011.7.22-24 札幌市

- 産婦人科外来における薬物療法「産婦人科診療ガイドライン産婦人科外来編2011」を中心に

堀 謙輔
第3回尼崎調剤薬局カンファレンス 2011.7.26 尼崎市

- 再発卵巣癌の化学療法 -その薬剤プロファイルと適正使用-

伊藤公彦
第51回日本産婦人科内視鏡学会 ランチョンセミナー 2011.8.6 大阪市

- 院内助産所・助産師外来における安全管理とリスクマネジメントの実際

堀 謙輔
院内助産所・助産師外来開設のための管理者および助産師研修 2010.9.28 神戸市

- 分娩期・産褥期の異常とその対応

堀 謙輔
院内助産所・助産師外来開設のための管理者および助産師研修 2010.11.17 神戸市

眼 科

論文・著書

- コンタクトレンズはドライアイ患者にどう使ったらベストか？

濱野 孝、小川 旬子、杉田 二郎、渡辺 仁
Frontiers in Dry Eye 6:52-58,2011

- ジクアホソルナトリウムはドライアイ治療を変えたか？

坪田一男、島崎 潤、横井則彦、渡辺 仁
Frontiers in Dry Eye 6:100-109,2011

- ドライアイに内服(サプリメントを含む)を勧めるか？

濱野 孝、小川 旬子、杉田 二郎、渡辺 仁
Frontiers in Dry Eye 6:152-158,2011

- ドライアイの考え方、診断方法、治療選択

渡辺 仁
臨眼 65 (増刊):109-113,2011

学会報告

- 涙点プラグ、涙点閉鎖. 教育セミナー21. 眼科外眼部手術 (2)

渡辺 仁
第34回日本眼科手術学会 2011.1.30 京都市

- ドライアイに対するタクロリムス点眼の治療効果

渡辺 仁、木坊子展生、福地祐子、中田 互
角膜カンファレンス2011 2011.2.17 東京都

- ドライアイに対する涙点プラグの長期的効果

高 静花、相馬剛至、渡辺 仁、堀 裕一、辻川元一、前田直之、西田幸二
角膜カンファレンス2011 2011.2.17 東京都

- ジクアス点眼3%登場 製剤特性にせまる 角膜カンファレンス2011 ランチョンセミナー1 MUCで行こう!Part2

渡辺 仁
角膜カンファレンス2011ランチョンセミナー 2011.2.17 東京都

- 症例から学ぶ角結膜疾患

渡辺 仁
札幌眼科集談会 2011.3.5 札幌市

- ムチンとドライアイの診断と治療

渡辺 仁
第230回OCC 2011.3.12

- ドライアイ その基礎概念と基礎知識

渡辺 仁
明日からの臨床に役立つドライアイ治療最前線 -ここが聞きたいとのアンケートに基づいた新企画プログラム- 2011.4.2 福岡市

●ドライアイ治療における点眼・プラグの選択とその時期

渡辺 仁
明日からの臨床に役立つドライアイ治療最前線-ここが聞きたいとのアンケートに基づいた新企画プログラム- 2011.4.2 福岡市

●新しい点眼治療薬の薬理作用からその使い方を考えよう

渡辺 仁
明日からの臨床に役立つドライアイ治療最前線-ここが聞きたいとのアンケートに基づいた新企画プログラム- 2011.4.2 福岡市

●ドライアイに対するフリーサイズ型涙点プラグの治療効果

永原裕紀子、木坊子展生、中田 亙、渡辺 仁
尼崎伊丹五公立病院眼科合同カンファランス 2011.4.9 伊丹市

●ジクアスとヒアレインの使い方 シンポジウム3.期待のドライアイ治療薬ジクアスのパワーを知ろう

渡辺 仁
第5回箱根ドライアイクラブ in 小田原 2011.5.25 神奈川県

●フルオレセイン染色 どう使えばよいか？

渡辺 仁
スリーサム ランチョンセミナー 2011.7.10

●ドライアイ、マイボーム腺異常

渡辺 仁
3i角膜塾 2011.8.6 京都市

●角膜変性、沈着

渡辺 仁
3i角膜塾 2011.8.6 京都市

●角膜ジストロフィ

渡辺 仁
3i角膜塾 2011.8.6 京都市

●インストラクションコース ドライアイスペシャリストの老舗こだわり講座

渡辺 仁、島崎 潤、横井則彦
第63回日本臨床眼科学会 2011.10.10 東京都

講演会やテレビ出演

●新しい局面を迎えたドライアイの診断と治療

渡辺 仁
阪南眼科勉強会特別講演 2011.2.26

●緑内障点眼薬の組成で生じる眼内移行のちがいと副作用

渡辺 仁
兵庫県病院薬剤師会講演会 2011.4.15

●新しい局面を迎えたドライアイの治療2011

渡辺 仁
西日本オキュラーサーフェス研究会 特別講演 2011.4.16 福岡市

●キサラン点眼 その組成と効果のつながり

渡辺 仁
ファイザー眼科講演会 2011.4.27 尼崎市

●ムチンから見たドライアイ

渡辺 仁
大塚製薬眼科西日本会議講演会 2011.5.25 大阪市

●新しい局面を迎えたドライアイの治療2011

渡辺 仁
第9回Symposium of Ocular Surface and Infection 特別講演 2011.5.28 大阪市

●防腐剤 少なければ少ないほどよいのか？

渡辺 仁
ザラカム発売1周年記念講演会 2011.7.30 福岡県

●極め付け！ドライアイの診断と治療2011

渡辺 仁
八戸地区ドライアイ講演会 特別講演 2011.9.10 青森県

●極め付け！ドライアイの診断と治療2011

渡辺 仁
第45回愛媛県眼科フォーラム 特別講演 2011.10.2 松山市

●極め付け！ドライアイの診断と治療

渡辺 仁
静岡県眼科医会講演会 特別講演 2011.11.10 静岡県

●そうだったのか！ドライアイの診断と治療2011

渡辺 仁
第5回琵琶湖眼疾患研究会特別講演 2011.11.10 滋賀県

●極め付け！ドライアイの診断と治療2011

渡辺 仁
Cornea Update Seminar Tokyo 2011 2011.11.12 東京都

●極め付け！ドライアイの診断と治療2011

渡辺 仁
瀬戸内眼科コロシウム 2011.11.19 広島県

●ドライアイ治療アップデートセミナー

渡辺 仁
ファイザー Webセミナー 特別講演 2011.11.24

耳鼻咽喉科

論文・著書

● 頭頸部癌との鑑別を必要とした咽頭梅毒例

滝本康光、伊東真人
耳鼻咽喉科臨床 104(1):8-9,2011

学会報告

● 当科における鼻副鼻腔腺癌3症例の検討

北村公二、滝本泰光、笹井久徳、伊東真人
第73回耳鼻咽喉科臨床学会 2011.6.24 長野県

● 突発性難聴における発症から治療開始日までの日数と治癒率についての検討

古川雅史、梶川 泰、松代直樹、北村貴裕、奥村新一、北原 紘
第21回日本耳科学会 2011.11.26 那覇市

リハビリテーション科

論文・著書

● 医療ソーシャルワーカーは欠くべからざる存在

土岐明子
病院 70(7):540,2011

学会報告

● 当院の糖尿病患者における行動医学的アプローチを用いた運動療法の立案

福井浩之、林 功、大江幸子、下津浦遊、内山匡将、梶平 司、
真田将幸、森川侑佳、佐々木周伍、五郎川伸一
第54回日本糖尿病学会年次学術集会 2011.5.19-21 札幌市

● 当院糖尿病入院患者における退院後の運動療法のアドヒアランスに関するアンケート調査

大江幸子、林 功、福井浩之、下津浦遊、内山匡将、梶平 司、
真田将幸、森川侑佳、光井絵里、佐々木周伍、山本裕一、五郎川伸一、
山本恒彦
第54回日本糖尿病学会年次学術集会 2011.5.19-21 札幌市

● 人工股関節全置換術の術前腰痛症状が周術期に及ぼす影響に関して

谷口陽一、花之内健二、松元典子、栗田真悟、池田真治、掛川明子、
白井一郎、梶平 司、山本健吾、大瀧俊夫、大園健二
第38回日本股関節学会 2011.10.7-8 鹿児島市

● 人工呼吸器依存状態の頸髄損傷者の呼吸管理 -呼吸器合併症予防・安全性向上・QOL拡大を目指して-

土岐明子
第48回日本リハビリテーション医学会学術集会 2011.11.2-3 千葉市

● 変形性股関節症患者の腰痛 -骨盤傾斜及び腰椎変形の関連性-

松元典子、花之内健二、谷口陽一、梶平 司、白井一郎、山内佳美、
平田明日香、池田真治、栗田真悟、岡本浩明、山本健吾、大瀧俊夫、
大園健二
第51回近畿理学療法学術大会 2011.11.13 大津市

講演会やテレビ出演

● 当院での末梢動脈疾患に対する理学療法

池田真治
(社)兵庫県理学療法士会研修部主催研修「心疾患の理学療法」2011.2.19
神戸市

● きょうは7月17日 理学療法の日 -理学療法士 広がる職域-

梶平 司
神戸新聞 特集記事 2011.7.17

放射線科

論文・著書

● 放射線治療による局所制御が有効であった再発胃癌の1例

木村 豊、谷口博一、金 致完、團野克樹、加々良尚文、加納寿之、
大西 直、東野 健、中野芳明、山田優二、香川一史、門田卓士、
今岡真義
癌と化学療法 38(12):2146-2148,2011

● 定位放射線治療で著効が得られた胆嚢癌肝転移症例

東野 健、金 致完、武田昂樹、渡部亜実、中村秀俊、團野克樹、
加々良尚文、谷口博一、加納寿之、木村 豊、大西 直、中野芳明、
香川一史、山田優二、門田卓士、今岡真義
癌と化学療法 38(12):2103-2105,2011

● 患者の予後改善を目指した「治療を究める」

石田良雄、福澤 茂、横井宏佳
CIRCULATION Up-to-Date 2011 6(6):96-101,2011

● 肝悪性腫瘍に対する定位放射線治療後の臨床経過

香川一史、足立加那、山口 肇、木崎寿夫、若井展英、網干景子、
隅田伊織
臨床放射線 56:359-365,2011

学会報告

● 冠動脈拡張症の1例

石田良雄
第114回核医学症例検討会 2011.2.5 大阪市

● AIDR(逐次近似法)を用いた胸部低線量CTの検討

林 正俊
第18回日本CT検診学会学術集会 2011.2.18 岡山市

● 慢性冠動脈疾患の治療戦略と核医学

石田良雄
第11回日本核医学会春季大会 ランチョンセミナー2011.5.8 大阪市

● 前立腺癌の術後PSA再燃に対するsalvage IMRT

香川一史、足立加那、山口 肇、木崎寿夫、若井展英、網干景子、
隅田伊織
第70回日本医学放射線学会学術集会 2011.5.9-20
東北関東大震災のためweb開催

● 高リスク頭頸部癌の術後照射単独の治療成績

香川一史、足立加那
第35回日本頭頸部癌学会 2011.6.9-10 名古屋市

● 前立腺癌の術後PSA再燃に対するsalvage IMRT

香川一史、足立加那、若井展英、隅田伊織、山口 肇、木崎寿夫、
網干景子
第298回日本医学放射線学会関西地方会 2011.6.25 大阪市

● MIBI-washout解析とたこつぼ心筋症

石田良雄
第21回日本心臓核医学会 ランチョンセミナー 2011.6.25 福岡市

● 診断に苦慮した肺腫瘍の1例

中城和也
第115回核医学症例検討会 2011.8.6 大阪市

● よくわかるFDG-PET 入門、最低限おさえておきたいFDG-PETの生理的集積

中城和也
第47回日本医学放射線学会秋季臨床大会 研修医セミナー4 2011.10.21-23
山口県

● 消化器癌根治術後の孤立性リンパ節再発に対する化学放射線療法

香川一史、足立加那、隅田伊織、山口 肇、木崎寿夫、若井展英、
網干景子
第49回日本癌治療学会学術集会 2011.10.28-30 名古屋市

● N2b以上の咽頭/口腔癌に対する根治的放射線療法後の頸部郭清術の回避率

香川一史、足立加那、隅田伊織、若井展英、山口 肇
日本放射線腫瘍学会第24回学術大会 2011.11.17-19 神戸市

● 治療部門での看護の必要性と看護師の役割 -放射線技師の視点から-

数田和利
日本放射線腫瘍学会第24回学術大会 2011.11.17-19 神戸市

● CRシステムを用いたアイソセンターとレーザーポイントの位置誤差測定法の検討

樽谷和雄、橋本貴生、田中雅之、三輪大介、数田和利
日本放射線腫瘍学会第24回学術大会 2011.11.17-19 神戸市

● 冠動脈疾患における核医学検査の最前線

石田良雄
第25回日本冠疾患学会 教育講演“Meet the Expert” 2011.12.16 大阪市

講演会やテレビ出演

● 臨床試験のためのRI検査プロトコル(1)

石田良雄
第1回心筋保護研究会 2011.5.13 大阪市

● 臨床試験のためのRI検査プロトコル(2)

石田良雄
第1回心筋保護研究会 2011.5.20 東京都

● 心筋症の画像診断

石田良雄
第39回心臓核医学談話会 指名講演 2011.7.9 東京都

● 心臓核医学における大規模臨床試験の成果

石田良雄
第17回先端医用画像研究会 特別講演 2011.8.5 神戸市

● 冠動脈疾患と心臓核医学

石田良雄
小倉記念病院臨床セミナー 特別講演 2011.8.10 福岡県

● 心臓核医学 -症例と解説-

石田良雄
第10回Trend of Heart 21 教育講演 2011.9.10 名古屋市

● 肝悪性腫瘍の放射線治療

香川一史
肝臓専門医育成プロジェクト平成23年度第2回勉強会 2011.10.14 大阪市

麻酔科・中央手術部

論文・著書

● 【神経ブロックによる疼痛管理】上肢手術における末梢神経ブロック

林 英明
整形外科最小侵襲手術ジャーナル 59号:23-30,2011

● 病的肥満患者の膝人工関節置換術に際し、超音波画像を用いて膝窩坐骨神経ブロックと持続大腿神経ブロックを施行した1症例

林 英明、上山博史
麻酔 59(10):1260-1262,2011

● 【周術期の血糖管理】血糖コントロール不良患者の下肢切断術 神経ブロックを利用して抗凝固・抗血小板薬を中断しない

甲 俊迪、上山博史
Lisa 18:1208-1211,2011

● 中枢神経系：脳血流、脳代謝、脳脊髄液、脳波

上山博史、真下 節
武田純三編 デスフルランの使い方 p52-62 真興交易出版 2011

学会報告

● Are parturients more sensitive to intravenous anesthetics?-EEG analysis study-

Koyama Y, Ueyama H, Kiyonaka S, Hayashi H
The 2nd SOAP JSA Obstetric Anesthesia Meeting 2011.5.21
Kobe, Japan

● 質の高い小児麻酔臨床について 脳波モニターは麻酔の質を上げることができるか?

上山博史
日本麻酔科学会第58回学術集会 2011.5.19 神戸市

● 妊娠中手術の麻酔管理 術中の胎児モニタリング -ドップラー、胎児心電図-

上山博史
日本麻酔科学会第58回学術集会 2011.5.20 神戸市

● 帝王切開の新しい麻酔法 -いかにして導入するか- TAPブロック

馬渡圭子
第31回臨床麻酔学会 2011.11.05 沖縄県

病 理 科

論文・著書

- An invasive adenocarcinoma of the accessory parotid gland: a rare example developing from a low-grade cribriform cystadenocarcinoma?

Nakatsuka S, Harada H, Fujiyama H, Takeda K, Kitamura K, Kimura H, Nagano T, Ito M, Asada Y
Diagn Pathol 6:120,2011

- Multifocal nodular oncocytic hyperplasia of bilateral parotid glands: a case report with a histological variant of clear cells.

Sato S, Kishino M, Ogawa Y, Nakatsuka S, Hoshida Y, Ogawa I, Hattori K, Takata T, Toyosawa S
Pathol Res Pract 207(7):452-5,2011

- 中枢神経症状を呈し、病理所見より大脳細動脈炎の関与が示唆された顕微鏡的多発血管炎の1例

松田寛子、原田 環、安東 豊、中森 綾、中塚伸一、高間俊郎、
由良高文
日本腎臓学会誌53(4):648-53,2011

- 悪性変化を伴う乳腺腺筋上皮腫の1例

長谷川毅、西村重彦、森崎珠実、日月亜紀子、山片重人、妙中直之、
尾羽根範員、中塚伸一、渡辺駿七郎
乳癌の臨床26(1):75-81,2011

- 悪性リンパ腫

中塚伸一
癌診療指針のための病理診断プラクティス 乳癌 p.265-273 中山書店 2011

- 免疫性疾患

中塚伸一
三訂 病理学 p.107-118 光生館 2011

- 代謝異常

中塚伸一
三訂 病理学 p.119-134 光生館 2011

学会報告

- 下腿浮腫で通院中に下痢、呼吸困難を来した1例

木村勇人、永野輝明、中塚伸一、富田弘道、青木克憲、依藤秀樹、
上田恵理子、金子哲也、和泉雅章
第143回阪神合同CPC 2011.2.17 伊丹市

- PTH-related protein産生を伴ったびまん性大細胞型B細胞リンパ腫の1剖検例

木村勇人、永野輝明、奥 和子、山根三千秋、富田弘道、和泉雅章、
橋本光司、中塚伸一
第100回日本病理学会総会 2011.4.28-30 横浜市

- 芽球型形質細胞様樹状細胞腫瘍の1例

木村勇人、永野輝明、浦瀬百合子、奥 和子、杉生憲二、山根三千秋、
吉野龍一、長友忠相、橋本光司、中塚伸一
第52回日本臨床細胞学会総会 2011.5.20-22 福岡市

- 芽球型形質細胞様樹状細胞腫瘍の1例

木村勇人、長友忠相、浦瀬百合子、青木克憲、永野輝明、橋本光司、
中塚伸一
第47回神戸血液病研究会 2011.10.29 神戸市

歯科口腔外科

論文・著書

- Case Presentation ビスフォスフォネート系薬剤を服用されている患者さんの症例

大西淑美
Dhstyle 5(6):62-67,2011

- 緩和医療における口腔ケアの可能性 -がん治療からはじまるチーム医療-

大西淑美
日本口腔感染症学会雑誌18(1):28-29,2011

- 専門的口腔ケアが有用であったビスフォスフォネート系薬剤関連顎骨壊死の1症例

大西淑美、平岡慎一郎、木全正彰、北村龍二
日本口腔感染症学会雑誌18(2):19-25,2011

- ビスフォスフォネート系薬剤関連顎骨壊死において口腔ケアが有用であった1症例

大西淑美、平岡慎一郎、木全正彰、北村龍二
日本口腔感染症学会雑誌18(1):36,2011

- 下顎打撲を契機に発症した急性化膿性顎関節炎の1例

平岡慎一郎、伊藤 章、木全正彰、森本泰成、古郷幹彦、北村龍二
日本口腔外科学会雑誌 57:596-600,2011

- 反応性骨増生を伴った上顎洞内粘液嚢胞の1例

谷口佳孝、岸野万伸、並川麻里、占部一彦、平岡慎一郎、北村龍二
日本口腔外科学会雑誌 57:207-211,2011

学会報告

- 糖尿病患者の残存歯数とその関連因子の検討

高野敬子、松岡裕大、伊藤 章、北村龍二、三井絵理、山本裕一、
佐々木周吾、林 功、五郎川伸一、高原充佳、山本恒彦
第54回日本糖尿病学会 2011.5.19-21 札幌市

- 舌に発生した紡錘細胞癌の1例

平岡慎一郎、伊藤 章、大倉正也、古郷幹彦、北村龍二
第35回頭頸部癌学会 2011.6.9-10 名古屋市

- ニフェジピン服用患者に発生した巨大エプーリスの1例

伊藤 章、松岡裕大、平岡慎一郎、北村龍二
第42回日本口腔外科学会近畿地方会 2011.6.25 大阪市

- ビスフォスフォネート系薬剤関連顎骨壊死患者における口腔ケアの役割と有用性について

大西淑美、平岡慎一郎、伊藤 章、木全正彰、北村龍二
第27回兵庫県歯科医学大会 2011.7.3 神戸市

- 頭頸部がん化学放射線治療におけるチーム医療への関わり 治療前チェックリストの導入

大西淑美
第6回日本歯科衛生学会 2011.9.23-25 新潟市

- 顔貌に変形を来した鼻口蓋管嚢胞の1例

平岡慎一郎、伊藤 章、岸野万伸、古郷幹彦、北村龍二
第56回日本口腔外科学会総会・学術大会 2011.10.21-23 大阪市

- 関西労災病院におけるBRONJの治療と予防の試み

伊藤 章、大西淑美、松岡裕大、木全正彰、平岡慎一郎、北村龍二
第56回日本口腔外科学会総会・学術大会 2011.10.21-23 大阪市

- 下顎骨に発生した紡錘細胞癌の1例

川崎康大、松岡裕大、西野 仁、平岡慎一郎、磯村恵美子、浜口裕弘
第56回日本口腔外科学会総会・学術大会 2011.10.21-23 大阪市

講演会やテレビ出演

- がん化学療法およびビスフォスフォネート系薬剤使用に際する口腔ケアについて

大西淑美
乳がん勉強会 2011.6.4 尼崎市

- 要介護者の口腔ケア

大西淑美、井上雅子
いなみ野病院 職員研修会 2011.7.26 加古川市

- 感染性心内膜炎と歯科処置

北村龍二
尼崎市歯科医師会大庄支部勉強会 2011.12 尼崎市

薬 剤 部

論文・著書

- Involvement of matrix metalloproteinase-mediated proteolysis of neural cell adhesion molecule in the development of cerebral ischemic neuronal damage

Shichi K, Fujita-Hamabe W, Harada S, Mizoguchi H, Yamada K, Nabeshima T, Tokuyama S
JPET 338:701-710,2011

- 【医薬品情報活動11】重症急性膵炎に蛋白分解酵素阻害薬・抗菌薬膵局所動脈療法と選択的消化管除菌(SDD)を施行した症例について

川端俊介
兵庫県病院薬剤師会会報 (133):114,2011

- 医薬品情報を考える

松原史典
週刊 薬事新報 (2694):3,2011

学会報告

- 当院における手術室業務への取り組み

朝岡 哲、植平紗矢香、川端俊介、韓 秀妃
第32回日本病院薬剤師会近畿学術大会 2011.1.23 神戸市

- 当院における手術室業務への取り組み

朝岡 哲、植平紗矢香、川端俊介、韓 秀妃
兵庫県病院薬剤師会尼崎支部学術発表会 2011.2.16 尼崎市

- 壇上NST症例検討会「この症例をどうする？」腸管壊死術後、創部感染の1例

朝岡 哲、三木宏文、竹野 淳、長尾美恵、芝原裕和、大城繭子、柳智恵子
第14回兵庫NST研究会学術講演会 2011.6.4 神戸市

- 兵庫県依頼による災害拠点病院群としての医療救護活動

川端俊介
近畿・中国・四国ブロック労災病院薬剤部会 2011.8.26 大阪市

- 電子カルテにおける持参薬管理の現状と課題

清水裕行、松本 篤、南原 誠、岡田志保、植平紗矢香、野口久美子、澤田奈津子、田中利佳、谷口一成、松原史典
近畿・中国・四国ブロック労災病院薬剤部会 2011.8.26 大阪市

- がん化学療法における悪心・嘔吐対策の変更による制吐効果と経済効果

兼行由佳、谷口一成、松原史典、片岡和三郎
第21回医療薬学会年会 2011.10.1-2 神戸市

講演会やテレビ出演

- 医療機関に求められるMR像

松原史典
サンド株式会社外来講師勉強会 2011.9.6 大阪市

- DPCとチーム医療

松原史典
ファイザー株式会社外来講師勉強会 2011.11.29 尼崎市

- 病院薬剤師と製薬会社MRに求めるもの

松原史典
持田製薬株式会社外来講師勉強会 2011.12.12 神戸市

看護部

論文・著書

●術後ストーマ造設患者を支える身体的・精神的ケア

渡邊光子
エキスパートナース・スペシャル がん看護 No.1:90-97,2011

●治療・療養過程での課題の可視化と看護の取組み

友政淳子
看護実践の科学 36(13):34-38,2011

●認定看護師に学ぶケアの極意『WOCケアにおけるチーム医療』

渡邊光子
月刊ナース 31(11):72-79,2011

●【病態がわかる循環器系の検査データの読み方と薬剤】 3. 高血圧症

友政淳子
重症集中ケア 12・1月号:17-22,2011

●【病態がわかる循環器系の検査データの読み方と薬剤】 4. 急性冠症候群

城戸梨恵子
重症集中ケア 12・1月号:23-36,2011

●特集 手取り足取り教えます！ストーマケア19の困った 解決塾 ⑭～⑯

大城繭子
消化器外科ナース 16(2):55-63,2011

●見直そう！整形外科の看護技術

川邊 梓、大峰英理、大城繭子、浜下 園、阪元利恵
整形外科看護 16(12):57-61,2011

●下肢閉塞性動脈硬化症に対する治療とケア

飯田 修、西口悦子
ナースビジネス 3 5:52-54,2011

学会報告

●外来化学療法を受けている患者の味覚変化と対処行動の実態調査

弘岡貴子、加納徳美
第25回日本がん看護学会学術集会 2011.2.12-13 神戸市

●頭頸部がん放射線治療におけるチーム医療－チェックリストの初期評価－

渡部昌美
第25回日本がん看護学会学術集会 2011.2.12-13 神戸市

●糖尿病教育入院後の網膜症増悪に関連する因子の検討

岡村亜紀子、布谷容子
第54回日本糖尿病学会年次学術集会 2011.5.19-21 札幌市

●非医療者向けストーマ啓発用リーフレット「あなたに 知ってほしい」の効果

渡邊光子
第20回日本創傷・オストミー・失禁管理学会 2011.5.20-22 金沢市

講演会やテレビ出演

●災害時の医療

崎園雅栄
広域災害講演会 2011.2.4 尼崎市

●ストーマリハビリテーションの基礎知識について

大城繭子
関西ストーマケア講習会 2011.3.27 西宮市

●明日から使える予防的スキンケアのちょっといい話

渡邊光子
褥瘡ケアセミナー in高松 2011.5.28 高松市

●ストーマケア等の基礎知識についての講義と演習

進藤敦美
第34回関西ストーマケア講習会 2011.6.4 神戸市

●当院におけるストーマ局所のエンゼルケアの実態

渡邊光子、進藤敦美、大城繭子
第53回STOMA研究会 2011.6.11 堺市

●創傷治癒過程について

大城繭子
第14回兵庫NST研究会学術講演会 2011.6.4 神戸市

●がん放射線療法を受ける患者の看護

渡部昌美
政策医療プロジェクト(がん看護)ステップⅡ 2011.6.5 姫路市

●医療チームの中の認定看護師の取組みと中堅看護師に期待すること

加納徳美
平成23年度近畿中四国ブロック中堅看護師研修会 2011.6.30 岡山市

●関西ストーマケア講習会

進藤敦美
関西ストーマケア講習会 2011.7.7-9 神戸市

●東日本大震災の被災地におけるチーム活動

梅野晶子
平成23年度兵庫県看護大会 パネリスト 2011.7.14 神戸市

●外来化学療法について

弘岡貴子
阪神大腸癌化学療法講演会 2011.8.5 西宮市

● XELOX+AVA療法のマネージメントについて講演

加納徳美
Colorectal Cancer Forum in Tokushima 2011.10.14 徳島市

● 「オストメイトの日常生活向上のために」講演

渡邊光子
オストメイトサロン開設記念講習会 2011.10.30 大阪市

● これからの周手術期スキンケアマネージメント講演

渡邊光子
第25回日本手術看護学会年次大会 2011.11.5 名古屋市

検査科

学会報告

● 亜鉛を中心とした栄養評価の有用性

芝原裕和、田村茂行、三木宏文、鈴木利夫、仲井和枝、長尾美恵、
朝岡 哲、柳智恵子、萩原秀紀
第26回日本静脈経腸学会 2011.2.17 名古屋市

● 尿道憩室内腫瘍の1例

長友忠相、杉生憲二、山根三千秋、吉野 龍一、奥 和子、木村勇人、
永野輝明、田口 功、川端 岳、中塚伸一
第19回大阪病理研究会 2011.6.11 吹田市

● 尿道憩室内腫瘍の1例

長友忠相、杉生憲二、山根三千秋、吉野龍一、奥 和子、木村勇人、
永野輝明、田口 功、川端 岳、中塚伸一
第50回日本臨床細胞学会秋期大会 2011.10.23 東京都

● バリデーション指針に基づいた市販試薬性能の検証 (IP、T-Bil)

久富大樹、芝原裕和、牟田幸成
第51回近畿医学検査学会 2011.10.30 大津市

● 当院検査科のインシデント事例について

国戸千薫子、牟田幸成
第27回近畿地区労災病院臨床検査学会 2011.12.3 和歌山市

講演会やテレビ出演

● 凝固検査 -特にPTにおける問題点-

仲井和枝
第15回近畿地区労災病院臨床検査技師血液検査研究会 2011.2.5 大阪市

● BMを24時間運用するためのKnow How

芝原裕和
第2回東京クリナ会 2011.2.16 東京都

● 臨地実習生の教育について

牟田幸成
兵庫・大阪臨地実習施設指導者会 2011.3.26 大阪市

● 臨床化学分野の概要 -脂質とHbA_{1c}を中心に-

芝原裕和
兵庫県医師会精度管理検討会 2011.3.26 神戸市

● 心エコー図検査の進め方 -症例を中心に-

大畑早苗、山崎その子、藤田直美、孫 東淑、大野弥生
阪神心エコー図研究会 2011.4.16 西宮市

● 知って得するBMの特性

芝原裕和
第3回関西クリナ会 2011.6.19 大阪市

● 血液標本の見方・考え方

浦瀬百合子

兵庫県臨床検査技師会 平成23年度血液検査新人研修会 2011.8.27-28
神戸市

栄養管理室

学会報告

● 檀上NST症例検討会 この症例をどうする？ 大腸癌、腸管壊死術後創部感染の1例

長尾美恵

第4回兵庫県NST研究会 2011.6.4 神戸市

勤労者予防医療センター

学会報告

● 感性に訴えかける保健指導

高野賢一郎
第59回日本職業災害医学会学術大会 2011.11.11-13 東京都

● メタボリックシンドロームの改善のための支援方法の検討

増田潤子、高野賢一郎、老谷るり子、永井美津代、山縣英久、横川朋子
第59回日本職業・災害医学会学術大会 2011.11.11-12 東京

講演会やテレビ出演

● 職場の喫煙対策

老谷るり子、増田潤子、高野賢一郎
第11回予防医療ネットワーク研修会 2011.3.3 尼崎市

● 職種別の肩こり腰痛予防体操

高野賢一郎
東京労災病院セミナー 2011.3.7 東京都

● 職種別の肩こり腰痛体操体操

高野賢一郎
大田ケーブルテレビ 2011.3.7

● 腰痛予防の対策 私ならこうする

高野賢一郎
滋賀産業保健推進センターセミナー 2011.5.11 大津市

● 職場の受動喫煙対策

老谷るり子
兵庫産業保健推進センターセミナー 2011.6.2 神戸市

● 腰痛予防の対策 私ならこうする

高野賢一郎
兵庫産業保健推進センターセミナー 2011.6.3 神戸市

● メタボリックシンドローム予防のための食事

増田潤子
徳島産業保健推進センターセミナー 2011.6.8 徳島市

● 職場の受動喫煙対策

老谷るり子
徳島産業保健推進センターセミナー 2011.6.8 徳島市

● 30代 メタボ予備軍のための運動指導

高野賢一郎
滋賀産業保健推進センターセミナー 2011.6.8 大津市

● メタボリックシンドローム予防のための食事

増田潤子
兵庫産業保健推進センターセミナー 2011.6.29 姫路市

● 勤労者のメタボ改善の運動指導のために

高野賢一郎
兵庫産業保健推進センターセミナー 2011.6.29 姫路市

● 単身者に対する食事指導

増田潤子
兵庫産業保健推進センターセミナー 2011.9.7 神戸市

● 30代 メタボ予備軍のための運動指導の方法って

高野賢一郎
兵庫産業保健推進センターセミナー 2011.9.7 神戸市

● 産業現場で実践しよう！「睡眠介入」

老谷るり子、増田潤子、高野賢一郎
第12回予防医療ネットワーク研修会 2011.9.20 大阪市

● 健康診断結果による保健指導と事後措置 -定期健康診断の有所見率改善にむけて-

老谷るり子
徳島産業保健推進センターセミナー 2011.9.28 徳島市

● 腰痛予防講習会

高野賢一郎
「医療と福祉を考える会」腰痛予防講習会 2011.10.20 尼崎市

● 腰痛予防の対策 -私ならこうする-

高野賢一郎
徳島産業保健推進センターセミナー 2011.10.26 徳島市

● 腰痛予防やVDT傷害予防のための職場巡視と改善策

高野賢一郎
徳島産業保健推進センターセミナー 2011.10.26 徳島市

● 椎間板ヘルニアの予防と治療

高野賢一郎
日本経済新聞 2011.11.25

● 腰痛予防のための運動指導

高野賢一郎
尼崎市医師会 2011.12.21 尼崎市

講演会やテレビ出演

● 高野賢一郎
第4回投球障害予防教室 2011.6.4 尼崎市

● 高野賢一郎
第1回産業理学療法研究会 2011.11.11-13 東京都

産業中毒センター

論文・著書

● Influence of coffee intake on urinary hippuric acid concentration

Ogawa M, Suzuki Y, Endo Y, Kawamoto T, Kayama F
Industrial Health 49(2):195-202,2011

● Acute arsine poisoning confirmed by speciation analysis of arsenic compounds in the plasma and urine by HPLC-ICP-MS

Yoshimura Y, Endo Y, Shimoda Y, Yamanaka K, Endo G
Journal of Occupational Health 53(1):45-49, 2011

● シックビル症候群患者の臨床所見並びに環境測定結果について

吉田辰夫、小川真規、後藤浩之、大下 歩、黒瀬直子、横沢冊子、
平田 衛、圓藤陽子
産業衛生学雑誌 53(2):25-31,2011

● コバルト 第33章レアメタルと生態系・健康

圓藤陽子、小川真規
レアメタル便覧 p.599-600 丸善 2011

● ニッケル 第33章レアメタルと生態系・健康

圓藤陽子
レアメタル便覧 p.612-613 丸善 2011

学会報告

● Arsenic metabolites in human urine after ingestion of sashimi tuna fish

Hata A, Yamanaka K, Yamano Y, Endo Y, Fujitani N, Endo G
23rd Conference of the International Society for Environmental Epidemiology 2011.9.13-16 Barcelona, Spain

● Development of a precision method to determine low level of urinary cadmium by ICP-MS

Endo Y, Yamanaka K, Shimoda Y, Sawada N, Tsugane S, Endo G
IX Conference of International Society of Trace Element Research in Humans 2011.10.16-21 Antalya, Turkey

● A study of the extraction of arsenic from seafood for speciation analysis

Yamanaka K, Hata A, Yamano Y, Endo Y, Fujitani N, Endo G
IX Conference of International Society of Trace Element Research in Humans 2011.10.16-21 Antalya, Turkey

● 含硫メチル化ヒ素の酵素的生成と代謝消失に関するin vitro実験での検討

下田康代、山中健三、加藤孝一、立川眞理子、圓藤陽子、圓藤吟史
第16回ヒ素シンポジウム 2011.2.5-6 北海道

● 海産物の化学形態別ヒ素分析 -抽出法の検討

畑 明寿、圓藤陽子、山中健三、藤谷 登、圓藤吟史
第16回ヒ素シンポジウム 2011.2.5-6 北海道

● ICP-MSによる低濃度尿中カドミウム測定法の開発

圓藤陽子、澤田典絵、下田康代、山中健三、津金昌一郎
第81回日本衛生学会総会 2011.3.25-28 東京都

● 海産物の化学形態別ヒ素分析における抽出法の検討

圓藤吟史、畑 明寿、圓藤陽子、山中健三、藤谷 登
第81回日本衛生学会総会 2011.3.25-28 東京都

● ヒト研究と動物実験による産業化学物質の毒性解明

市原 学、圓藤陽子、金 良晃、市原佐保子、鬼頭純三、上島通浩、
那須民恵、酒井 潔、柴田英治、久永直美、竹内康浩
第84回日本産業衛生学会 イブニングシンポ3 2011.5.18-28 東京都

● GC-MSによる尿中無機ヒ素とモノメチルアルソン酸の分析

奈女良昭、竹内靖人、今中努志、佐久井徳広、圓藤陽子、長尾正崇
第33回日本中毒学会総会 2011.7.30-31 岐阜県

● コリジョン-ICP/MSによる高精度な低濃度尿中カドミウム測定法の開発

圓藤陽子、山中健三、圓藤吟史
第51回近畿産業衛生学会 2011.11.5 奈良市

● 低濃度化学物質曝露による健康障害の実態と診断に関する調査研究

圓藤陽子、平田 衛、吉田辰夫
第59回日本職業災害医学会 2011.11.11-12 東京都

● 特発性環境不耐症患者における発症経過などの検討

平田 衛、吉田辰夫
第59回日本職業災害医学会 2011.11.11-12 東京都

● マグロ摂取後の尿中ヒ素代謝物に関する研究

畑 明寿、山中健三、山野優子、圓藤陽子、藤谷 登、圓藤吟史
第17回ヒ素シンポジウム 2011.11.19-20 茨城県

講演会やテレビ出演

● 近年の室内環境における健康問題について

圓藤陽子
室内環境学会関西支部2010年度セミナー 2011.2.3 大阪市

● リスク評価制度と健康障害措置

圓藤陽子
平成22年度第4回化学物質リスクコミュニケーション 2011.2.28 大阪市

● 化学物質による健康障害

圓藤陽子
大阪府医師会労災研修会 2011.6.2 大阪市

● 労働安全衛生法における有機溶剤などの慢性曝露の検査

圓藤陽子
薬剤師生涯研修E-ラーニング 2011.6.24

● 化学物質曝露による健康障害事例と予防管理

圓藤陽子
兵庫県医師会産業医研修会 2011.7.10 神戸市

● 化学物質の表示・文書交付などの管理

圓藤陽子
産業医学専門講習会 2011.7.16 大阪市

● 化学物質取り扱いにおける最近の行政の動向（リスクアセスメントを中心に）

圓藤陽子
第18回化学物質と労働者の健康研究会 2011.11.26 大阪市

教育・研修センター

論文・著書

● Human FAT1 cadherin controls cell migration and invasion of oral squamous cell carcinoma through the localization of β -catenin

Nishikawa Y, Miyazaki T, Nakashiro K, Yamagata H, Isokane M, Goda H, Tanaka H, Oka R, Hamakawa H
Oncol Rep 26 (3):587-592,2011

学会報告

● 事件を題材にした中毒学入門 -有機リン中毒を中心に-

山縣英久
近畿救急医学研究会、第128回救急隊員部会 2011.5.13 尼崎市

講演会やテレビ出演

● 中毒学入門 地下鉄サリン事件、有機リン化合物と拮抗剤

山縣英久
京都大学大学院医学研究科特別講義 2011.6.22 京都市

関西労災病院 臨床・学術業績集2012年

関西労災病院 Now2012 別冊

発行日 2012年9月

発 行 独立行政法人 労働者健康福祉機構 関西労災病院
〒660-8511 尼崎市稲葉荘3丁目1番69号
TEL：06-6416-1221
FAX：06-6419-1870

印 刷 株式会社 博 愛 社
〒111-0056 東京都台東区小島1丁目4番3号
TEL：03-3861-1741